

地質標本館の来場者 アンケート分析 (2007年度 - 2015年度夏展まで)



アンモナイトの化石



学名：Calycocheras orientale MATSUMOTO, SAITO et FUKUDA
登録番号：GSJ F03237
時代：中生代白亜紀の中頃
産地：北海道留萌郡小平町

**地質標本館の来場者
アンケート分析
(2007年度 - 2015年度夏展まで)**

2016年2月29日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質情報基盤センター

要旨

地質標本館におけるアウトリーチ活動の PDCA サイクルの構築(特に CA 部分)を確実なものとし、今後それをより推進するために、地質標本館で集積してきた特別展等の展示に関する入館者の無記名アンケートの分析(2007 年度－2015 年度夏展まで)を行った。この分析を通して、地質標本館に対するユーザーのニーズを把握した。また、その結果は、今後のアウトリーチ戦略を策定する上での基本情報となる。

分析項目は、アンケートに記されたうちの(1)年齢層、(2)どこから来たか、(3)何を見に来たか(目的)、(4)何で知ったか(媒体)、(5)面白かったか(満足度)、(6)今後の展示要望、(7)自由意見(改善要望等)である。それぞれの項目をキーワードで整理・グラフ化し、入館者の傾向を把握した。

分析結果のうち、特に(5)については約 2/3 が「面白かった」と回答しており、展示に対する満足度が高いと評価される。(6)については、全期にわたって鉱物・化石、地震・火山等に対する関心が高いが、資源・環境に関わる要望が少ない。(7)の改善要望については、①展示物の更新・入れ替え、②解説内容の充実・修正、③わかりやすい解説・子供向け解説、④質問対応・解説案内者の充実、⑤展示設備修理・改善、⑥体験型展示、⑦動線の改善、⑧館内の環境改善、⑨PR 強化、⑩ミュージアムショップ、⑪他機関との連携、⑫その他に大別される。

これらの要望と今後の対応策に関する情報は、地質調査総合センターのアウトリーチ拠点としての地質標本館の運営改善・施設改修へつなげるための一次データとして利用する。

1. はじめに

地質標本館は、1980年の開館(神戸, 1990)以降、旧地質調査所及び地質調査総合センター(GSJ)の研究成果普及活動(アウトリーチ活動)の拠点の役目を果たしてきた。特別展等の企画展示は1990年から始まり(地質標本館, 2001)、産総研設立(2001年度)以降2015年3月(2014年度)までは地質標本館企画展示委員会がその企画の責務を担ってきた。また、2005年4月以降は、主に特別展等を開催するごとに、入館者に対する無記名のアンケートを取ってきていた(吉田, 2006)。

GSJのアウトリーチ活動に関しては、知的基盤整備計画「公共データの二次利用促進方策」における平成27年度計画でのPDCAの実施として「ユーザーの要望・意見を集約・共有する内部体制の確立」、「ニーズ・シーズマッチングと対応・改善の開示によるユーザー満足度向上」等が求められている。これらの認識を踏まえて、地質標本館におけるアウトリーチ活動のPDCAサイクルの構築(特にCA部分)の端緒として、地質標本館で集積してきた入館者へのアンケートの総合的な分析を行った。本報告書では、2007年度-2015年度(夏展まで)に実施してきた特別展・常設展についてのアンケート分析結果を報告する。なお、本報告に先立つアンケート分析報告としては滝澤(1990)、目代(2006)、吉田(2006)、地質標本館(2007)、森尻ほか(2015)などがあるが、本報告では、アンケート結果に基づいた具体的な地質標本館運営上の改善点も提示する。

分析対象としたアンケートの回答項目としては、入館者の年齢、性別、訪れた目的、展示を知った媒体、展示に対する意見等の記述項目がある。ただし、前提として、アンケートに書かれた自由意見(コメント)は玉石混交であって、必ずしも的確な指摘となっていない場合があること、団体客や学校単位での来場においては、引率者のみがアンケートに答えている場合があり、必ずしも回答内容が全入館者の平均的な感想とは言えないこと、などを念頭に置く必要がある。一方で、アンケートに記されているコメントは、まぎれもなく入館者の生の声であり、ユーザーのニーズを知るための貴重な情報とみなせる。すなわち、これらのコメントは、今後の「一般の人から地質標本館に求められているもの(ニーズ)」、「展示企画立案」、「標本館グッズ開発」等を明確にするための一次データとなる。また、その分析結果を、展示の企画に協力してもらったGSJ各研究ユニットの研究者に還元することを通して、地質標本館でのアウトリーチ活動に関するPDCAサイクルの継続的な構築と、今後のGSJのアウトリーチ戦略の設計に資するものとする。それらのことを認識した上で本報告をまとめている。

2. アンケートの取りまとめ方針と利用

当該期間におけるアンケートの項目は、年度間で表現上若干の違いはあるが、ほぼ下記の項目を入れたものとなっている。

- ① 年齢・性別
- ② どこから来たか
- ③ 地質標本館に来た目的
- ④ 特別展の情報は何で知ったか
- ⑤ 特別展を見た感想(面白かったかどうか)
- ⑥ 今後、どのような内容の展示を見たいか
- ⑦ 自由意見

なお、常設展に対するアンケートでは④、⑤の項目はない。

アンケートの取りまとめとその利用については、地質情報基盤センターとして、以下のように進めることとした。

- (1) アンケート内容に基づき、「一般の人から地質標本館に求められているもの(ニーズ)」、「展示企画立案」、「標本館グッズ開発」等に関する情報を抜き出し整理する。
- (2) 整理した内容に基づき、今後の対応を示す報告書を作成する。
- (3) 今後もこのようなとりまとめを継続的に実施することで「地質標本館から各研究ユニットに対しての、アウトリーチ活動にかかわる情報のフィードバック」を実現する。
- (4) 博物館機能「収集・保存」、「研究」、「展示」、「普及・教育」(糸魚川, 1993)のうち、「展示」、「普及・教育」を強化するための基礎情報とし、それに基づく地質標本館の運営方針を提示し、アウトリーチ戦略策定に活かす。

本報告は、このうちの(1)、(2)の内容に対応している。取りまとめにあたっては、アンケートの中のコメント内容に基づいて統一的なキーワードを設定し、地質標本館(ひいては GSJ)に寄せられている入館者の要望を俯瞰できるようにした。

3. 分析方法

前述の通り、地質標本館特別展は、社会情勢や研究成果の取りまとめ状況等を踏まえて、地質標本館展示企画委員会にて特定の事案に関する企画を決定し、実施されてきた。第1表には、2001年度(産総研発足後)～2015年度の特別展等の内容を示す。また、第1表の特別展等の企画内容を、前述の統一化したキーワードで整理し、グラフ化したものを第1図に示す。本報告で報告するアンケートは、第1表にて赤字で示してある特別展およびその間の常設展に対するものである。

ここで、第1図の中の研究戦略1, 2, 3は、産総研第4期(2015年度-2019年度)中長期計画内でのGSJの研究戦略に対応するものであり、

研究戦略1: 地質情報の整備

研究戦略2: レジリエントな社会基盤の構築に資する地質の評価

研究戦略3: 地圏の資源と環境に関する評価と技術の開発

に対応する。ただし、

研究戦略4: 地質情報の管理と社会利用促進

については、戦略課題1, 2, 3の出口側に当たるものであり、図の中の個別の事象に対応させる必要はないため図示していない。この点は、第2図以降の図でも同様に扱っている。なお、2014年度以前のものについては、当然第4期中長期計画内とは異なる戦略課題名・番号が与えられていたが、本報告にて統一的な分析を行うために、前回の報告と同様、第4期中長期計画内での研究戦略課題名で整理している。

第1表及び第1図を見てわかるように、特別展等の企画展では地質情報展の再展示及び写真展が多いため、地質学一般、地域地質、地形等に関する内容の開催回数が増えているが、それらを除けば地震、火山、防災にかかわる内容の展示が増えている。一方で、資源・環境にかかわる内容の展示が若干手薄であるように思われる(地質情報展にも各地域の地下資源情報が含まれるが、ここではカウントしていない)。

4. アンケート内容の分析結果と個別対応案

前述(第2章)したアンケート項目のうち、①～⑤については第2～6図として円グラフで、⑥については第7図として棒グラフで整理した。ただし、アンケート用紙の配布方針の変更のため、2012年度春展以前と以降では回収数に大きな差があり、傾向の把握には注意を要する。

また、⑦の自由意見については好意的なものが多数あるが、その一方で、様々な改善要望も記されている。この改善要望をきちんとくみ取ることが、今後の地質標本館の運営を改善するための重要なカギとなる。自由意見であるためにその記述内容は多岐にわたるが、この改善要望全体を俯瞰し、今後の地質標本館の展示、運営等の改善の検討材料とするために、個々の要望内容を包含できるようなキーワードを設定し整理した。その結果を各年度で集計し、円グラフとして第8図に示した。

4.1 回答者の年齢層

回答者の年齢層(第2図)の傾向を見ると、2012年度春展以前は18歳以下(高校生以下を想定)の回答数が多いが、それ以降では40歳代の回答者が最も多く、次いで30歳代、50歳代、60歳代が大体同程度の割合を占めている。このアンケート比率の違いは、アンケートの配布方法が変わったことの影響を表していると考えられる。2012年度以降のデータで40歳代が最も多いのは、小中学生の子供とその親の入館者が多く、主にその親がアンケートに回答しているためではないかと考えられる。

4.2 どこから来たか

どこから来たか(第3図)という点も2012年度を境に傾向が変化しているが、2012年度夏展以降はほぼ同じ傾向を示しており、茨城県外が多数を占める。これはつくば観光の中の一観光スポットとして訪れる人が多いことを意味していると思われる。ただし、夏展については、どの年度もつくば市内からの訪問の割合が多いが、これは産総研一般公開、つくばちびっこ博士等、つくば市内の住民が集まりやすい状況があったためと考えられる。

4.3 何を見に来たか(目的)

「何を見に来たか」という目的(第4図)については、意外にも常設展と答える割合が多く、必ずしも特別展等の企画内容が目的となっていない。このことから、少なくともアンケート回答者にとっては特別展の存在があまり認知されていないことがわかる。また、「その他」として、「サイエンススクエアのついで」、「時間が空いたのでたまたま」等の飛び込み的なものもあり、より一層地質標本館でのアウトリーチ活動自体の広報の強化と企画内容の吟味が必要であることを示している。

4.4 何を見て来たか(媒体)

「何を見て来たか」という広告媒体(第5図)の点では、「地質標本館ホームページ」と「掲示ポスター」がほぼ同じ割合となっているが、全期にわたって推移を見た時には、現在のネット社会化を反映して、徐々にウェブページでの情報を見る割合が増えつつあるようである。

4.5 面白かったか(満足度)

「面白かったか」という満足度(第6図)の点では、ほぼ全期にわたって半数～2/3程度が「面白かった」(満足)と回答しており、準備や説明に当たった地質標本館のメンバー及び各研究ユニットの担当者の努力が十分実ったと評価できる。

4.6 今後の展示内容への要望

「今後の展示内容への要望」(第7図)を見ると、平均的に多いのが鉱物、化石(恐竜を含む)であり、特に子供、あるいは子供連れの大人からの要望が多いようである。一方、地震に関しては、2010年度以前と2011年度以降では若干の差が見られ、2010年度以前は、鉱物、化石の要望に比べ相対的に要望数が少ないようであるが、2011年度以降は地震に関する展示の要望が伸びている。これはやはり東日本大震災を契機とした地震に対する関心の高まりを示していると考えられる。一方で、資源や環境に対する要望は全期を通してあまり要望が表れていない。現段階ではその理由を説明できないが、一般の人々にとっては、地質と資源・環境とを関連付けて理解することがあまりない、あるいは単に直接的な感覚として面白いと思っていない、ということなのかもしれない。今一度、地質は、鉱物・化石のような標本試料、地震・火山等の災害及び防災にかかわる問題とともに、資源・環境の問題にも直接的に関係していることをもっと強くアピールすべきであろう。

4.7 自由意見

自由意見について設定したキーワードは以下の12である。

- ① 展示物の更新・入れ替え
- ② 解説内容の充実・修正
- ③ わかりやすい解説・子供向け解説
- ④ 質問対応・解説案内者の充実
- ⑤ 展示設備修理・改善
- ⑥ 体験型展示
- ⑦ 動線の改善
- ⑧ 館内の環境改善
- ⑨ PR強化
- ⑩ ミュージアムショップの設置
- ⑪ 他機関との連携
- ⑫ その他(地質標本館外の要因)

また、その中で整理された意見で特に目に付いた事例を第2表にまとめた。これらを含めた自由意見の要望については、既に対応済みのものも多数あるが、今後の地質標本館大規模改修のための検討内容に寄与できる事項が含まれていると考えられる。

①「展示物の更新・入れ替え」については、長期間にわたって同じ展示を置くのではなく、社会情勢に応じて、あるいは最新の研究成果が創出されるたびに、これを広報するような展示内容を企画する必要がある。そのためには、例えばある一定の展示モジュールを即応的に入れ替え、有用且つ最新の地質情報と研究成果を発信できるように手順のシステム化を行う必要がある。また、

その運用においては、各研究ユニットとの協調が欠かせない。さらに、これまで地質標本館に集積してきた各種試料(岩石、鉱物、化石等)とデータを、一定の期間ごとあるいは社会情勢に応じて入れ替え、社会的関心に応じ適切に展示していくことが必要である。

②「解説内容の充実・修正」と③「わかりやすい解説」については、同じものを見ても簡単と思う人と難しいと思う人がいることを示している。これについては、例えば専門家・知識が多い人向け、非専門家向け、小中学生向けといったように、地質標本館内をゾーン分けして、入館者のレベルに応じた展示順序・方法に変えることが必要かもしれない。また、現在アイミュレットに代わる説明の手法として、QRコードによる展示説明の試験的運用を行っているが、これを充実させていくことも可能性としてありうる。

第9図には、入館者数の総計を、その職業別に分類したものを示しているが、これによれば未成年である小中高生が全体の1/3を占めており、これらの若年層をどう「味方につけるか」が、長期的な視点でのアウトリーチ活動の継続につなげるためのカギであろう。一方で、「家庭」に分類される層(おそらく主婦、退職者層)も1/3程度を占めており、同様に「わかりやすさ」の配慮が必要と考えられる。たとえば、単純に岩石・鉱物・化石試料とその名称を並べるだけでなく、展示スペース全体及び各展示室内の配置にストーリー性を持たせたり、その展示物の意味するところの解説(QRコードも可)をつけたりすることが肝要である。

④「質問対応・解説案内者の充実」については、説明員の確保をどうすべきかを検討しなければならないが、こと休日の入館者に対する対応を考えた場合には、これまでの職員の勤務体制では労働管理の面で実現できないところがあり、すぐに改善は難しい。今後の改善のためには、産総研の関係部署との協議の下、労働管理体制も含めた適正な人員配置を検討する必要がある。

⑤「展示設備修理・改善」～⑧「館内の環境改善」及び⑩「ミュージアムショップ」の5項目については、現在地質標本館の大改修に向けたタスクフォースをGSJ内に設置して、その中で詳細な改善内容を検討中であるためここではこれ以上触れないが、第2表の要望事項を考慮に入れ、優先順位をつけた上で大改修の方針を策定しなければならない。

⑨「PR強化」については、地質標本館の大改修を前に、特にGSJが急務として求められている入館者数増加策のために即時に対応すべき点である。そのためには、これまで以上に地質標本館のウェブページを充実させるとともに、地質標本館にてイベントを行なう場合や目玉となるような新たな展示物が入った場合には、積極的に産総研の公式ツイッター等を使ったプッシュ型の宣伝を進める必要がある。

一方、第5図に示されているように、宣伝用ポスターの効果はまだまだ無視できないだけの効果を持っており、地質標本館のイベント情報にたどり着くため・最初に興味を持ってもらうためには、掲示できる場所は限られているとはいえ、感覚的に目に飛び込んでくる案内ポスターの掲示が相変わらず重要と考えられる。すなわち、今後も地質標本館の存在をアピールするためには、ツイッターによる発信等のプッシュ型とウェブページ・宣伝ポスター等のプル型の両方のPRを継続的に進める必要がある。

第10図には、入館者数の総計を、どこから来たか地域別に分類したものを示しているが、つくば市外からの入館者に対するPRを考えた場合には、上記のプッシュ型の広報が一番有効であろう。また、その際には⑪「他機関との連携」も考慮に入れた、多機関ネットワークの下での効果的な

発信も考える必要がある。

⑫「その他」については、地質標本館及びGSJのみで対応できるものではなく、産総研としての対応が求められるものである。特に、駐車場の不足に関しては、サイエンススクエアへの入館者との関係も考慮し、駐車場を増やすにあたって現在の敷地をどう整備していくかを施設整備関係部署と協議する必要がある。

5. 入館者動向と今後の対応

第 10 図の「地域別入館者数」を見ると、2011 年度に大幅に入館者数が減少したのち、2012 年度以降はつくば市内と茨城県外からの入場者数はほぼ元のレベルにまで戻っているが、つくば市以外の茨城県内の入場者数が減少したまま、その傾向が変わっていない。2011 年度の入館者数減少は東日本大震災の影響であることは明確であるが、その後の県外からの入館者数が回復したことを考えれば、茨城県内の入館者数が戻らないということの原因が不明である。

一方、第 11 図のリピーターの状況(2010 年度以降)で見た場合は、6 回以上来場している人はほぼ横ばいから若干上向き傾向であるが、初めて及び 2-5 回の入館者数が漸減傾向なところが、入館者数での減少傾向の大きな要因であることは明白である。

これらのことを合わせて考えれば、入場者数の減少傾向を増加に転ずるためには、4.7 節の①～⑫の個別対応策をさらに総合し、

- (1) つくば市以外の茨城県内の入館者数を増やすこと
- (2) 一度来た人がリピーターとなるように常に展示物を刷新し、魅力的な博物館展示となるようにすること
- (3) さらにその魅力を積極的に発信していくこと

の三点を目標とした活動が、現在早急に実施すべきことである。

このためには、地質標本館からの最新の研究情報の発信、社会情勢に応じた魅力的な展示や企画展の実施、リテラシー向上に資するようなサイエンスカフェの実施等を継続的に実現することが必要と考える。2015 年 12 月以降、新たに「GSJ ジオ・サロン」を企画・実施し、リテラシー向上に資する取り組みを始めたところであるが、一過性ではなく、継続的に事業を実施する体制づくりと企画作りを今後も進めることが、地質標本館の価値を高め、ひいては GSJ の研究成果の普及・利用に資することになる。

6. おわりに

本報告では 2007 年度～2015 年度(夏展まで)のアンケートを分析した。これ以降のアンケート分析結果については、今後各年度の終わりごとにまとめて報告を行う予定である。また、今後集積するアンケートの内容については、社会ニーズの把握と GSJ 総体のアウトリーチ活動に対する満足度を計る指針とすることを念頭に置き、地質情報基盤センター地質標本館室運営グループにより継続的かつ定期的に報告し、GSJ のアウトリーチ活動の PDCA サイクルを動かしていくことで、今後の GSJ のアウトリーチ戦略の策定と更新に活かしていく予定である。

文献

- 地質標本館（2001）地質標本館 20 年の歩み. 地質ニュース, 557 号, 54-58.
- 地質標本館（2007）地質標本館だより No. 79, 体験学習「砂と遊ぼう」参加者アンケートの結果.
地質ニュース, 632 号, 65-68.
- 糸魚川淳二（1993）日本の自然史博物館. 東京大学出版会, p. 228.
- 神戸信和（1990）地質標本館の設立計画から開館まで. 地質ニュース, 431 号, 44-50.
- 目代邦康（2006）高校生の地学に対する興味関心 - 地質標本館を見学した高校生へのアンケート結果から -. 地質ニュース, 618 号, 48-50.
- 森尻理恵・吉田清香・朝川暢子・下川浩一・奥山康子・佐藤隆司・高橋 誠・酒井 彰・須藤 茂・利光誠一（2015）地質標本館来場者アンケート結果概報(2007-2014). GSJ 地質ニュース, Vol. 4, No. 12, 346-352.
- 滝澤朝代（1990）地質標本館見学者の声(小・中学生の礼状アンケート等から). 地質ニュース, 431 号, 81-82.
- 吉田朋弘（2006）平成 17 年度 地質標本館 来館者アンケート報告. 地質ニュース, 620 号, 61-63.

第1表 地質標本館の特別展一覧

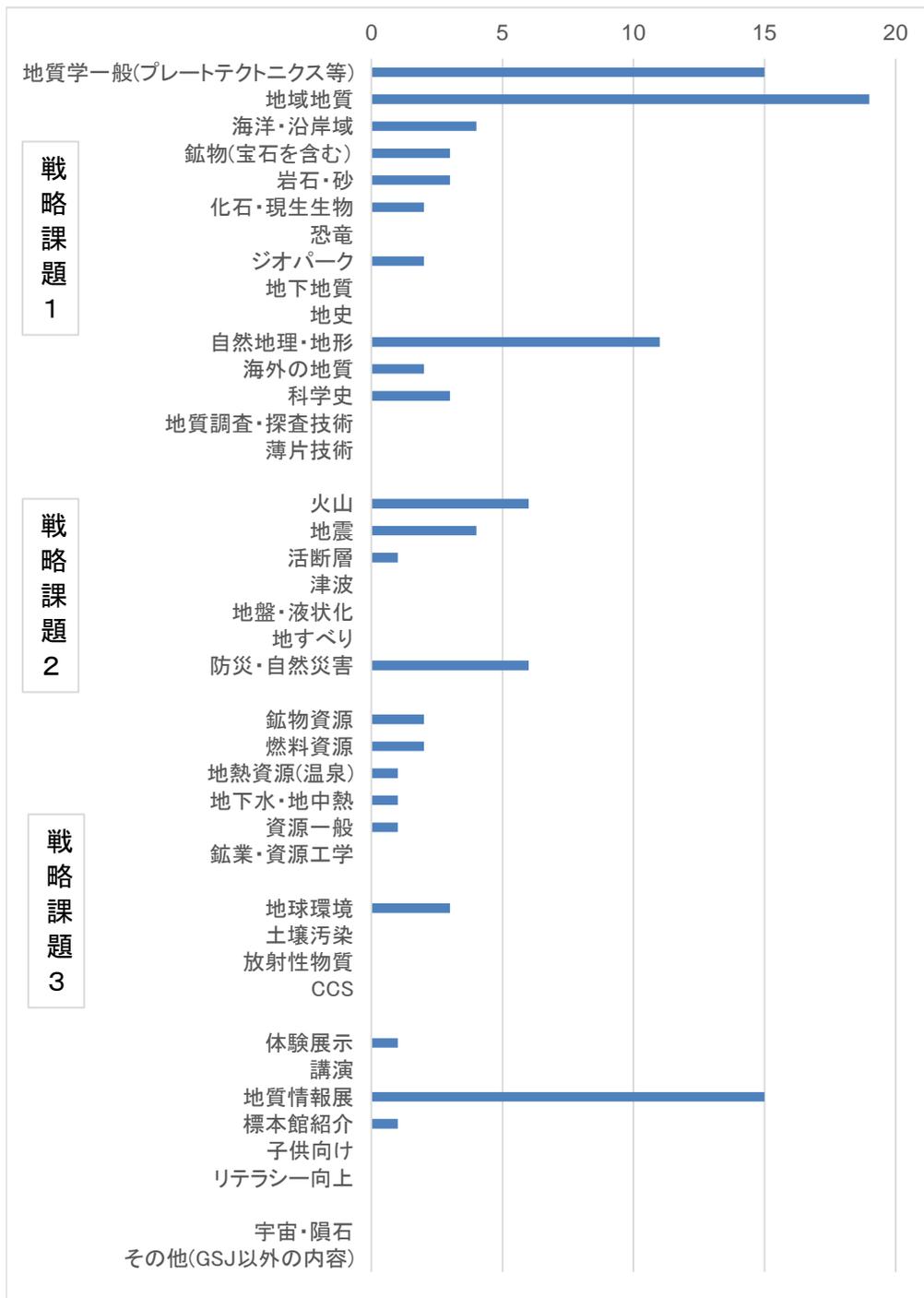
赤字の部分が、本報告書で対象とした企画展示(特別展等)

開催年度	開始	終了	特別展タイトル	備考
2001	2001/4/16	2001/6/16	科学技術週間 特別展「地質標本館―「特集:三宅島」,「特集:鳥取西部地震」,「特集:山陰の鉱物資源」	
	2001/7/20	2001/9/30	地質標本館特別展「海洋:その資源と環境」	
	2001/11/6	2001/12/2	地質標本館特別展「最新の地質図」	
	2001/12/4	2002/3/3	地質標本館 特別展示「北陸地質情報展」(第1部~第2部)	
2002	2002/4/16	2002/6/16	科学技術週間:鉱物の世界 [特別展示]「切手の鉱物-世界の鉱物切手コレクションから-」	
	2002/7/27	2002/9/29	地質標本館 特別展示「活断層と地震-活断層ってなあに?-」	
	2002/11/19	2003/2/2	地質標本館 特別展示「新潟地質情報展」(第1期~第2期)	
2003	2003/2/19	2003/3/23	第1回「地質写真」コンテスト	
	2003/4/15	2003/6/25	2002年度に改修された7つの新展示の紹介	
	2003/7/26	2003/9/28	地質標本館特別展「富士山 現在・過去・未来」	
	2003/11/5	2004/2/29	地質標本館 特別展示「地質情報展2003しずおか プレートの出会う場所で」(第1期~第5期)	
2004	2004/3/3	2004/4/4	第2回「地質写真」コンテスト	
	2004/4/13	2004/6/27	地質標本館春の特別展「地球再発見」地球観の変遷 -プレートテクトニクスを中心として-	
	2004/7/24	2004/9/26	地質標本館特別展「メタンハイドレート -新しいエネルギー資源への取り組み-	
	2004/10/5	2005/2/27	地質標本館 特別展示「地質情報展2004ちば 海から生まれた大地」(第1期~第5期)	
	2005/3/1	2005/3/31	第3回「地質写真」コンテスト	
2005	2005/4/19	2005/7/18	地質標本館特別展「東日本の滝と地質 -北中康文写真展-	
	2005/7/23	2005/9/25	地質図の世界 -一人の暮らしと自然を結ぶ-	
	2005/10/4	2005/12/27	地質標本館 特別展示「地質情報展2005きょうと 大地が語る5億年の時間」(第1期~第3期)	
	2006/1/26	2006/4/16	地質標本館特別展示 日独共同企画「日本の地質学の草創期と現在の地質学 -ナウマン来日130周年-	
2006	2006/4/18	2006/7/17	地質標本館特別展「日本列島の20億年 -白尾元理写真展-	
	2006/7/22	2006/9/24	地質標本館特別展「美しい砂の世界 -不思議な砂・美しい砂-役に立つ砂-	
	2006/10/3	2006/11/12	地質標本館特別展「人類と社会の未来をつなぐ地質時代 -日本の第四紀研究50年-	
	2006/11/21	2007/3/4	地質標本館 特別展示「地質情報展2006こうち 黒潮よせるふるさとの地質」(第1期~第3期)	
	2007/3/13	2007/4/1	第4回「地質写真」コンテスト	
2007	2007/4/17	2007/7/16	地質標本館特別展「つくばの自然再発見 -フィールドに行こう!-	2007年度春展
	2007/7/21	2007/9/24	地質標本館特別展「三宅島火山 -その魅力と噴火の教訓-	2007年度夏展
	2007/9/26	2007/12/2	地質標本館 特別展「デスモステルス歌登標本 世界一の全身化石発見から30年」	2007年度秋展
	2007/12/4	2008/3/16	地質標本館特別展示「地質情報展2007北海道 探検! 熱くゆたかなほくら大地」(第1期~第3期)	2007年度冬展
2008	2008/3/19	2008/6/29	科学技術週間と春の特別展「青柳鉱物標本の世界」	2008年度春展
	2008/7/26	2008/9/28	2008年夏の地質標本館特別展「地球の記憶を掘り起こせ! 深海掘削がさぐる地球の不思議 -IODP普及キャンペーン-	2008年度夏展
	2008/12/16	2009/3/1	地質標本館 特別展示「地質情報展2008あきた」	2008年度冬展
2009	2009/3/3	2009/4/5	第5回地質写真コンテスト	
	2009/4/14	2009/7/5	五百澤 智也 山のスケッチとフィールドノート	2009年度春展
	2009/7/22	2009/9/27	地質標本館 夏の特別展「ジオパークへ行こう!」	2009年度夏展
	2009/11/17	2010/1/11	地質標本館 秋の特別展「日本石紀行 -写真家・須田郡司の世界-	2009年度秋展
2010	2010/2/2	2010/3/28	地質標本館 特別展示「地質情報展2009おかやま ワクワク発見 瀬戸の大地」	2009年度冬展
	2010/4/13	2010/7/11	科学技術週間と春の特別展「揺れる日本列島」	2010年度春展
	2010/7/21	2010/9/26	地質標本館 夏の特別展 巡回展「有珠火山 -その魅力と噴火の教訓-	2010年度夏展
	2010/11/16	2011/1/30	地質標本館 秋の特別展「イーハトーブの石たち -宮澤賢治の地的世界-	2010年度秋展
2011	2011/2/8	2011/3/11	特別展示「地質情報展2010とやま 海・山ありて 富める大地」(震災で開催打ち切り)	2010年度冬展
			(春展は震災のため中止)	
	2011/7/21	2011/9/26	地質標本館 夏の特別展 巡回展「世界石紀行」	2011年度夏展
2012	2012/1/24	2012/3/25	特別展示「地質情報展2011みと -未来に活かそう大地の鳴動-	2011年度冬展
	2012/4/17	2012/7/1	砂漠を歩いてマントルへ:中東オマーンの地質探訪 Desert to Mantle: Exploring Oman's geology	2012年度春展
	2012/7/18	2012/9/30	地質標本館 夏の特別展「マイクロ化石で地球をさぐる -微小化石と地質調査-	2012年度夏展
	2012/10/16	2012/12/27	知的基盤整備・利用促進プログラム~今後10年の地質情報整備~	
2013	2013/1/5	2013/3/31	特別展示「地質情報展2012おおさか -過去から学ぼう大地のしくみ-	2012年度冬展
	2013/4/16	2013/5/31	春の特別展「第3回火山巡回展「霧島火山」 -ボラ(軽石)が降ってきた! 新燃岳の噴火とその恵み-	2013年度春展
	2013/7/17	2013/9/29	夏の特別展「地球の恵み 地熱・地中熱エネルギーを活用しよう」	2013年度夏展
	2013/11/12	2014/2/2	特別展示「地質情報展2013みやぎ-大地を知って明日を生かす-	2013年度冬展
2014	2014/3/4	2014/6/29	地質標本館 春の特別展「地質の目でみる地震災害の連鎖」	2014年度春展
	2014/7/14	2014/10/13	地質標本館 夏の特別展「地質アナログ模型の世界」	2014年度夏展
	2014/11/5	2015/3/22	地質標本館特別展「地質情報展2014かごしま-火山がおりにす自然の恵み-	2014年度冬展
2015	2015/4/14	2015/6/28	地質標本館 春の特別展「第4回火山巡回展 伊豆大島火山-火山の恵みと2013年の土砂災害-	2015年度春展
	2015/7/14	2015/9/27	地質標本館 夏の特別展「ジオパークで見る日本の地質」	2015年度夏展
	2015/12/1	2016/3/21	地質標本館 特別展示「地質情報展2015なのの -知っていますか 信濃の大地-	2015年度冬展

第2表 自由意見の中の主な改善要望

① 展示物の更新・入れ替え	古い情報を更新して新しい情報が載ったものが見たい
	別の化石・鉱物等を見てみたい
	ある程度の期間ごとに新しいものに入れ替えてほしい
	最新の研究成果を知りたい
	展示物のストーリー性がわかるようにしてほしい 展示方法が古臭い
② 解説内容の充実・修正	もっと詳しい説明が読みたい
	現在の説明文では説明不足
	間違っているところを修正すべき
	外国人向けに英文をつけてほしい 展示物解説の冊子がほしい
③ わかりやすい解説・子供向け解説	連れてきた小学生・中学生にわかりやすいものにしてほしい
	難しい漢字にルビを振ってほしい
	素人に対してもわかりやすい説明にしてほしい 説明板の字をもっと大きくしてほしい
④ 質問対応・解説案内者の充実	質問したいが、説明員が見当たらない(註:特に土日の入館者に多い模様)
	質問したいときにどこに行けばいいかわからない
	展示物のツアー解説をしてほしい
⑤ 展示設備修理・改善	故障中・調整中の装置が多い
	ボタンを触っても動作が遅い、あるいは動かない
	音声解説システム(アイミュレット)が聞きづらい
⑥ 体験型展示	触れる展示物、動く展示物がほしい
	化石発掘体験など体験できるイベントがほしい
⑦ 動線の改善	どの展示から見に行けばよいか順路がわからない
	トイレやエレベーターがどこにあるかわからない
⑧ 館内の環境改善	室内空調が不適切(暑い)
	足腰が悪いので、休憩用にもっと座る場所がほしい、座って見られるようにしてほしい
	照度が足りないのを見にくい、あるいは照明が反射して見づらい
	展示物ケースの埃・汚れをきれいに
⑨ PR強化	このような良い施設があることを初めて知ったので、もっと広く周知してほしい
	もっと小中学生に利用してもらいたい どうやって地質標本館まで来ればいいのかわからない
⑩ ミュージアムショップの設置	鉱物や化石などのお土産が買いたい
⑪ 他機関との連携	サイエンススクエアとの連携
	つくば市他との連携
⑫ その他(地質標本館外の要因)	駐車場が狭い・足りない
	産総研入り口の受付(守衛)での対応がよくない

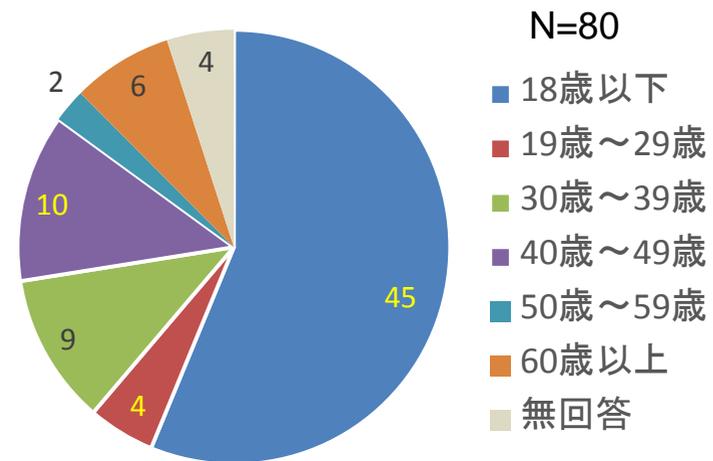
第1図 2001-2015年度の特別展のテーマ



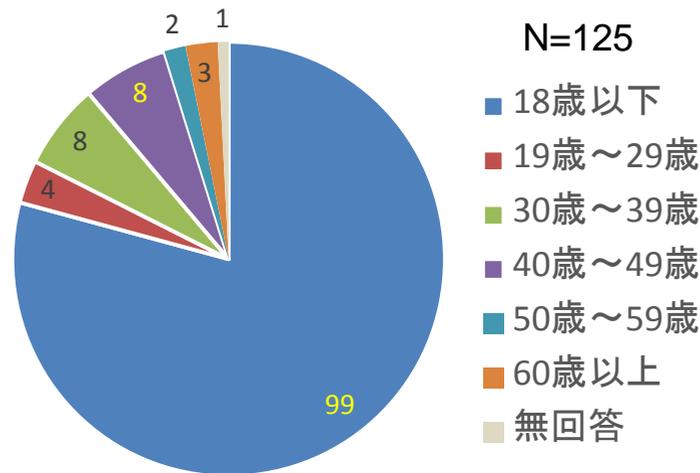
第2図 回答者の年齢層

アンケート数は重複回答を含む

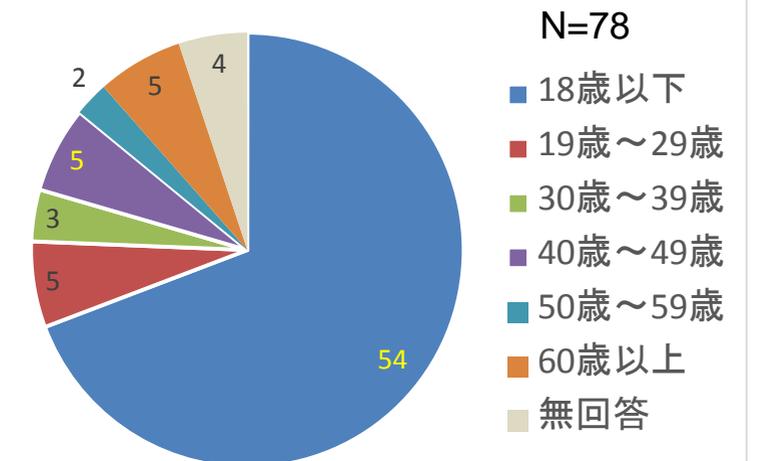
2007年度春展：つくばの自然発見



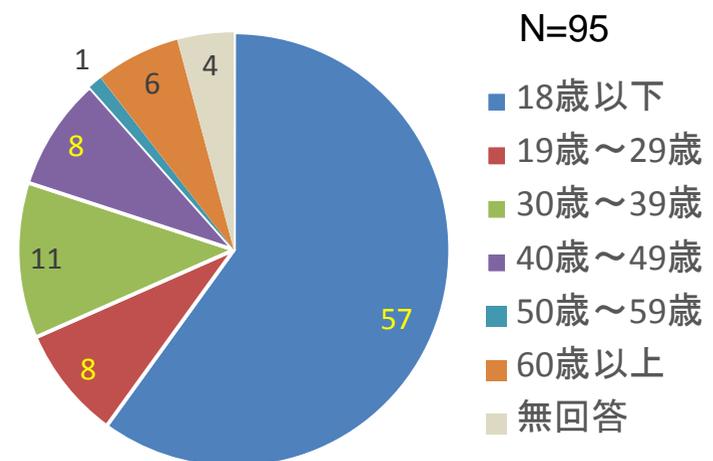
2007年夏展：三宅島火山



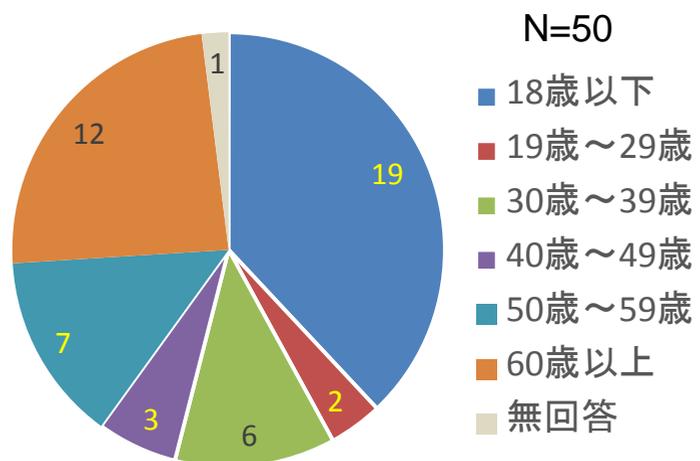
2007年度秋展：デスモスチルス



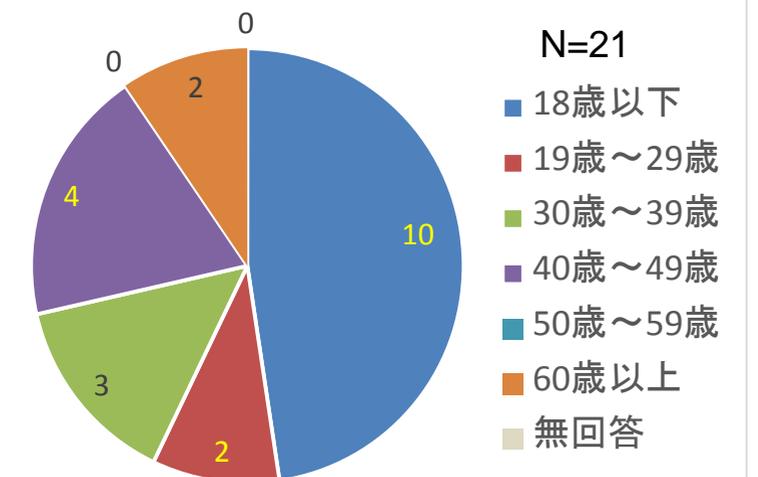
2007年度冬展：地質情報展北海道



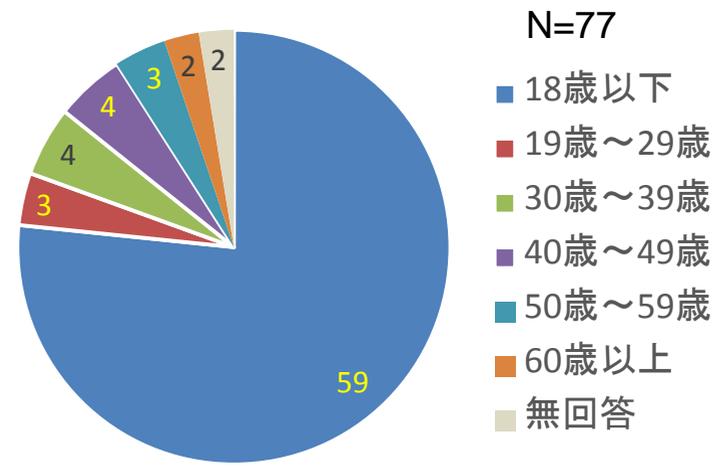
2008年度春展：青柳鉱物標本



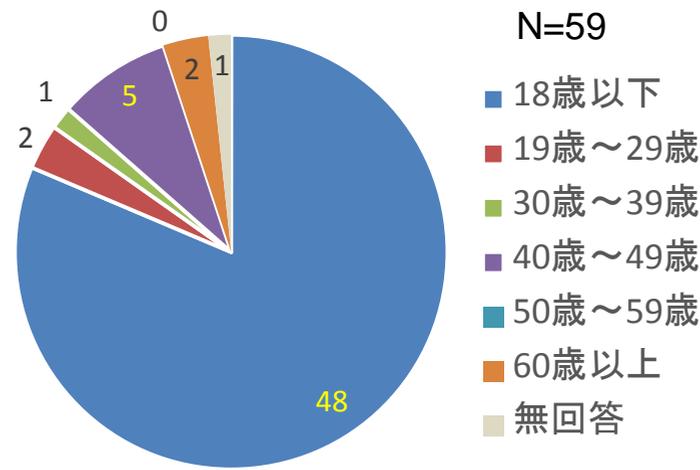
常設展：2008/7/1～7/25



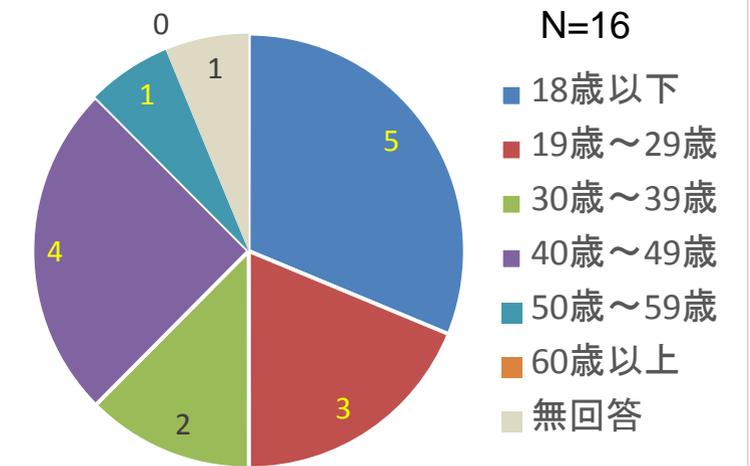
2008年度夏展：深海掘削



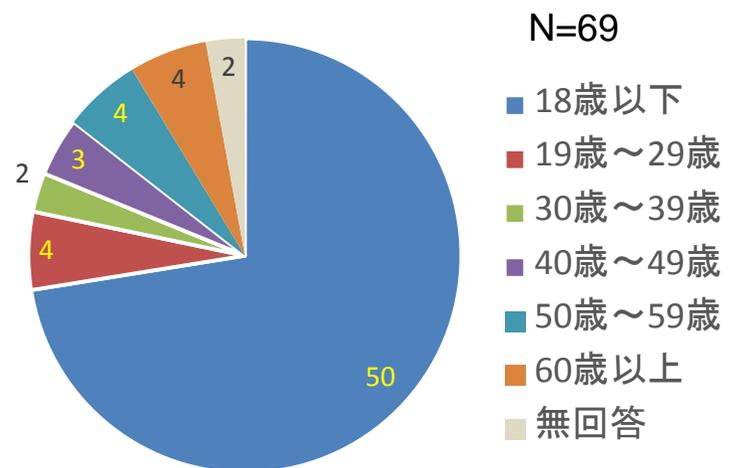
常設展：2008/9/30-12/14



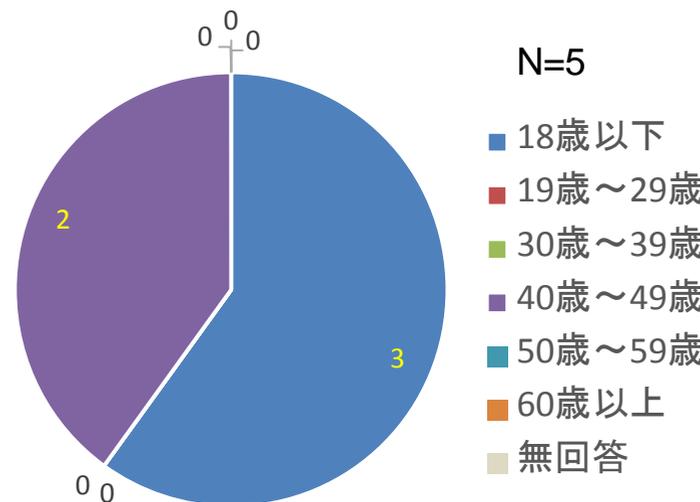
2008年度冬展：地質情報展秋田



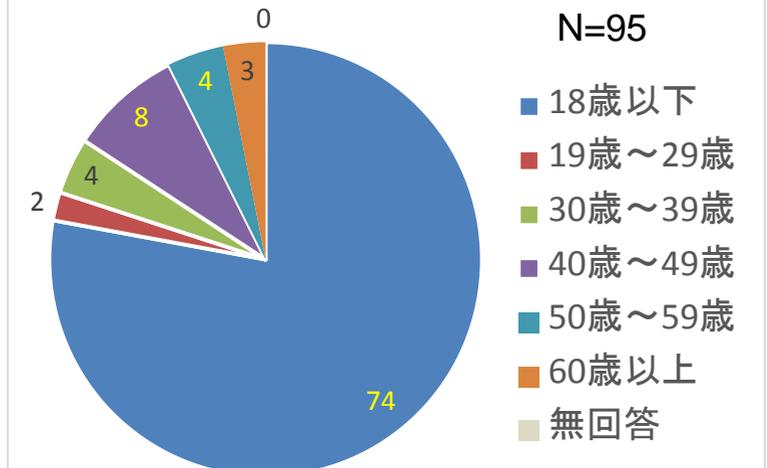
2009年度春展：五百澤智也



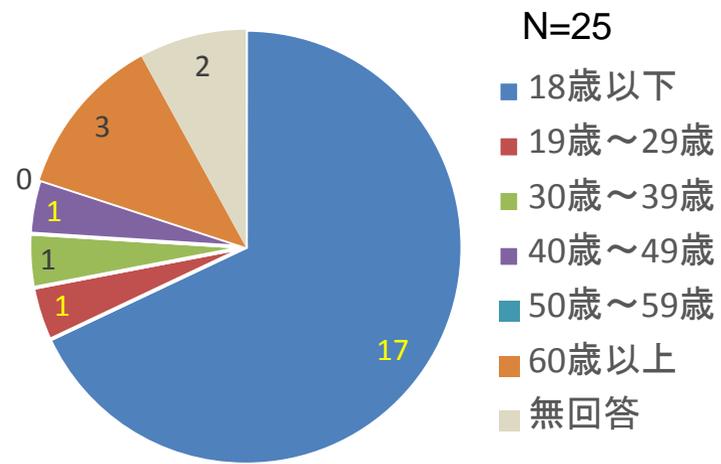
常設展：2009/7/6-7/20



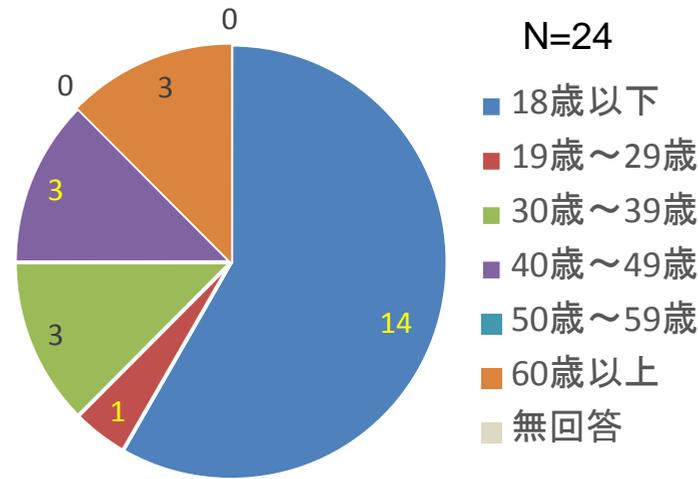
2009年度夏展：ジオパーク



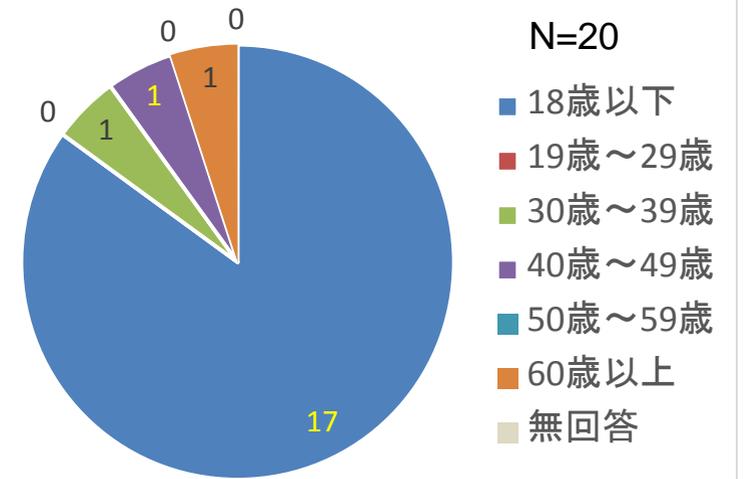
常設展: 2009/9/28-11/16



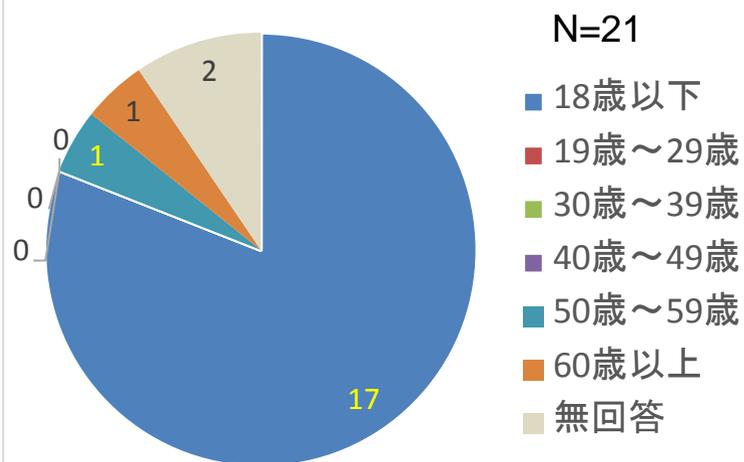
2009年度秋展: 日本石紀行



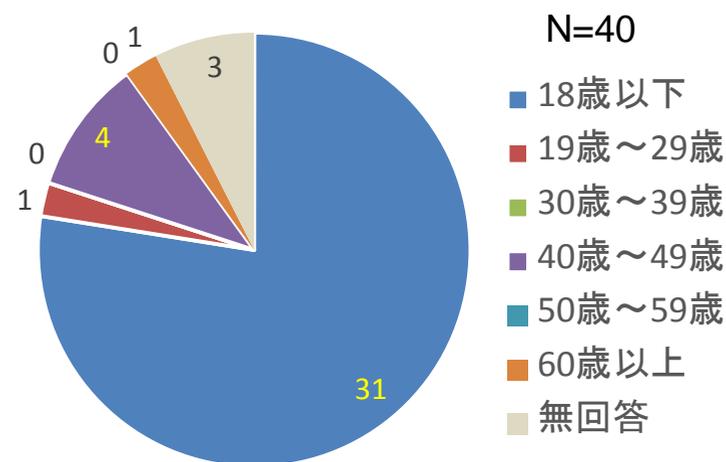
2009年度冬展: 地質情報展岡山



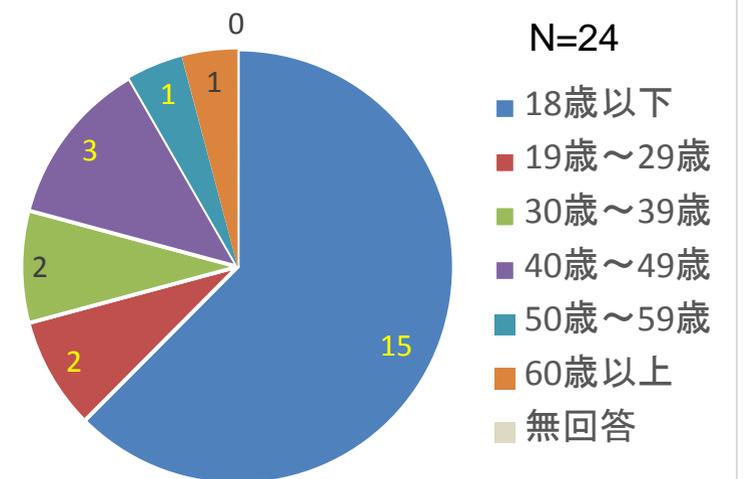
2010年春展度: 揺れる日本列島



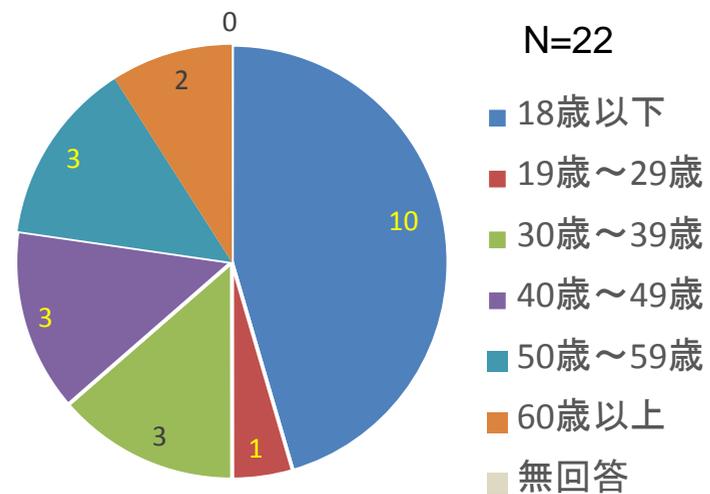
2010年度夏展: 有珠火山



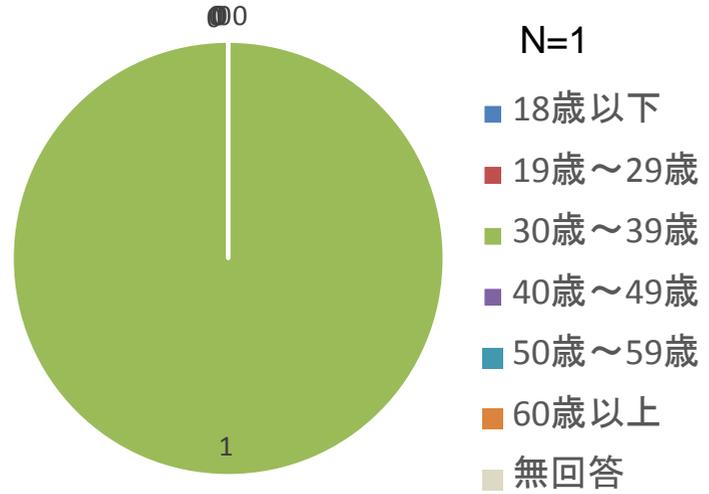
常設展: 2010/9/27-11/15



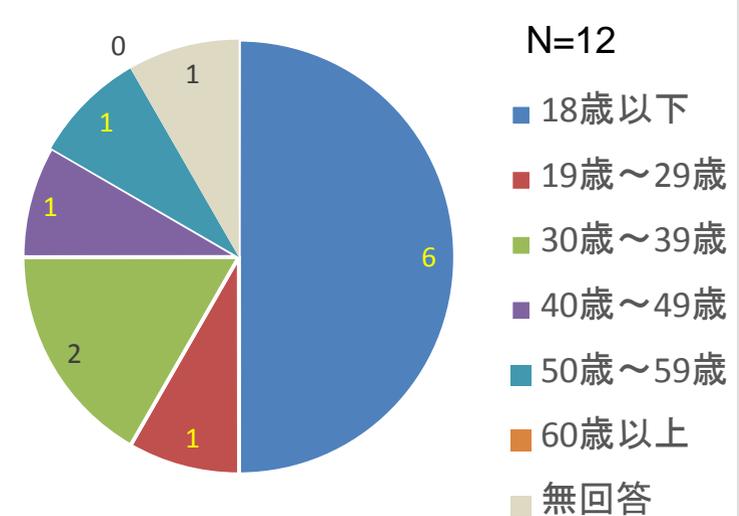
2010年度秋展:宮沢賢治



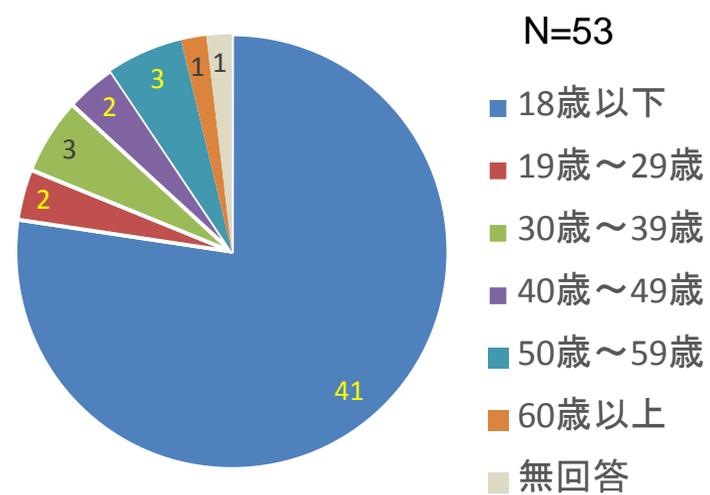
常設展:2011/2/1-2/6



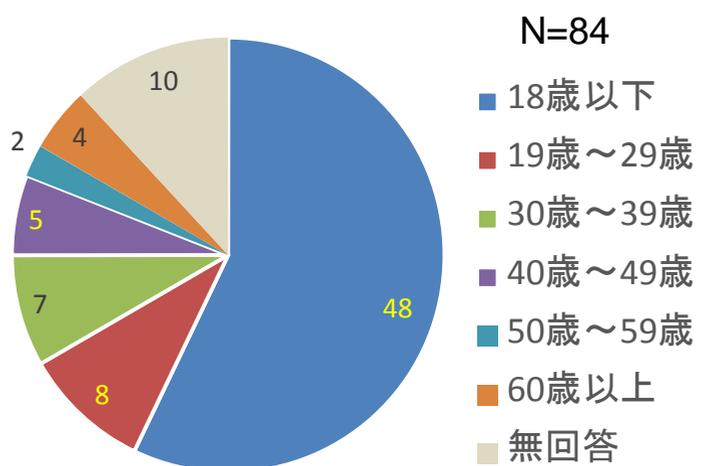
2010年度冬展:地質情報展富山



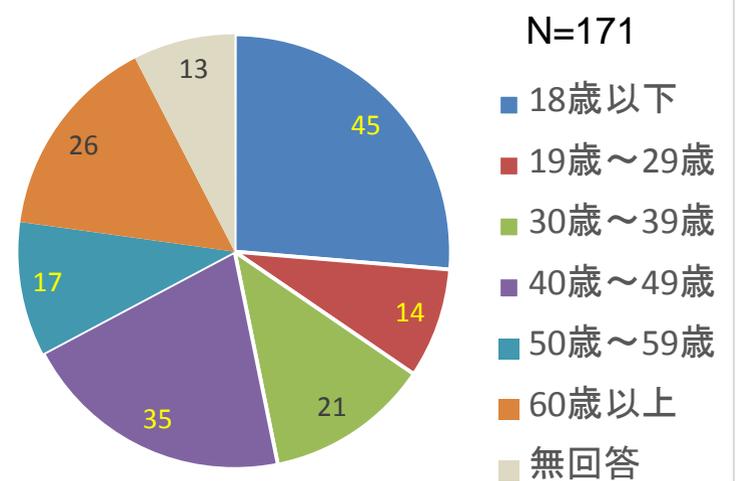
常設展:2011/4/1-7/17



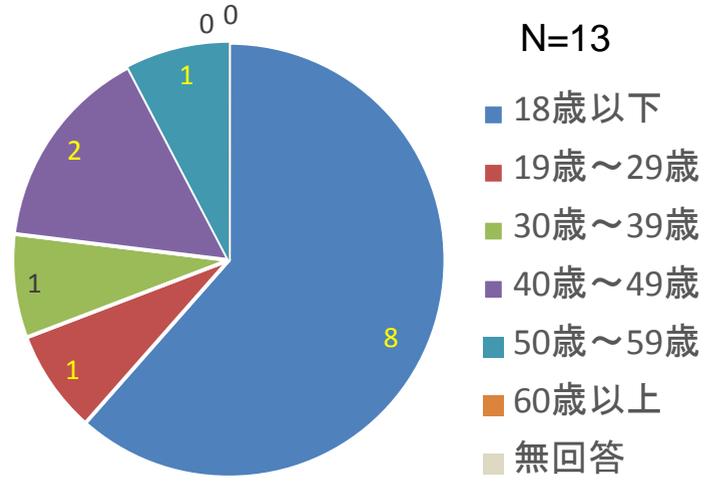
2011年度夏展:世界石紀行



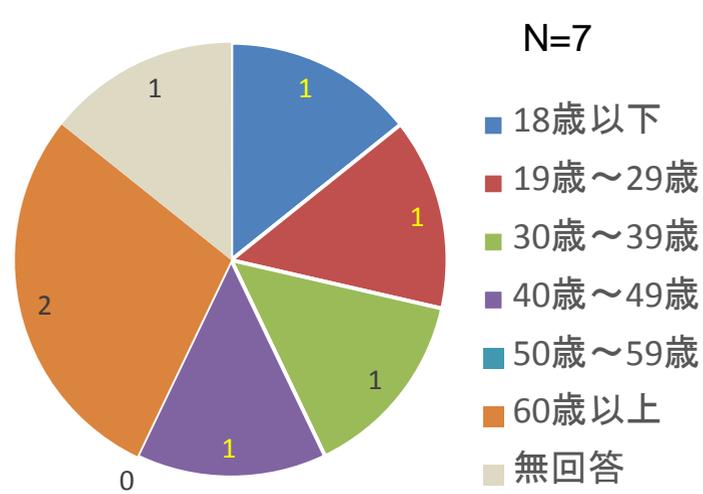
常設展:2011/11/1-12/25



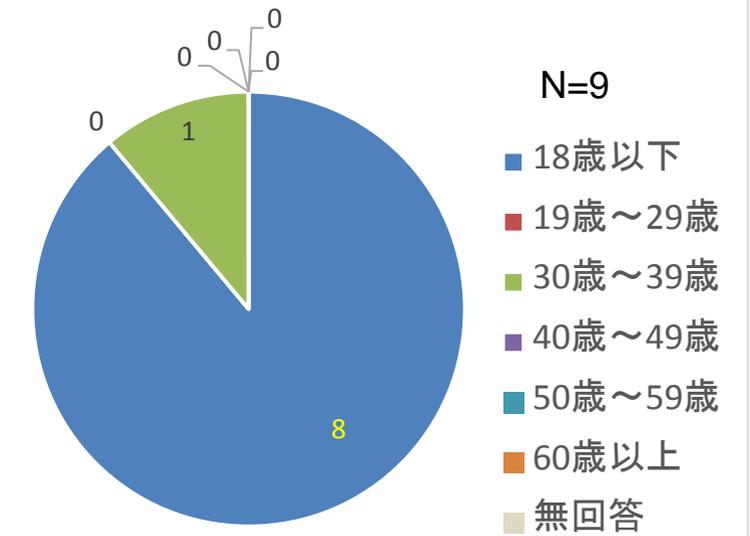
2011年度冬展:地質情報展みと



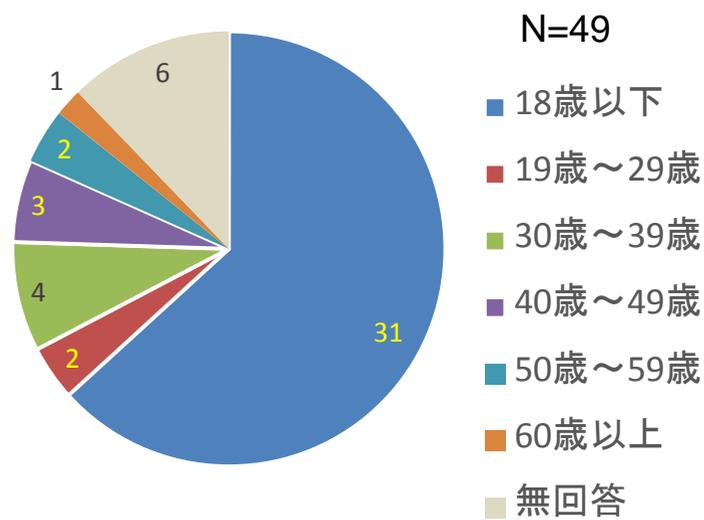
常設展:2012/3/21-3/31



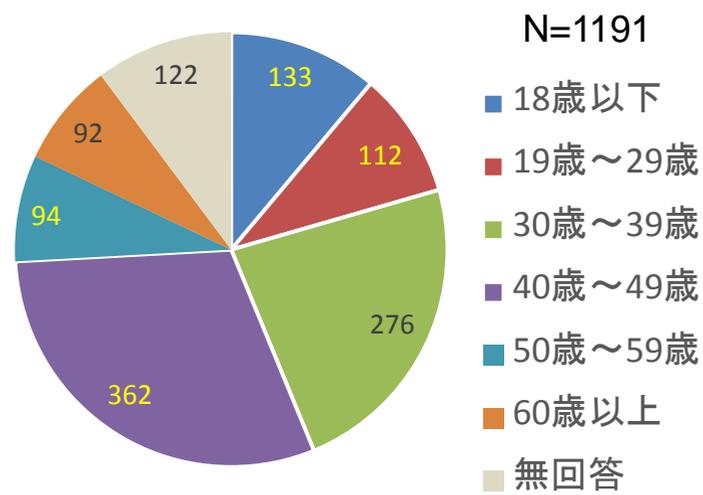
常設展:2012/4/1-4/16



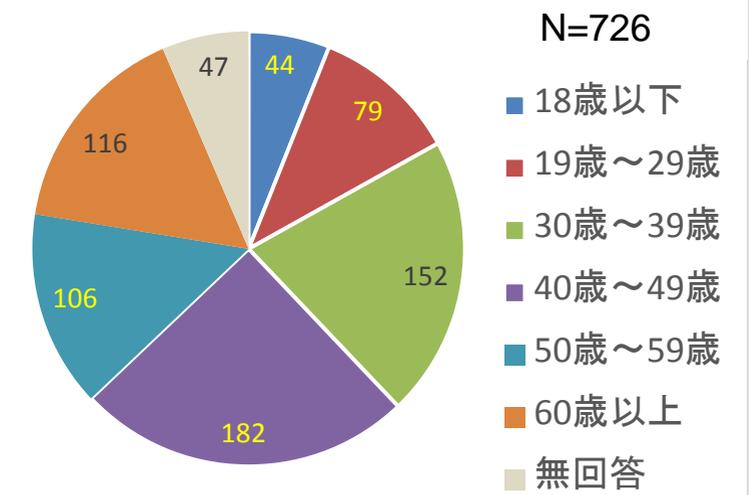
2012年度春度展:オマーン



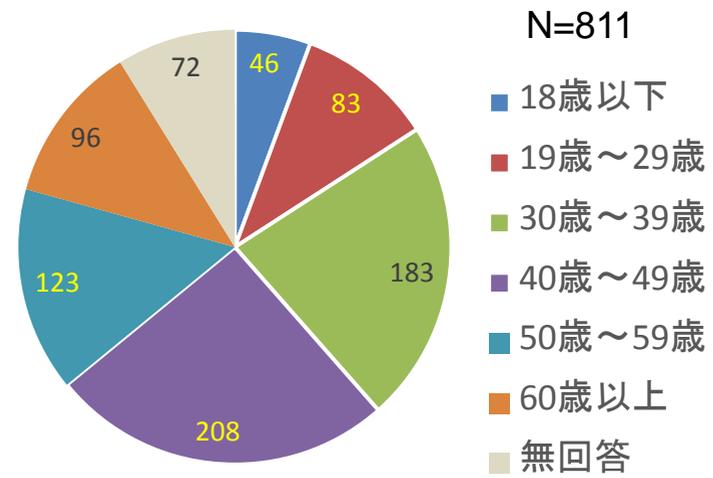
2012年度夏展:微化石



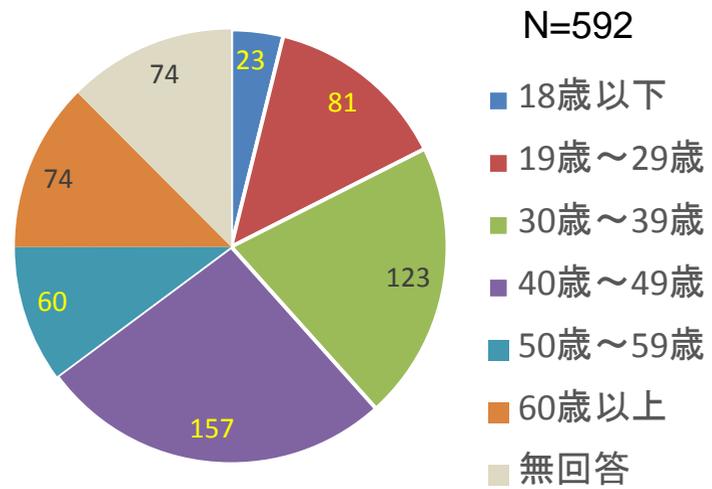
常設展:2012/10/1-12/27



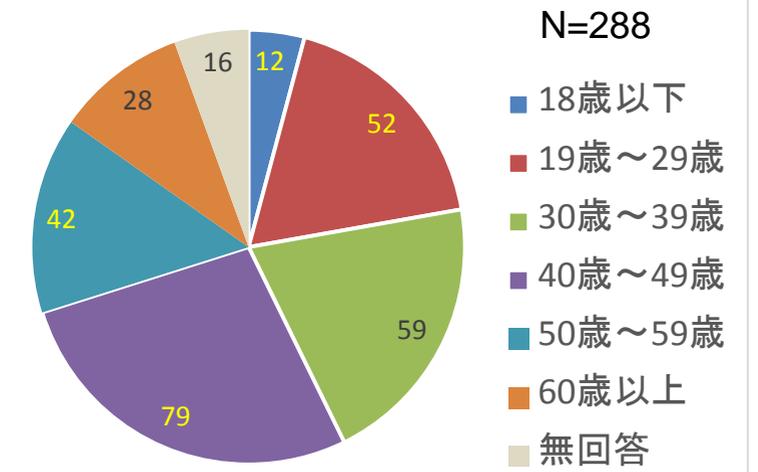
2012年度冬展：地質情報展大阪



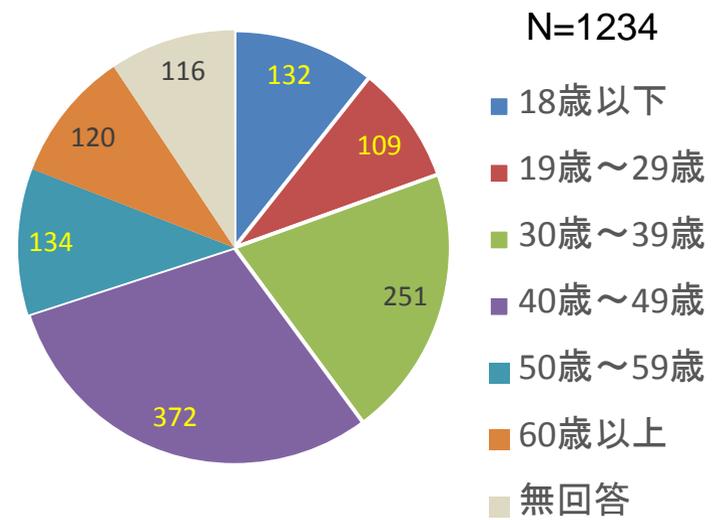
2013年度春展：霧島火山



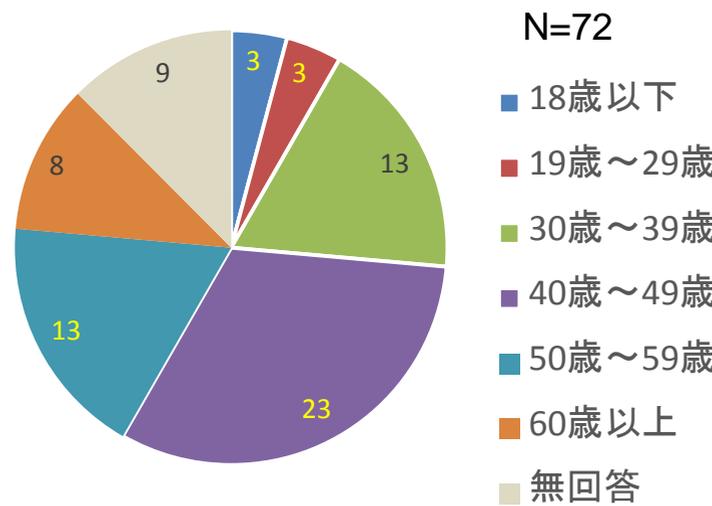
常設展：2013/6/4-7/15



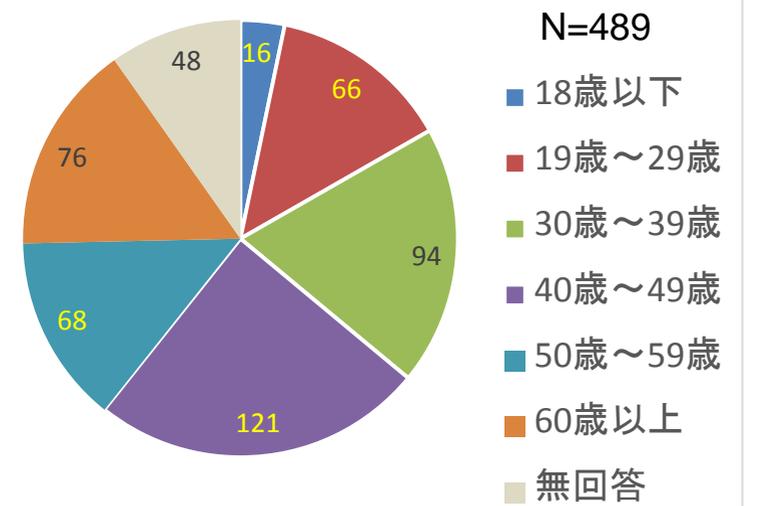
2013年度夏展：地熱・地中熱



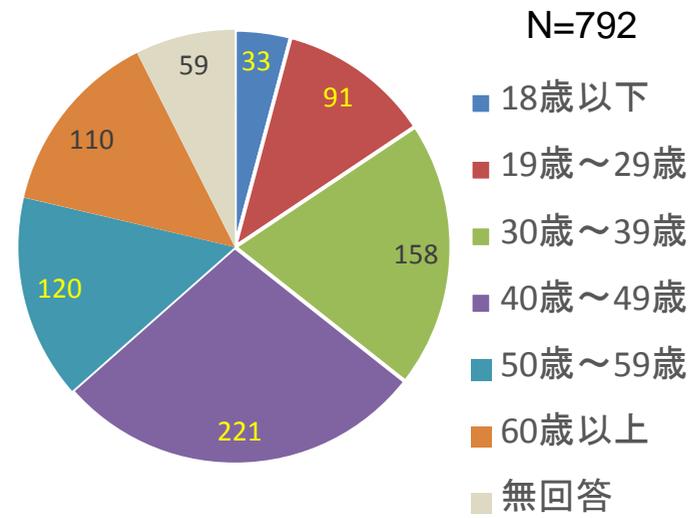
常設展：2013/10/29-11/10



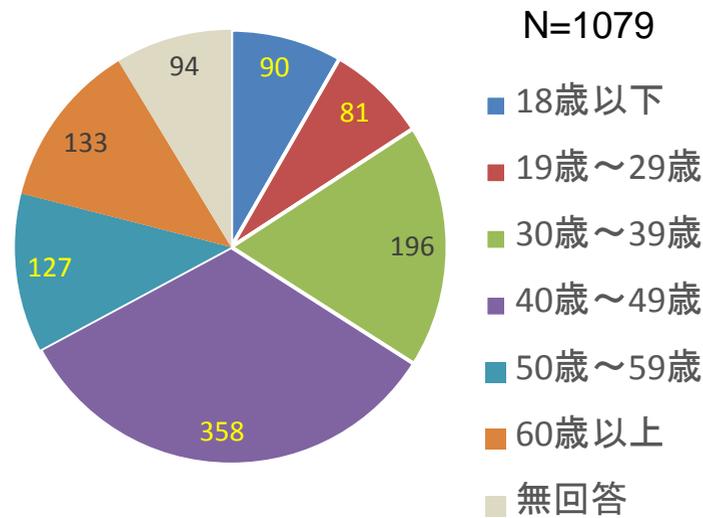
2013年度冬展：地質情報展宮城



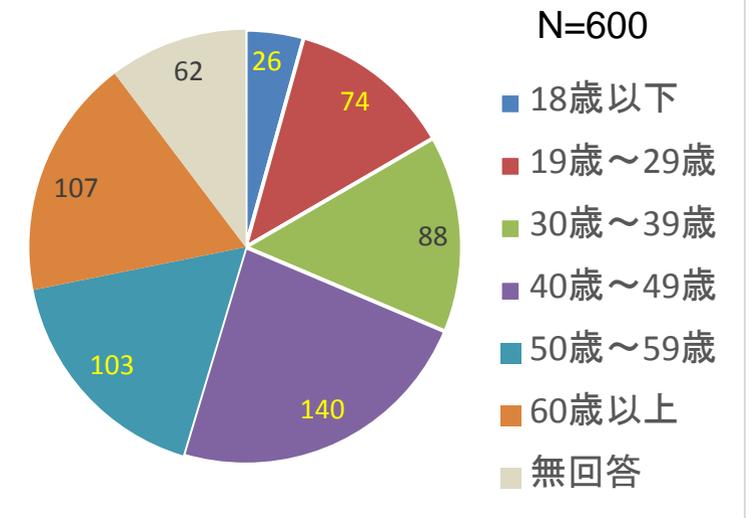
2014年度春展:複合地質リスク



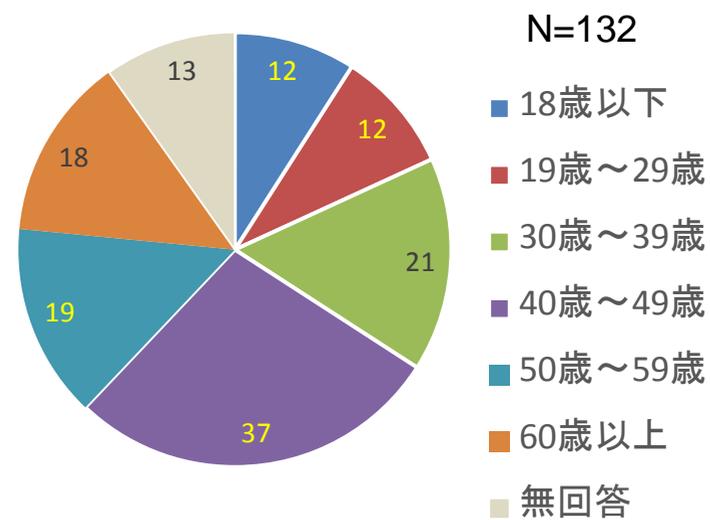
2014年度夏展:地質アナログ模型



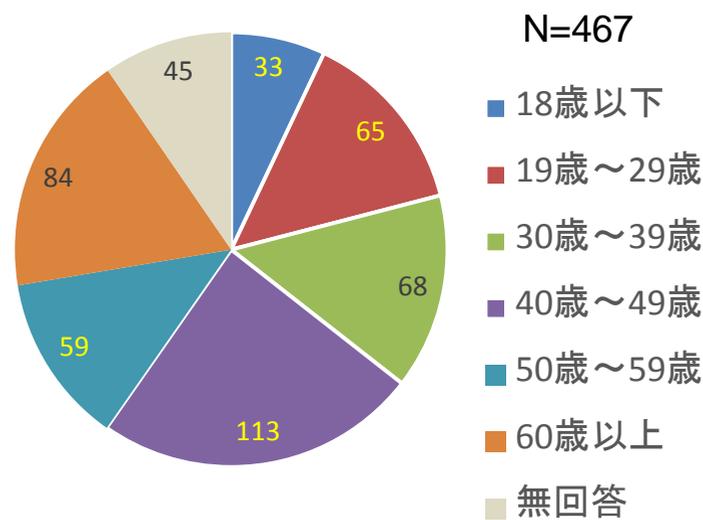
2014年度冬展:地質情報展鹿児島



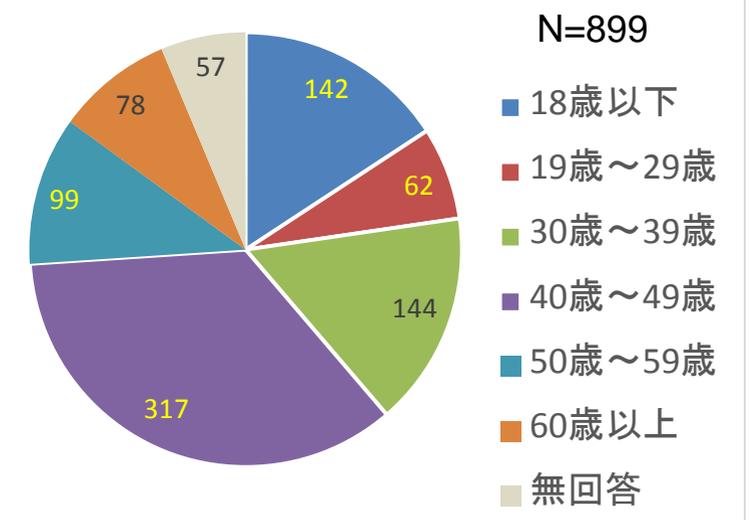
常設展:2015/3/24-4/12



2015年度春展:伊豆大島

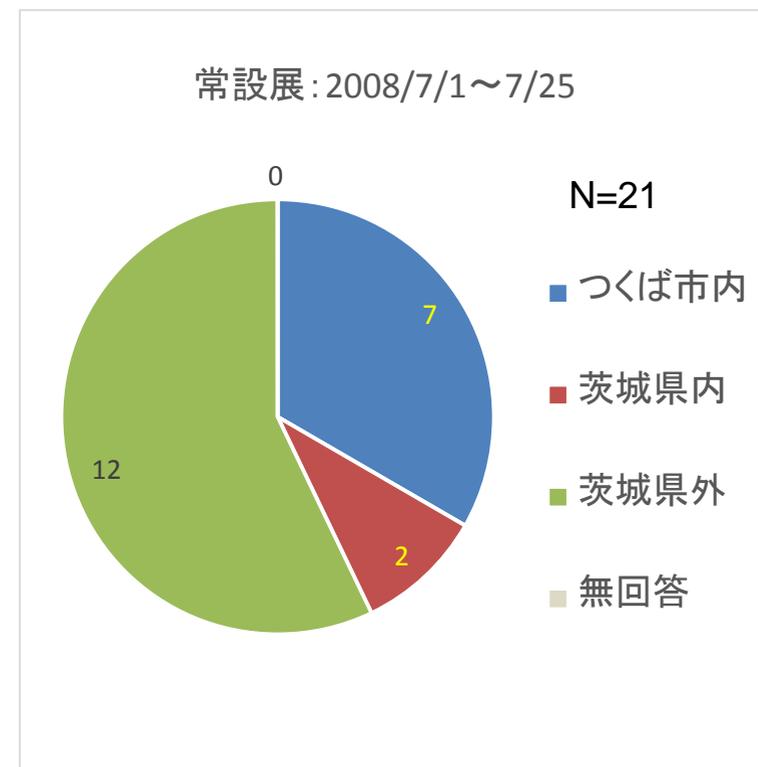
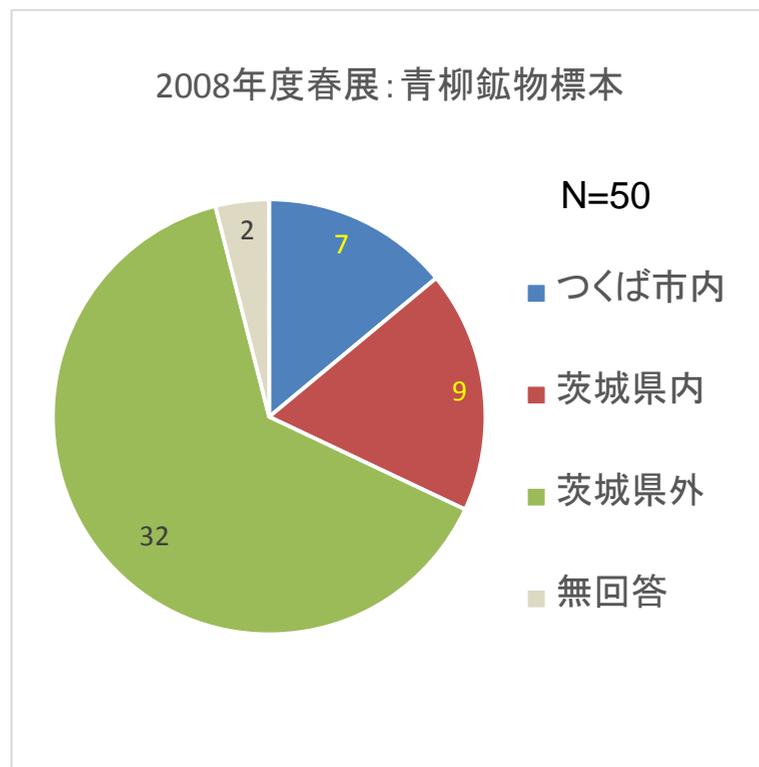
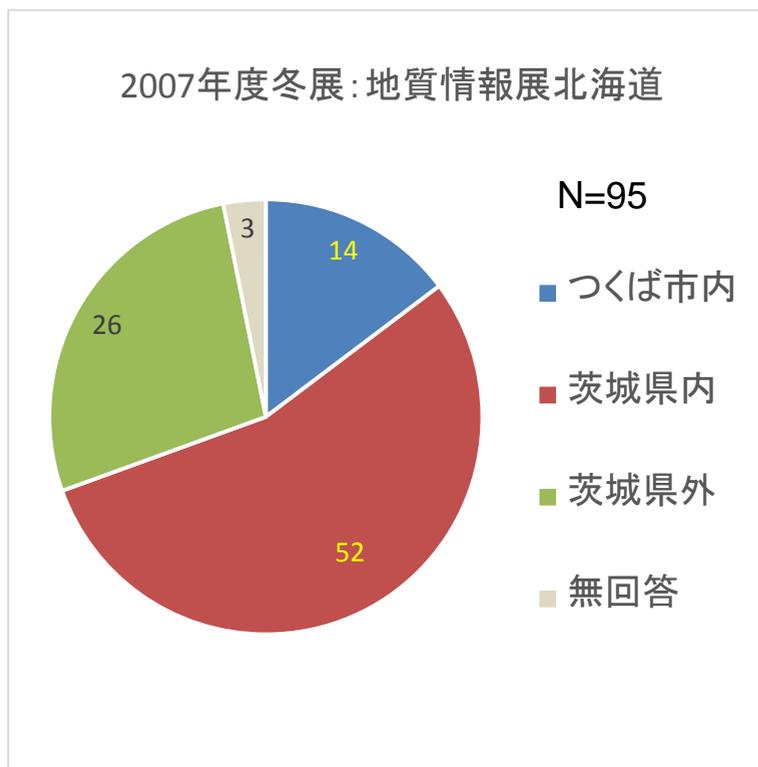
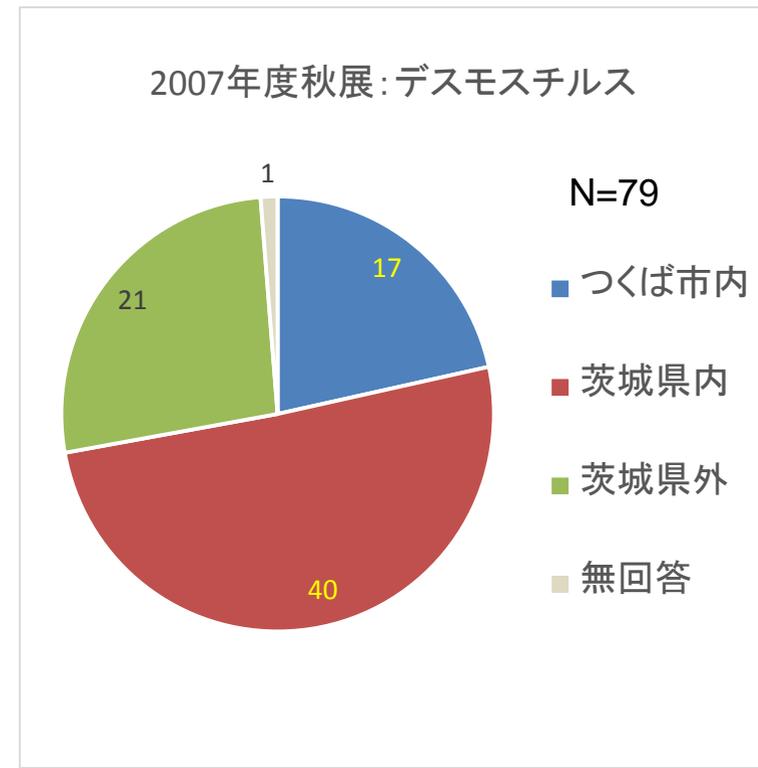
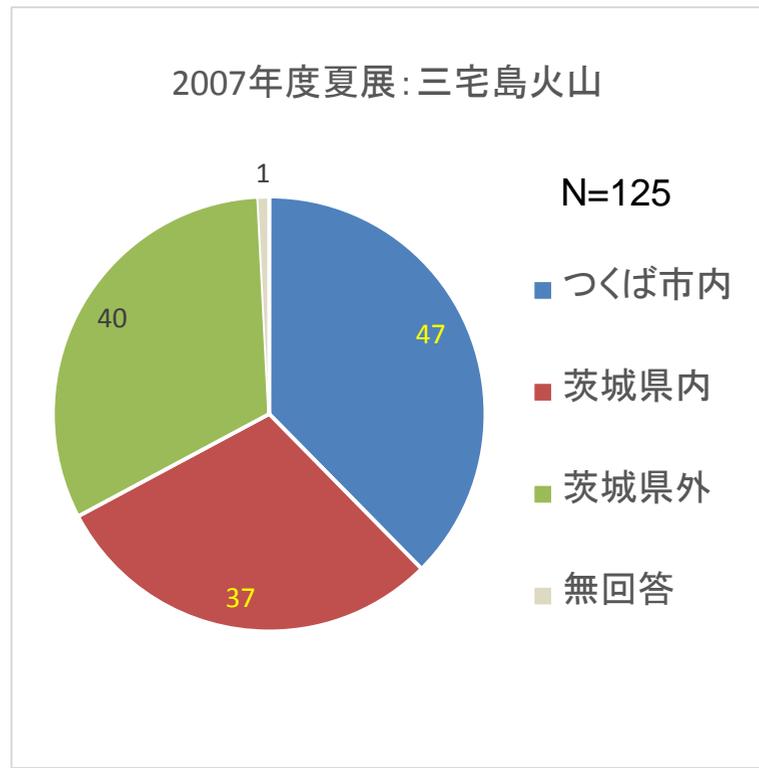
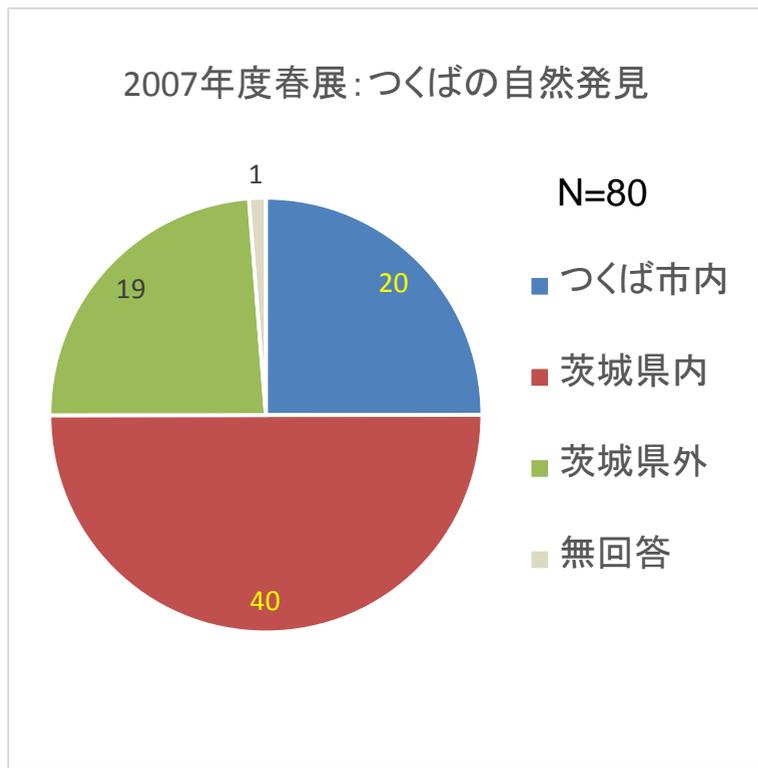


2015年度夏展:ジオパーク

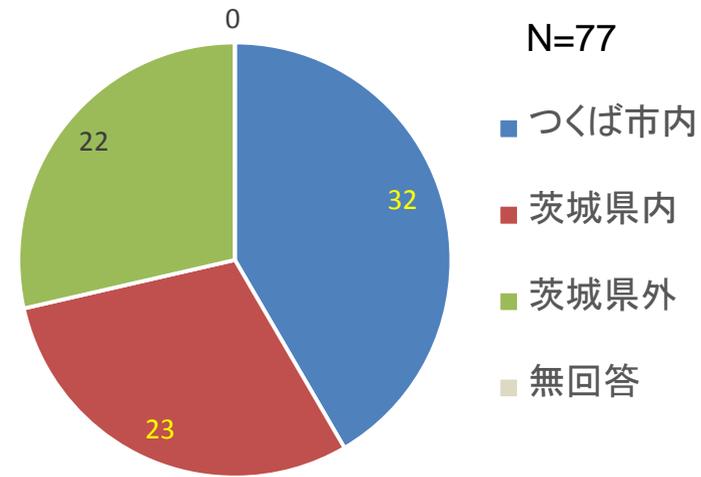


第3図 どこから来たか

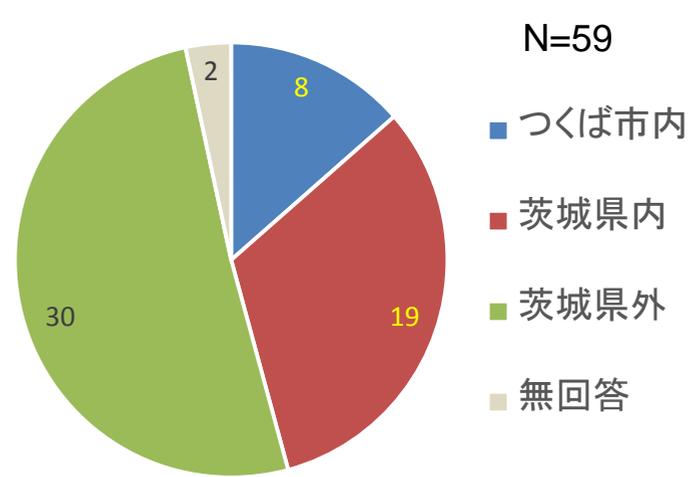
アンケート数は重複回答を含む



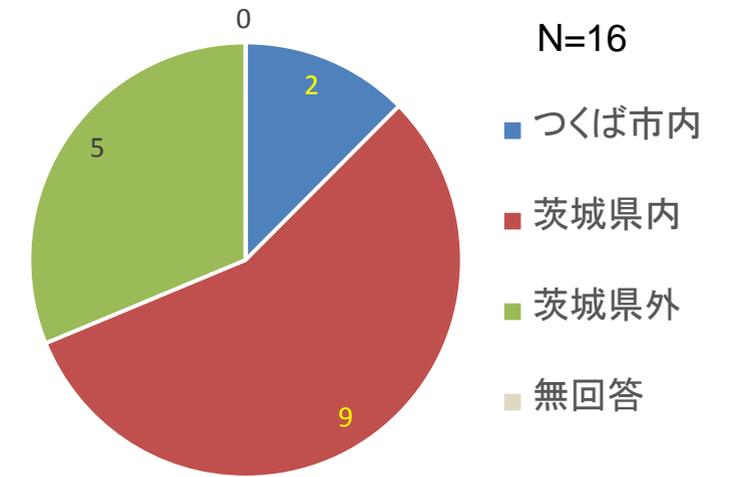
2008年度夏展：深海掘削



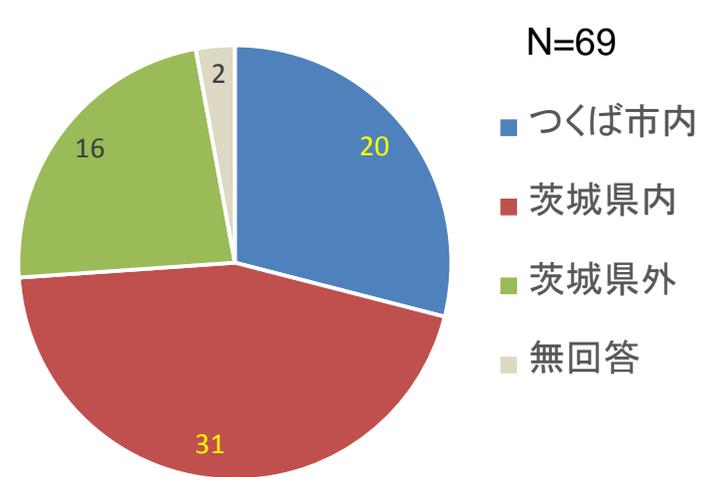
常設展：2008/9/30-12/14



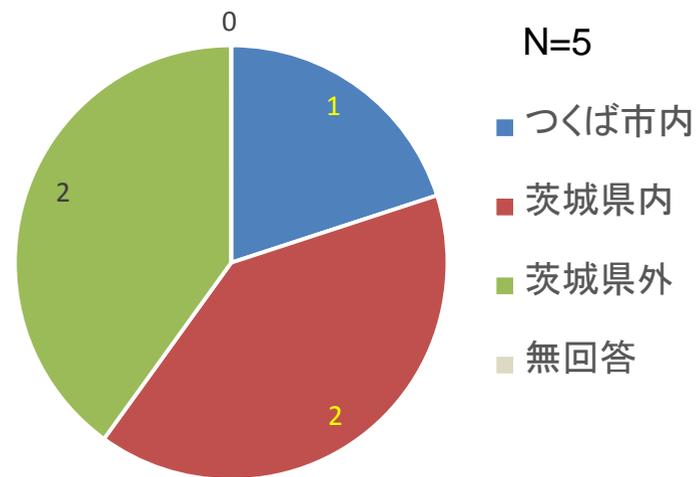
2008年度冬展：地質情報展秋田



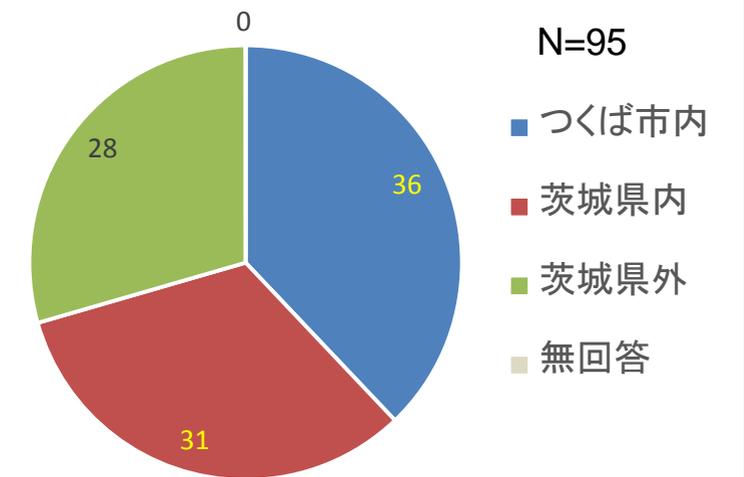
2009年度春展：五百澤智也



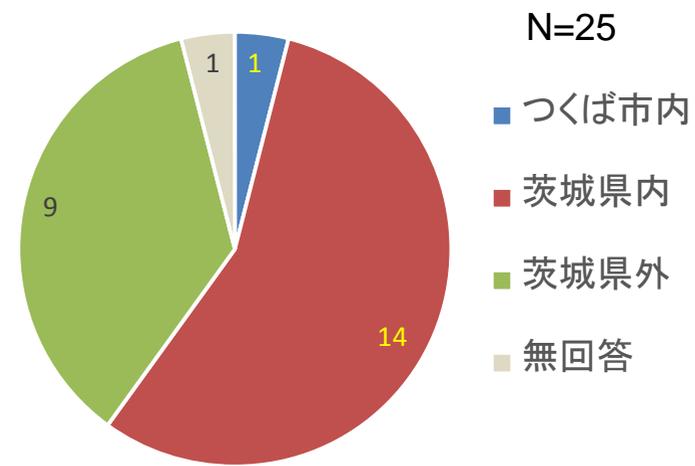
常設展：2009/7/6-7/20



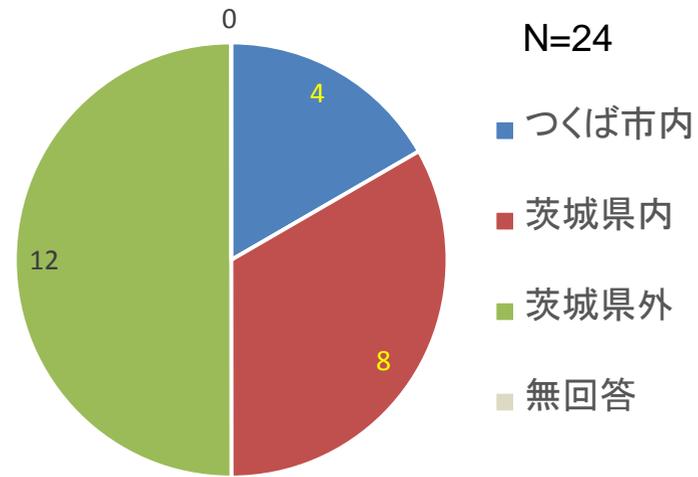
2009年度夏展：ジオパーク



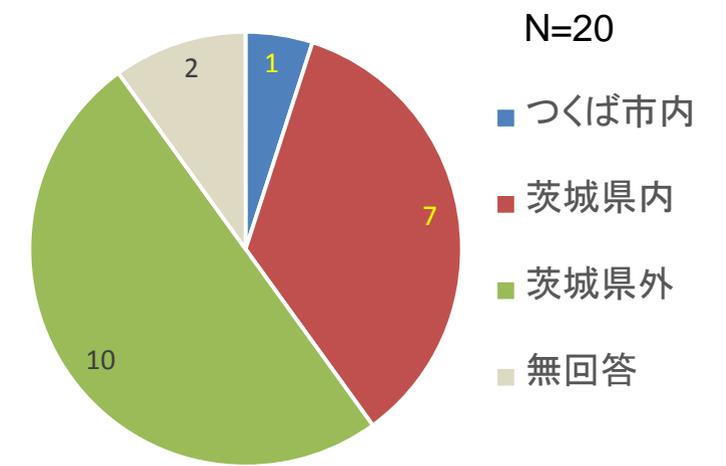
常設展：2009/9/28-11/16



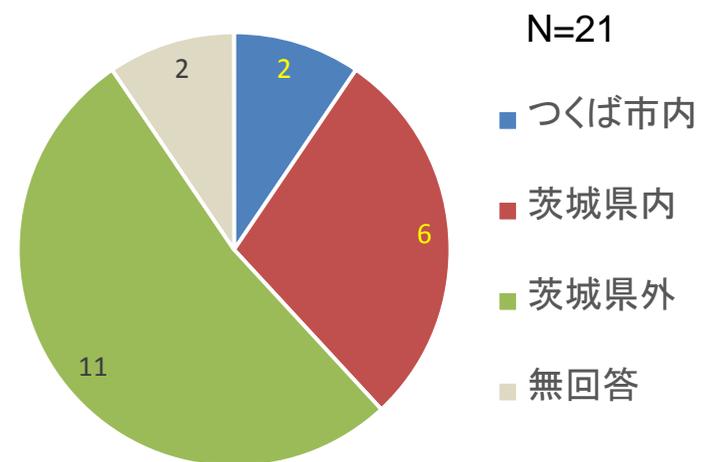
2009年度秋展：日本石紀行



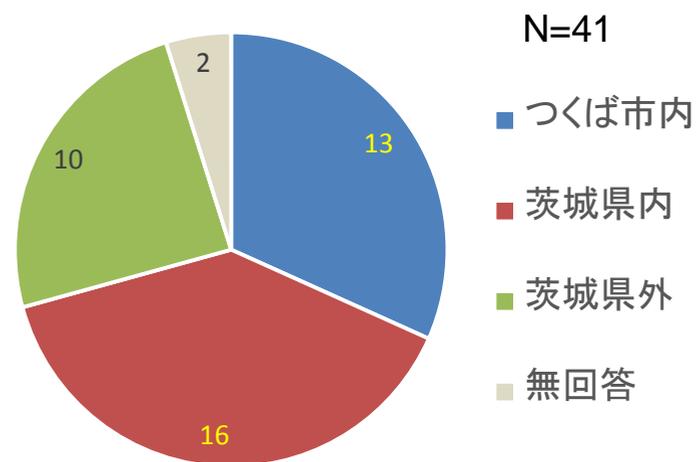
2009年度冬展：地質情報展岡山



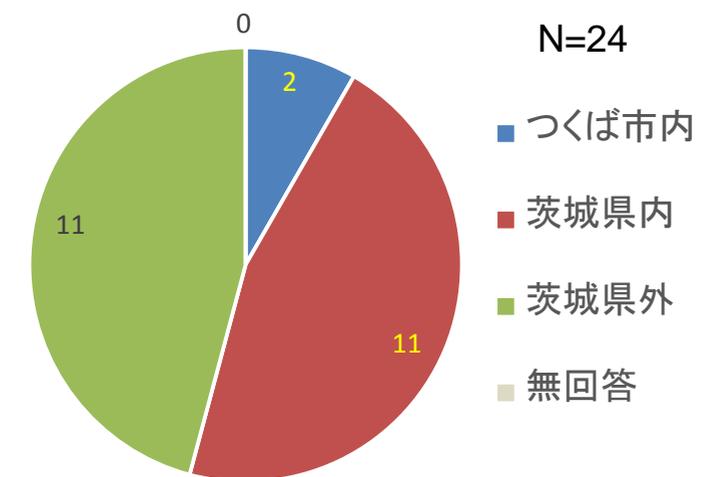
2010年春展度：揺れる日本列島



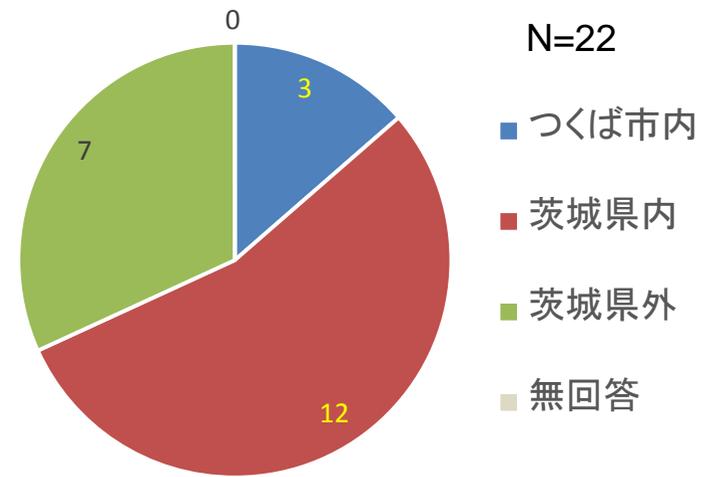
2010年度夏展：有珠火山



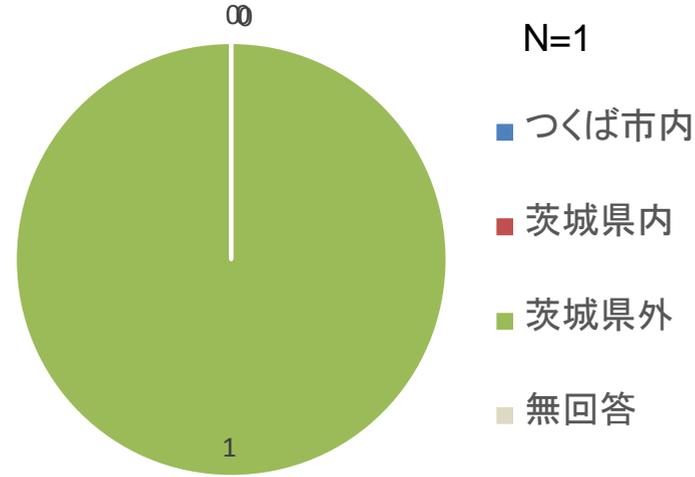
常設展：2010/9/27-11/15



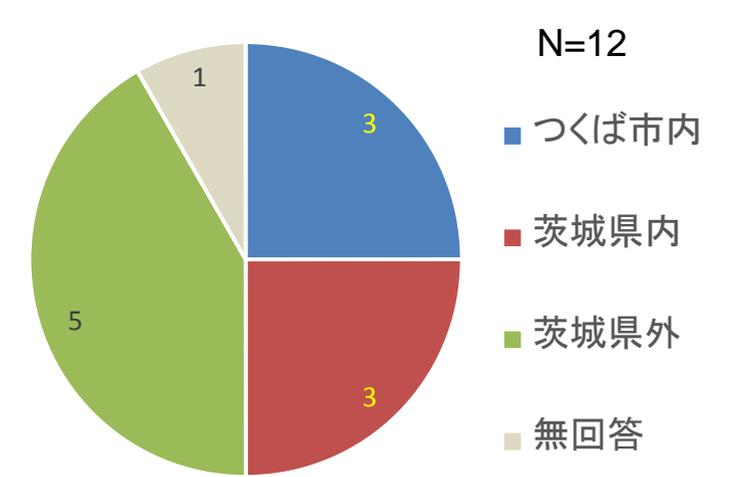
2010年度秋展:宮沢賢治



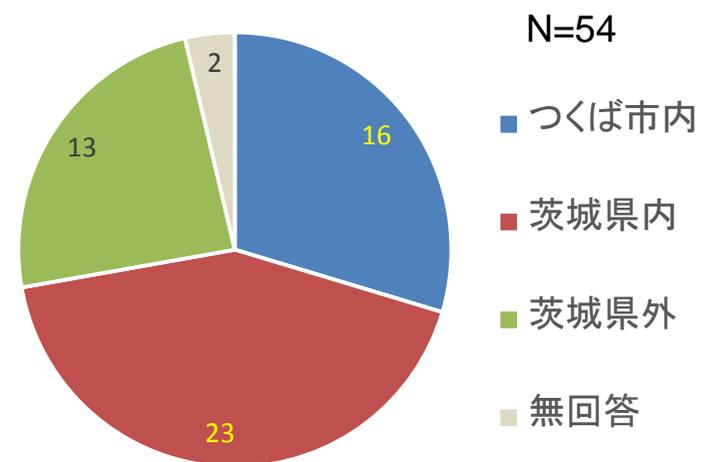
常設展:2011/2/1-2/6



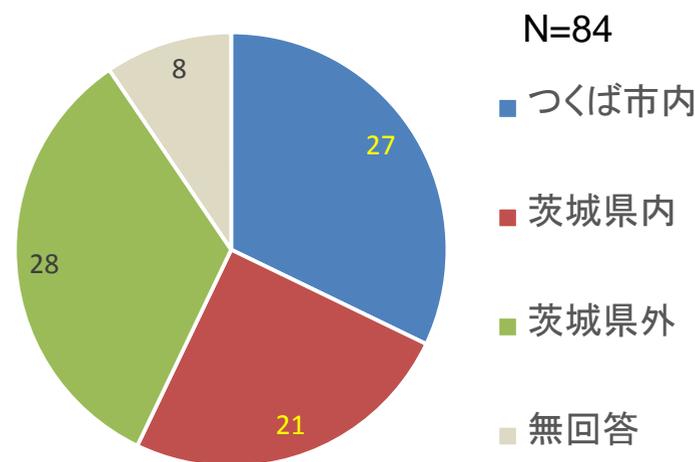
2010年度冬展:地質情報展富山



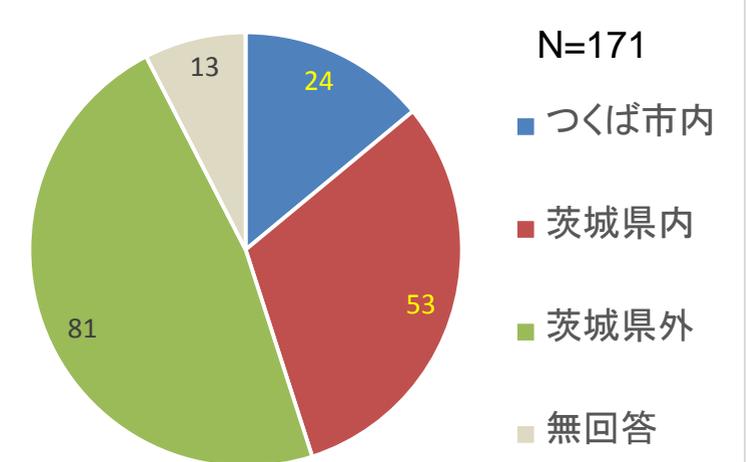
常設展:2011/4/1-7/17



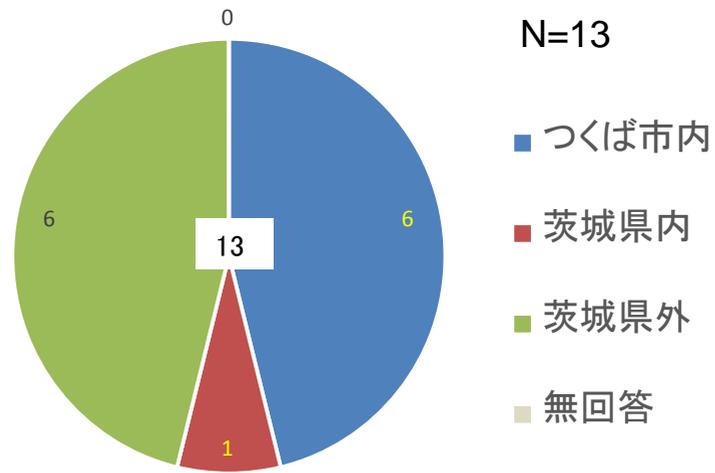
2011年度夏展:世界石紀行



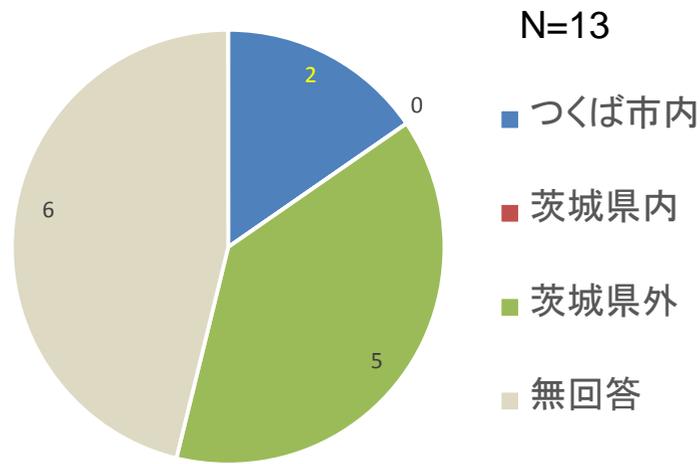
常設展:2011/11/1-12/25



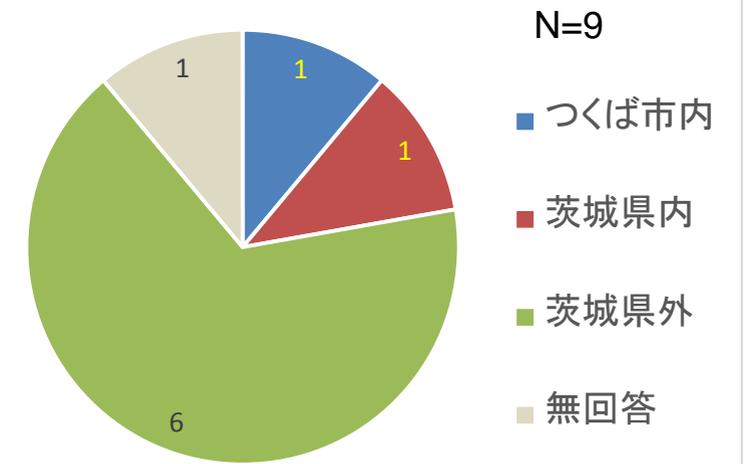
2011年度冬展:地質情報展みと



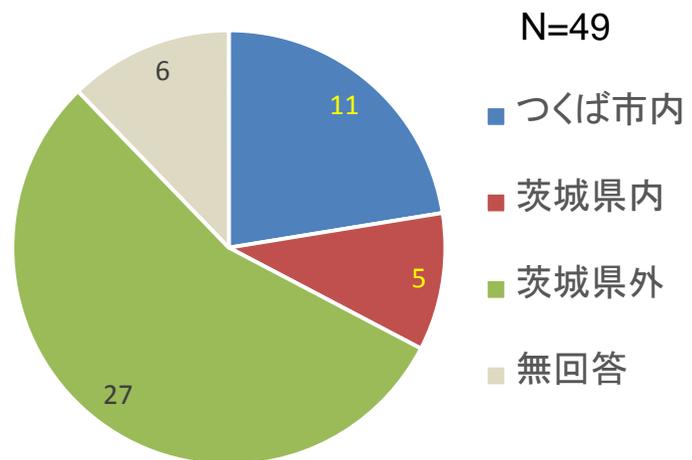
常設展:2012/3/21-3/31



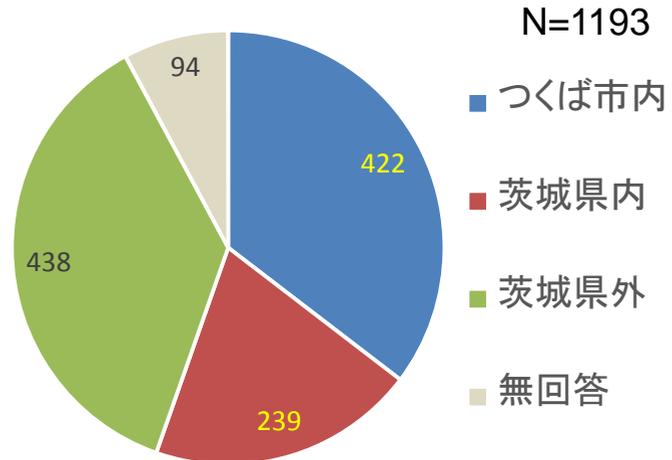
常設展:2012/4/1-4/16



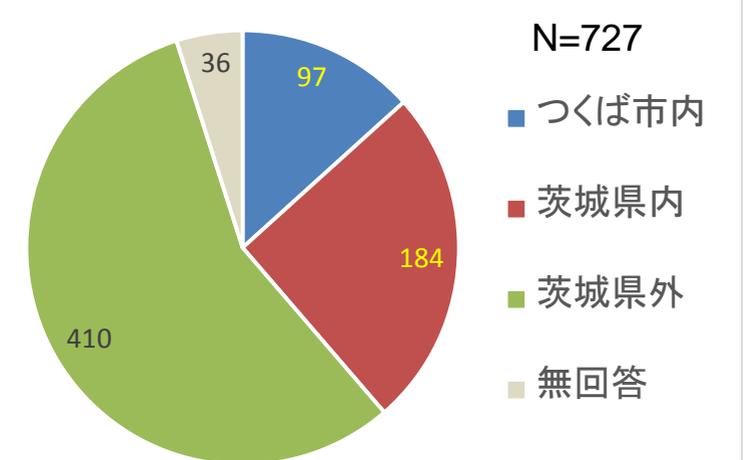
2012年度春度展:オマーン



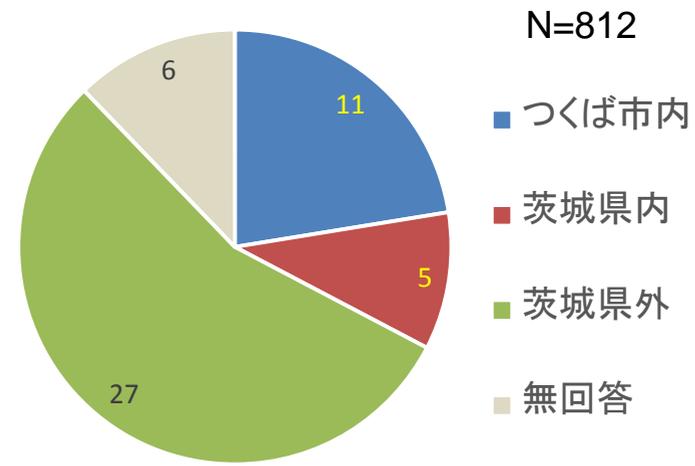
2012年度夏展:微化石



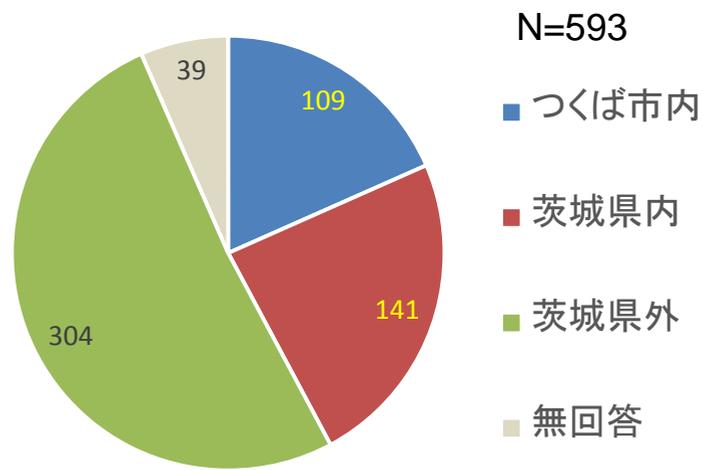
常設展:2012/10/1-12/27



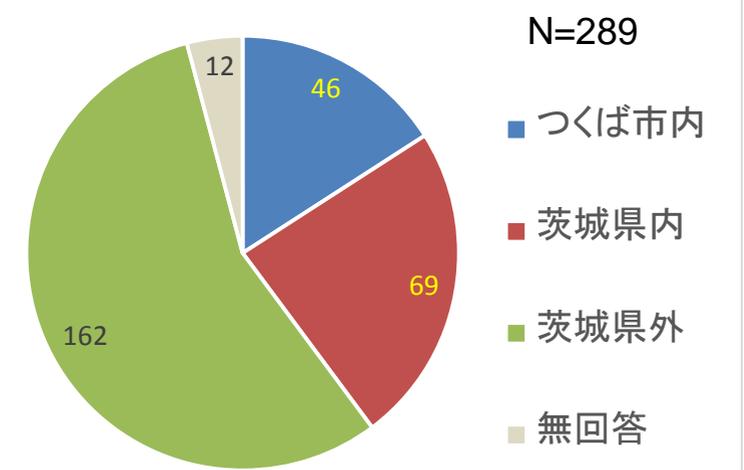
2012年度冬展:地質情報展大阪



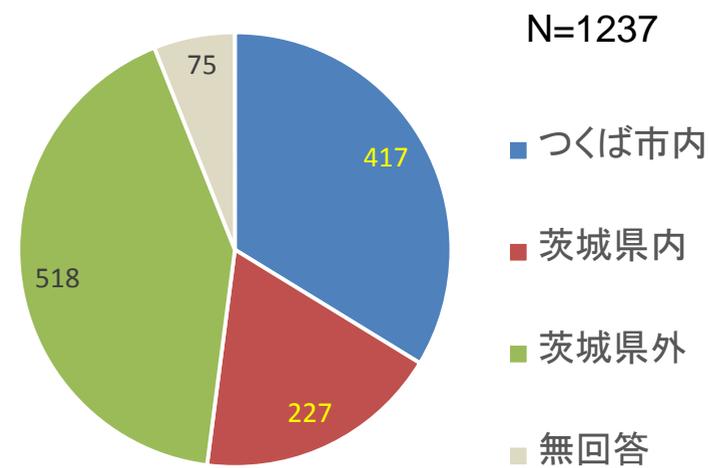
2013年度春展:霧島火山



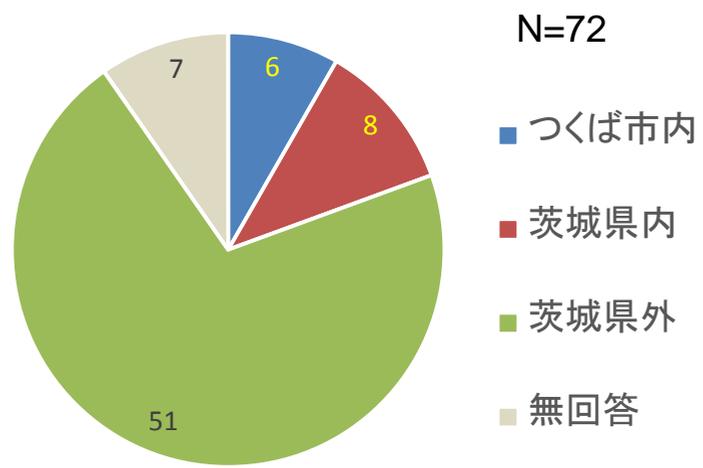
常設展:2013/6/4-7/15



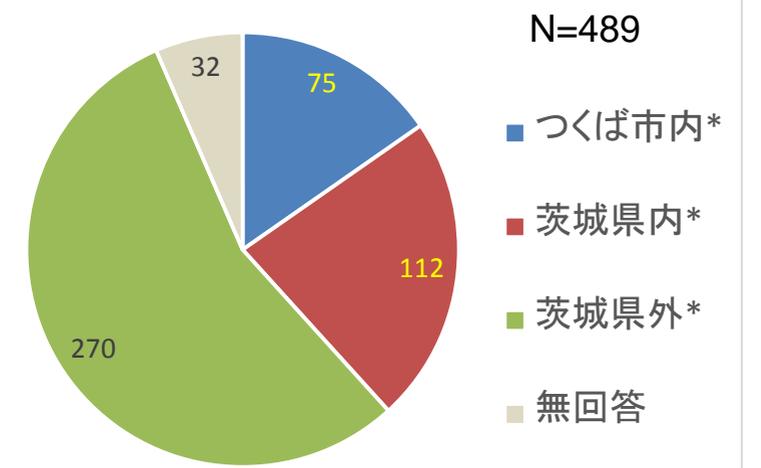
2013年度夏展:地熱・地中熱



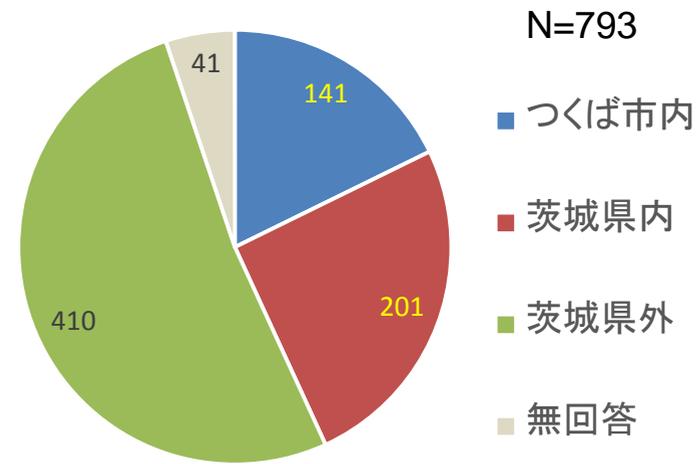
常設展:2013/10/29-11/10



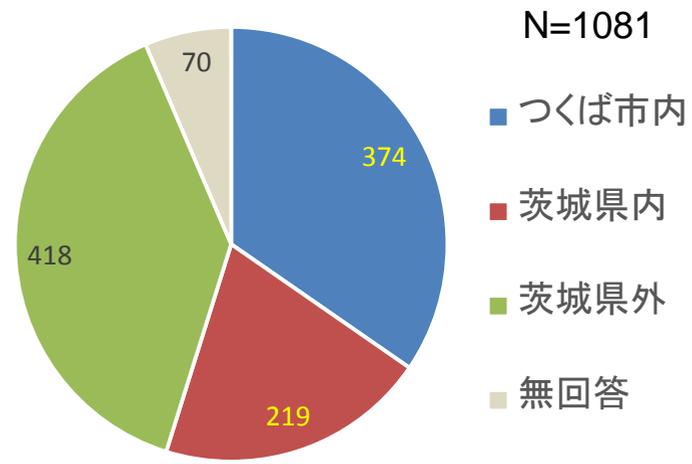
2013年度冬展:地質情報展宮城



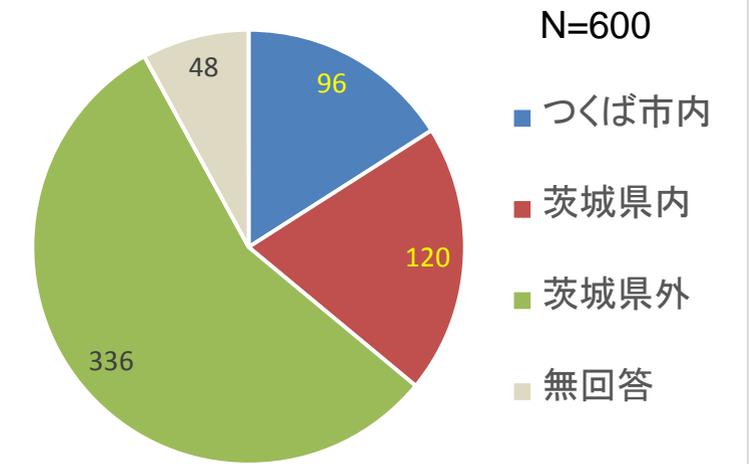
2014年度春展:複合地質リスク



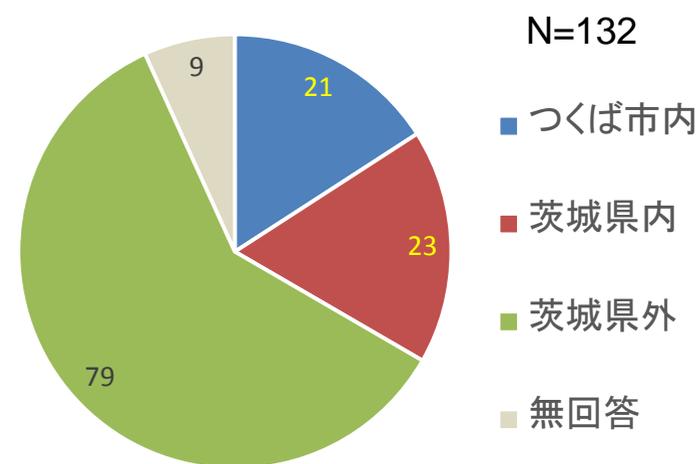
2014年度夏展:地質アナログ模型



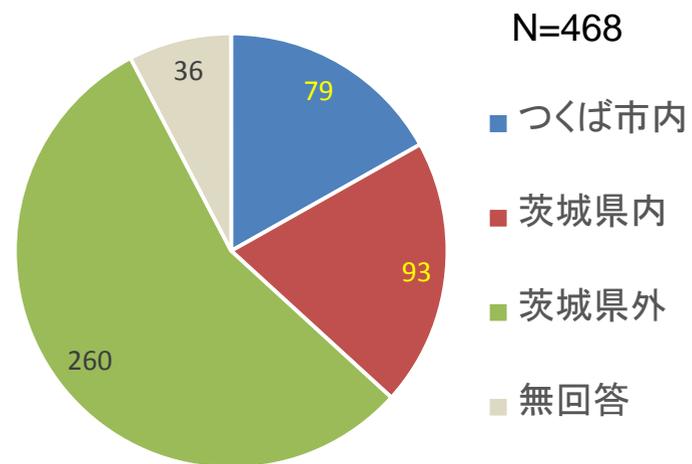
2014年度冬展:地質情報展鹿児島



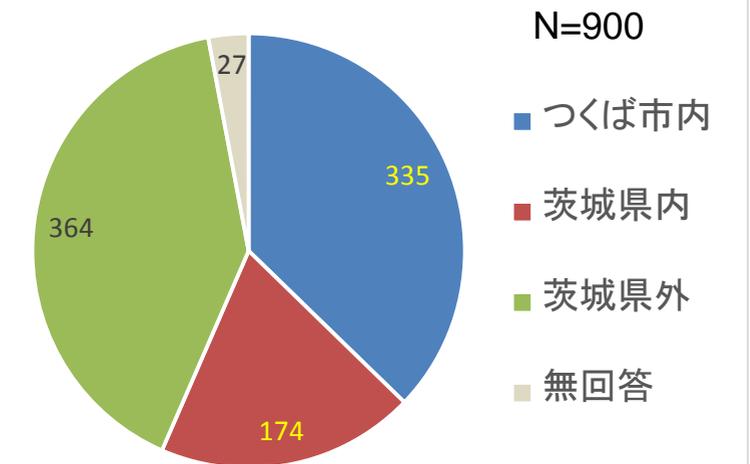
常設展:2015/3/24-4/12



2015年度春展:伊豆大島



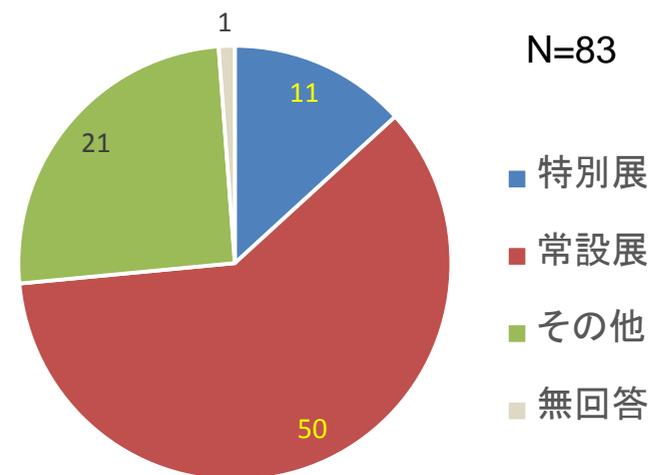
2015年度夏展:ジオパーク



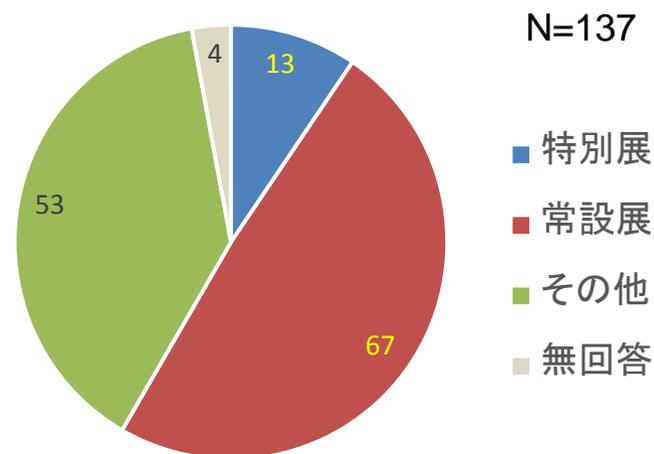
第4図 何を見に来たか(目的)

アンケート数は重複回答を含む

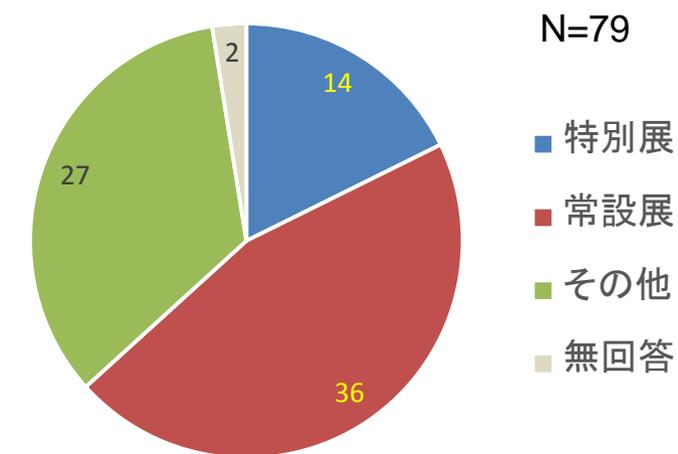
2007年度春展:つくばの自然発見



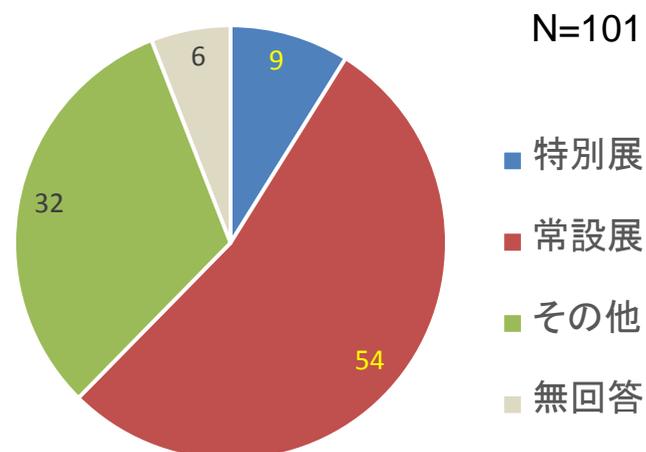
2007年度夏展:三宅島火山



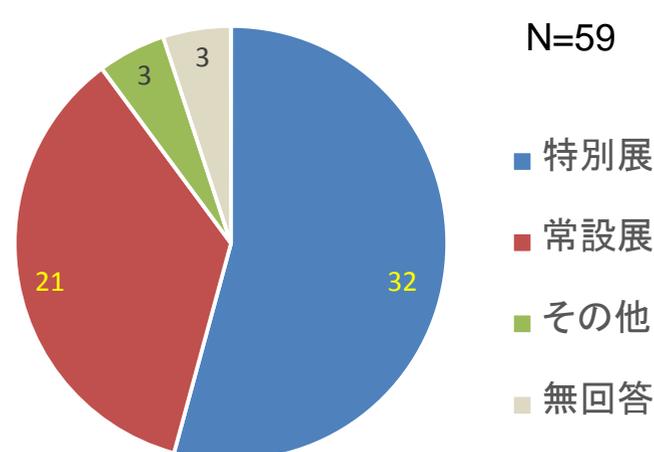
2007年度秋展:デスモスチルス



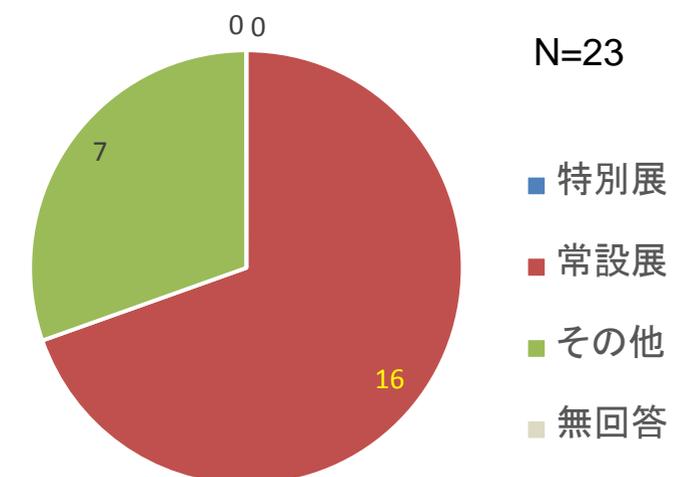
2007年度冬展:地質情報展北海道



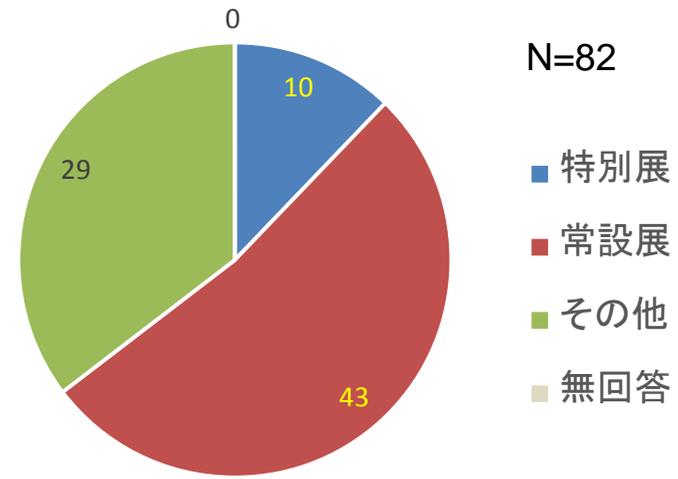
2008年度春展:青柳鉱物標本



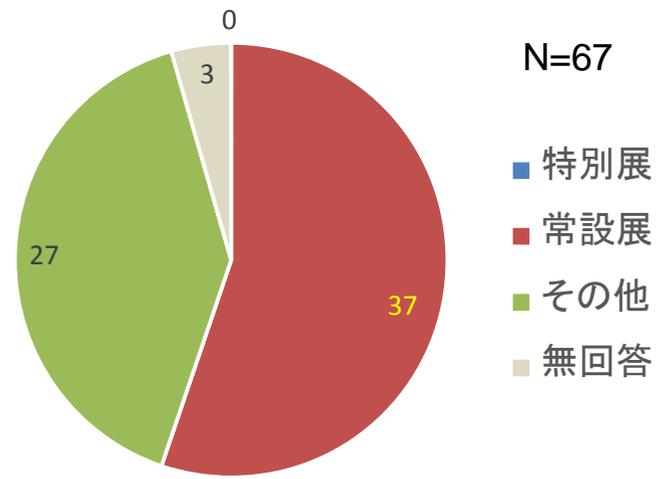
常設展:2008/7/1~7/25



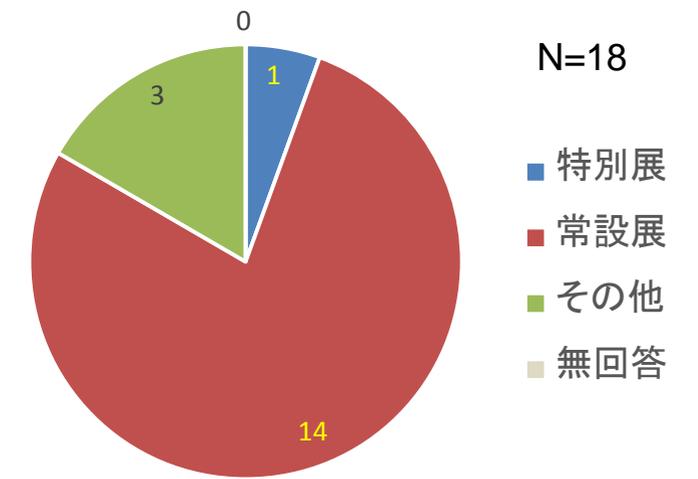
2008年度夏展: 深海掘削



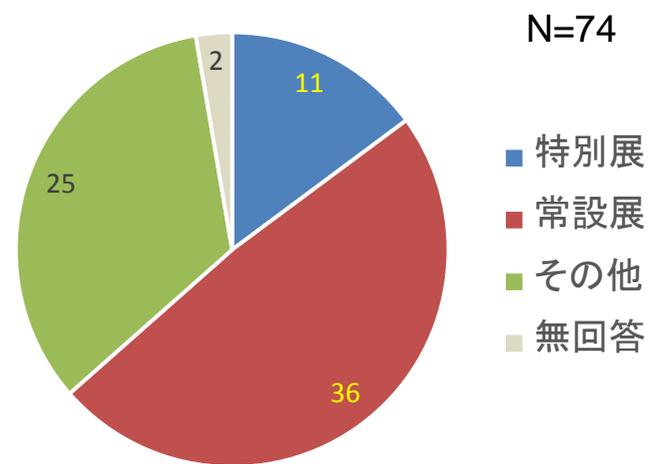
常設展: 2008/9/30-12/14



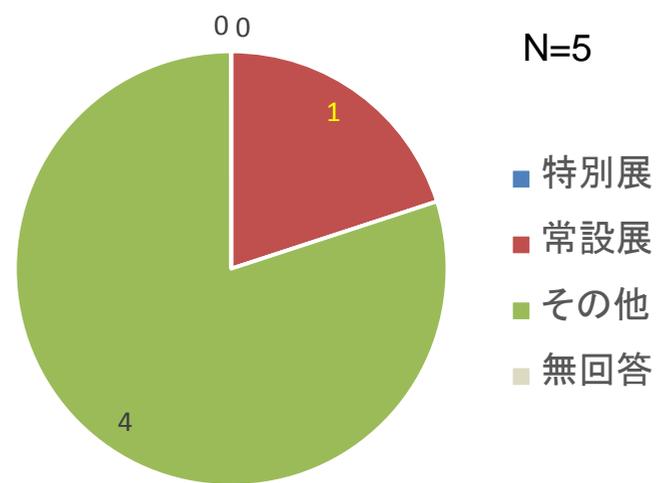
2008年度冬展: 地質情報展秋田



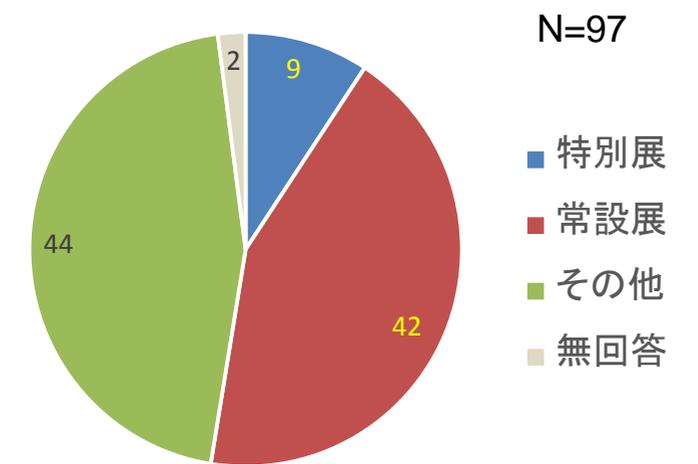
2009年度春展: 五百澤智也



常設展: 2009/7/6-7/20

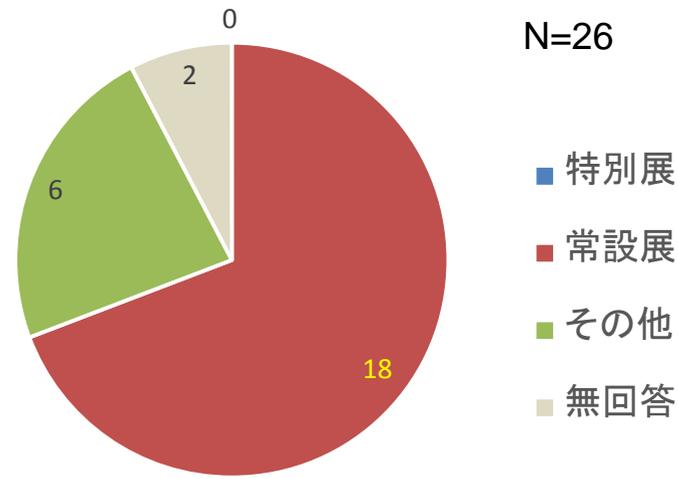


2009年度夏展: ジオパーク



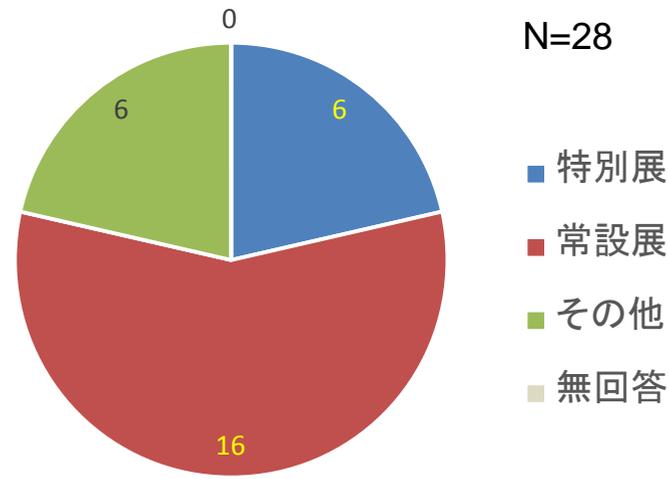
常設展: 2009/9/28-11/16

N=26



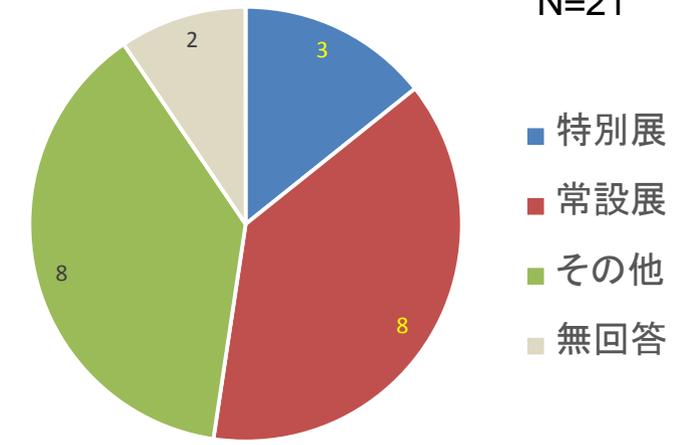
2009年度秋展: 日本石紀行

N=28



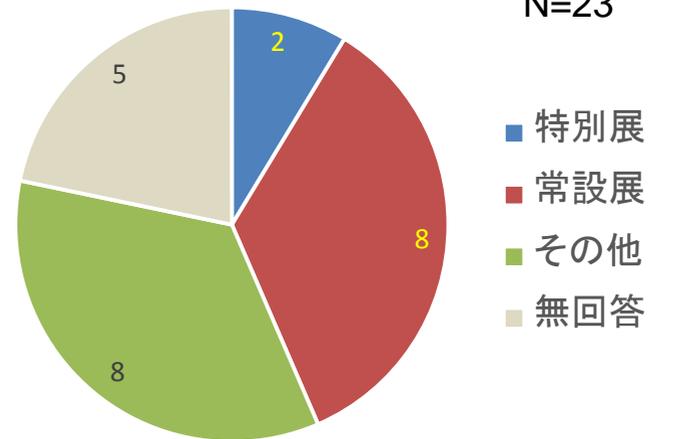
2009年度冬展: 地質情報展岡山

N=21



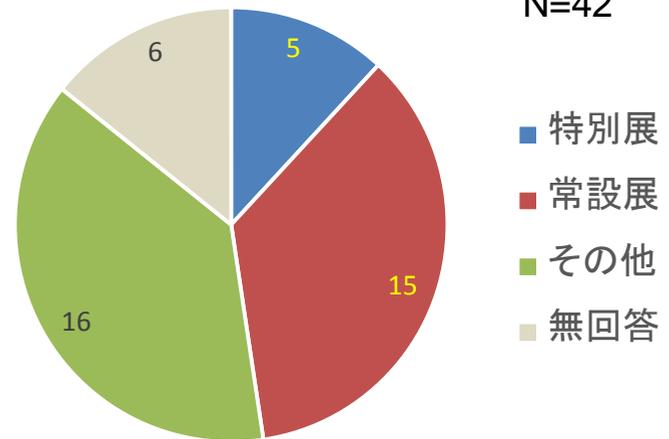
2010年春展度: 揺れる日本列島

N=23



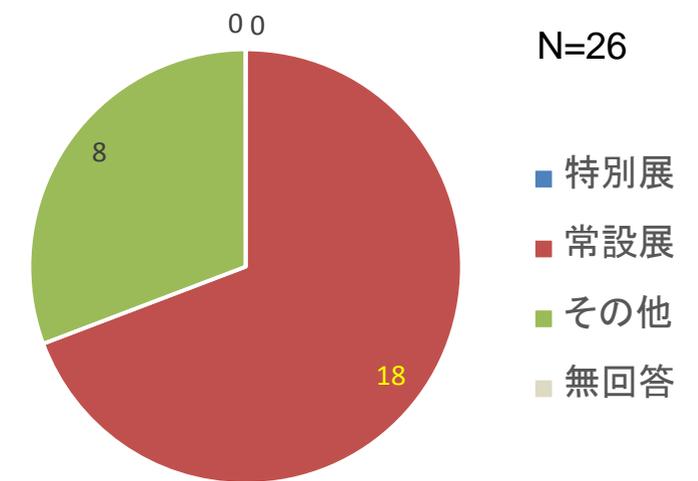
2010年度夏展: 有珠火山

N=42

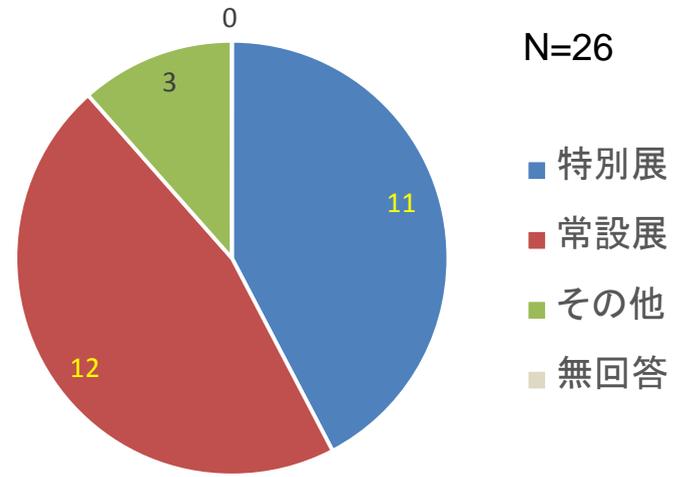


常設展: 2010/9/27-11/15

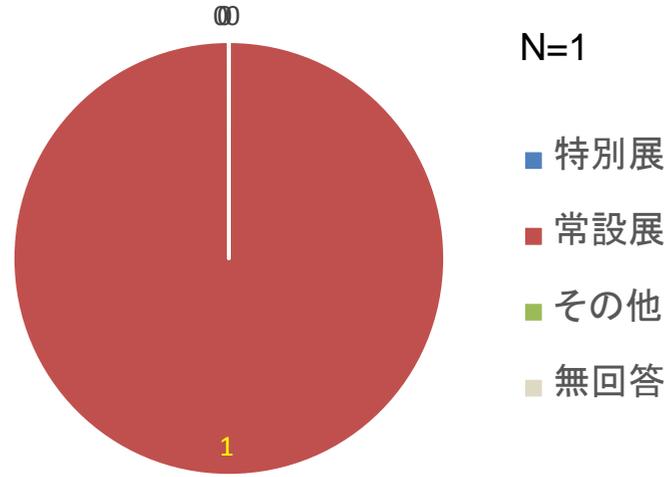
N=26



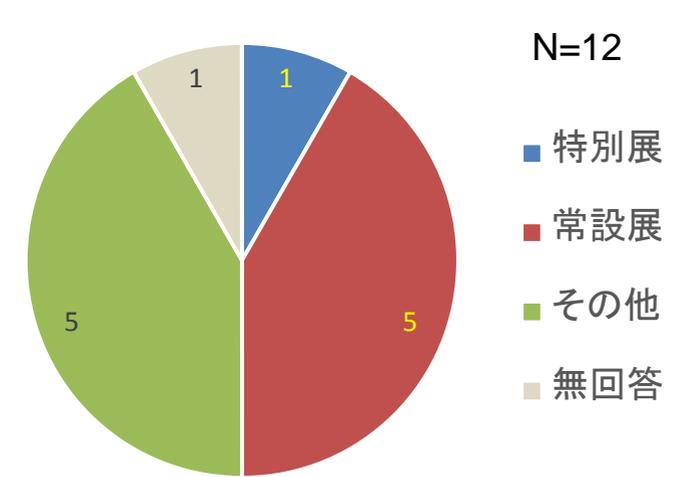
2010年度秋展:宮沢賢治



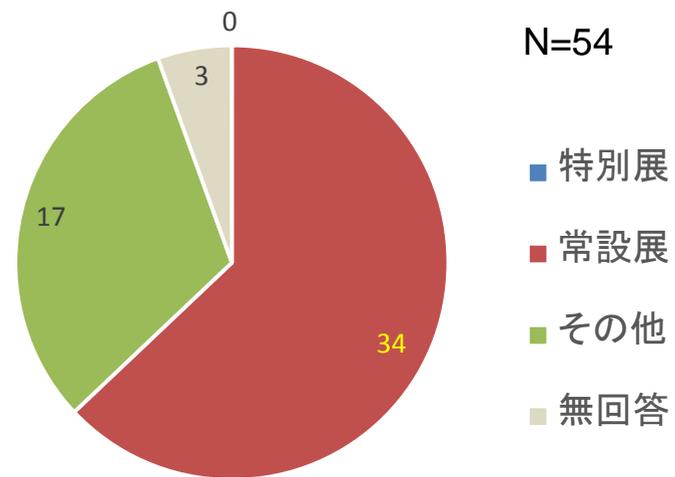
常設展:2011/2/1-2/6



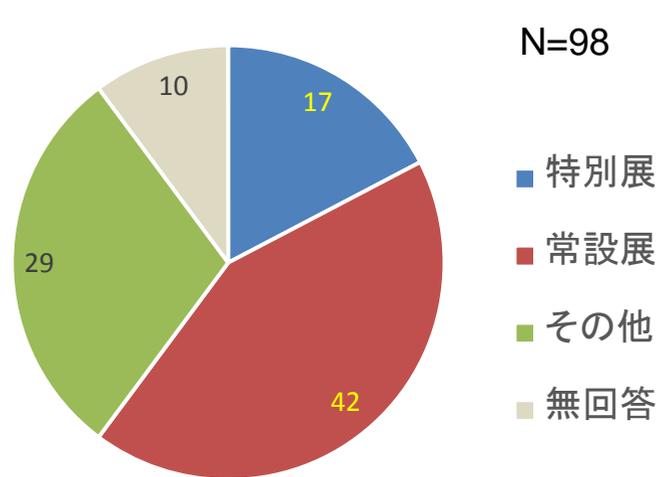
2010年度冬展:地質情報展富山



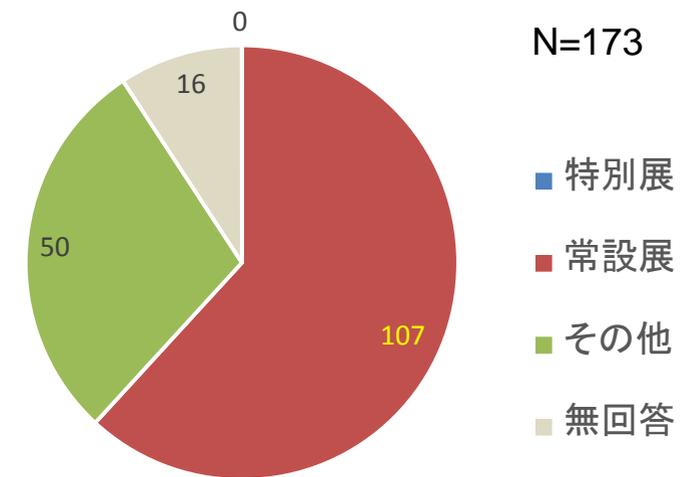
常設展:2011/4/1-7/17



2011年度夏展:世界石紀行

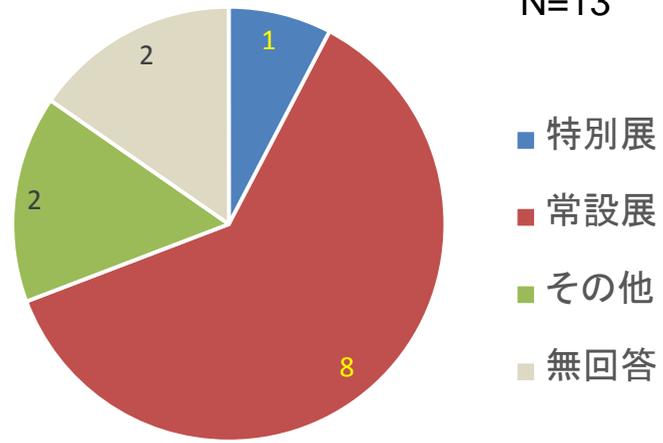


常設展:2011/11/1-12/25



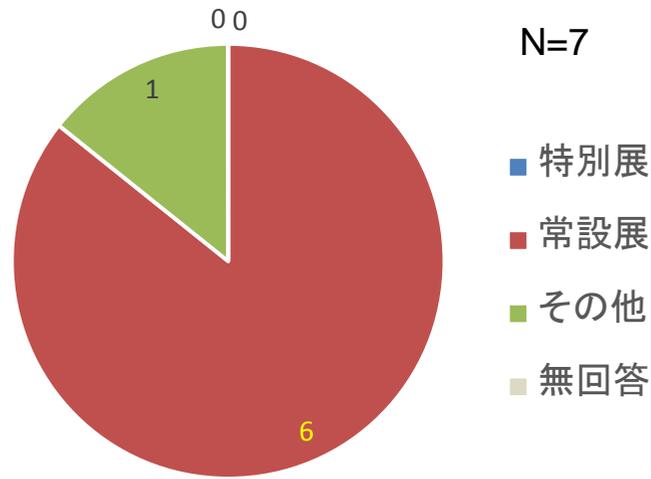
2011年度冬展:地質情報展みと

N=13



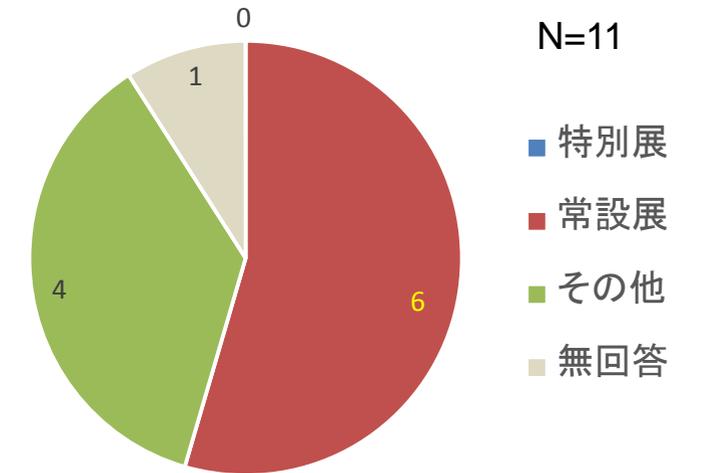
常設展:2012/3/21-3/31

N=7



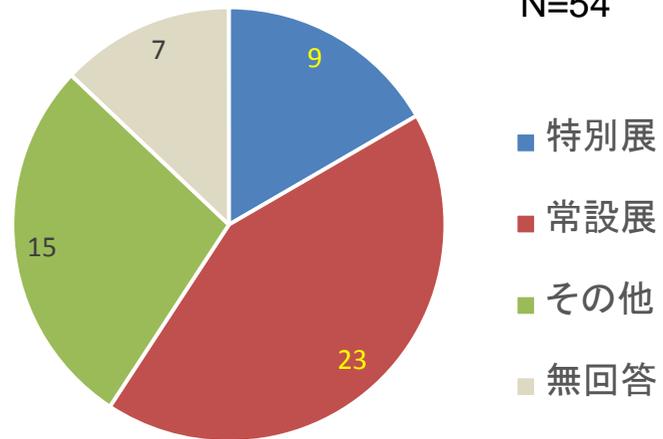
常設展:2012/4/1-4/16

N=11



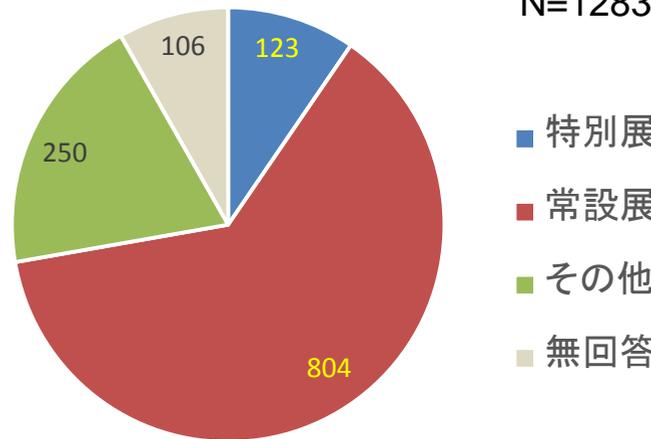
2012年度春度展:オマーン

N=54



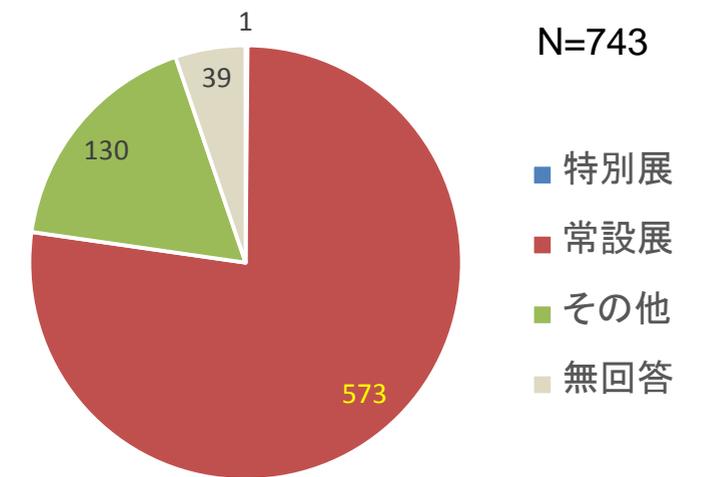
2012年度夏展:微化石

N=1283



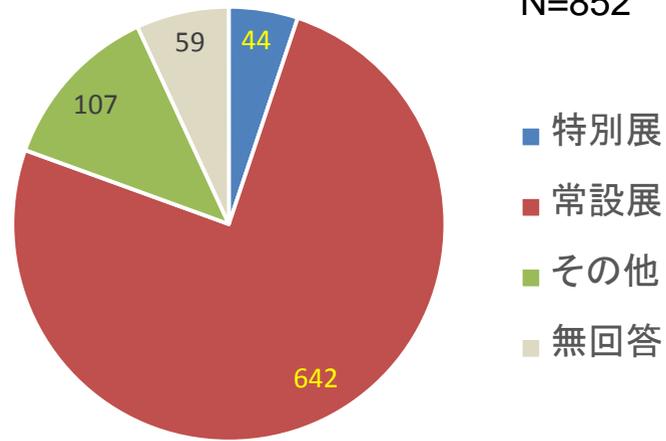
常設展:2012/10/1-12/27

N=743



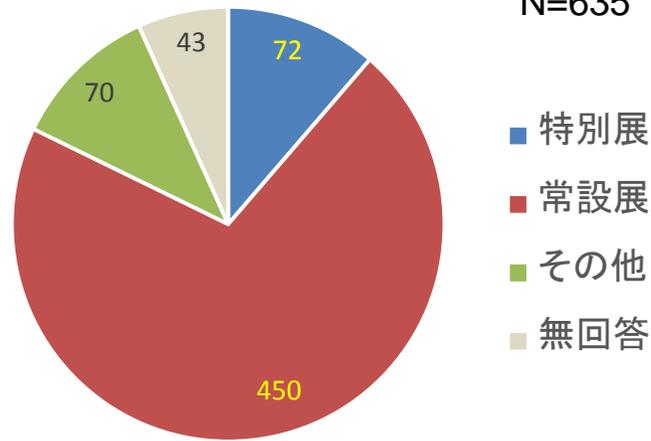
2012年度冬展：地質情報展大阪

N=852



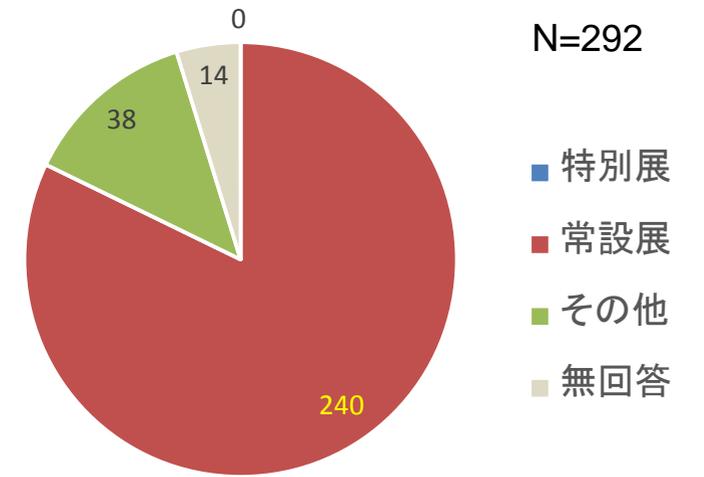
2013年度春展：霧島火山

N=635



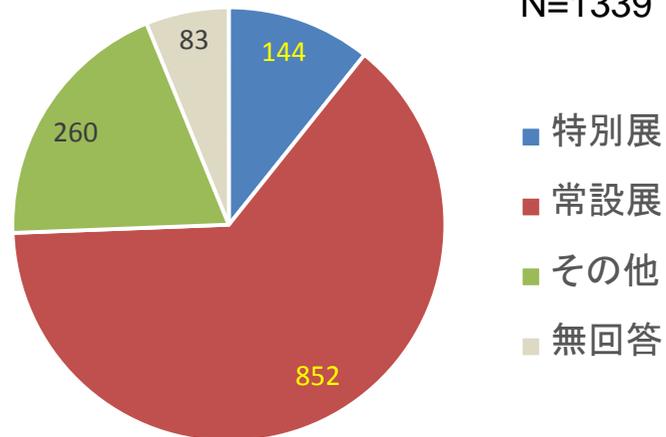
常設展：2013/6/4-7/15

N=292



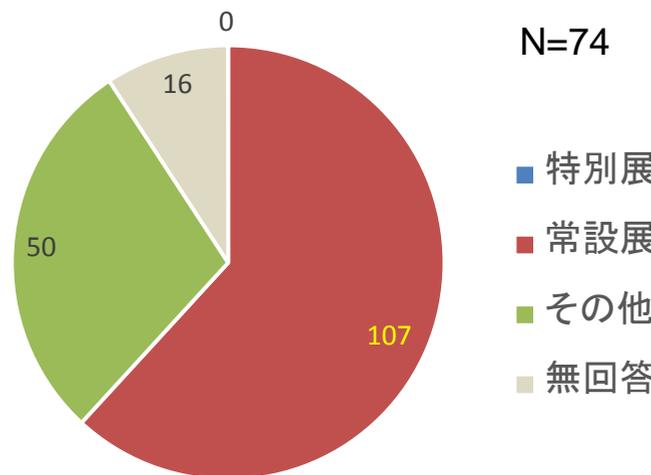
2013年度夏展：地熱・地中熱

N=1339



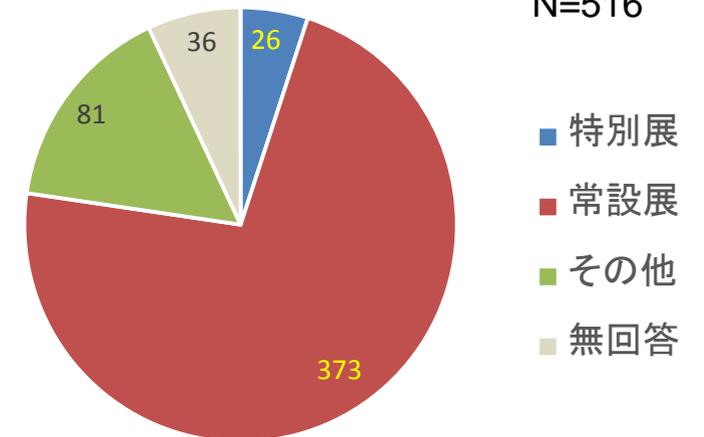
常設展：2013/10/29-11/10

N=74



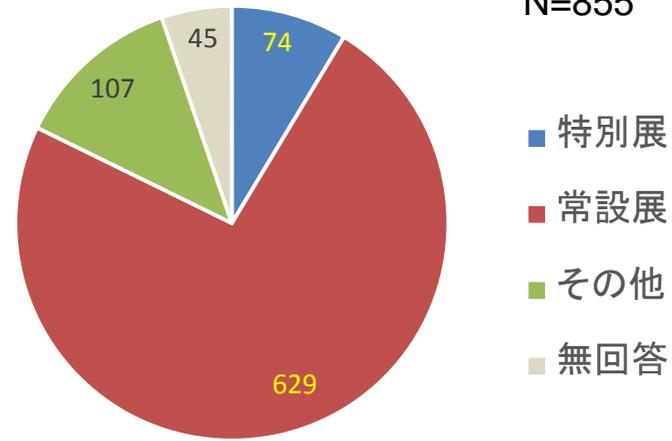
2013年度冬展：地質情報展宮城

N=516



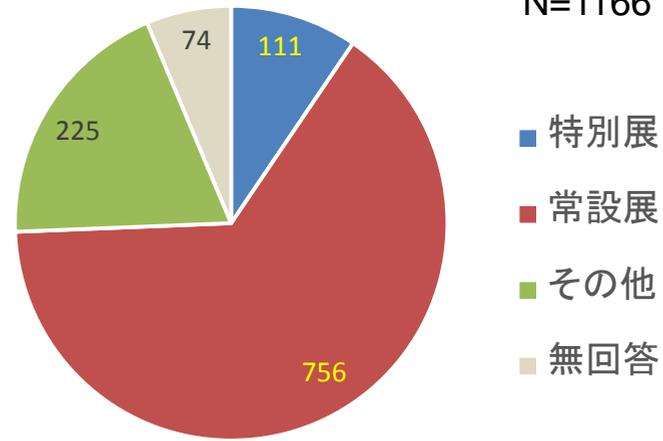
2014年度春展:複合地質リスク

N=855



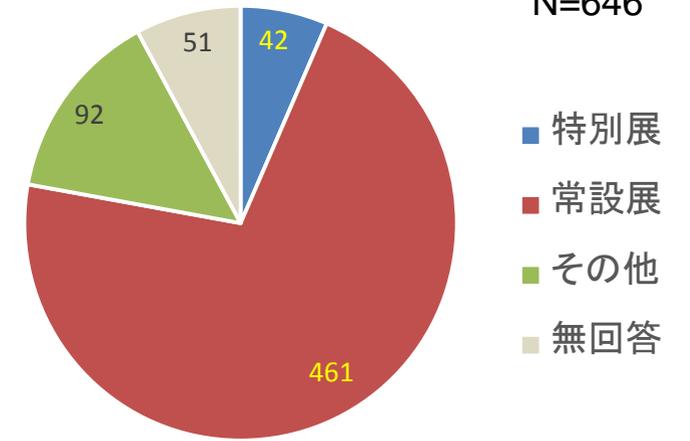
2014年度夏展:地質アナログ模型

N=1166



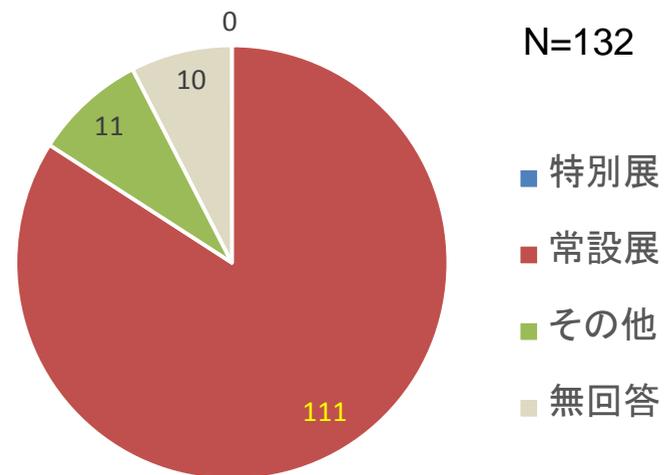
何を見に来たか:地質情報展鹿児島

N=646



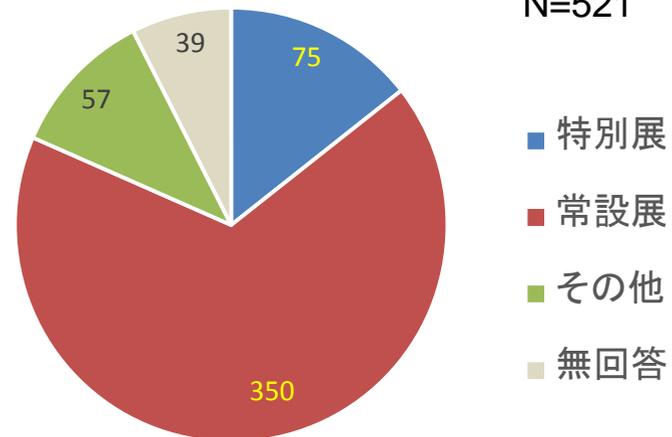
常設展:2015/3/24-4/12

N=132



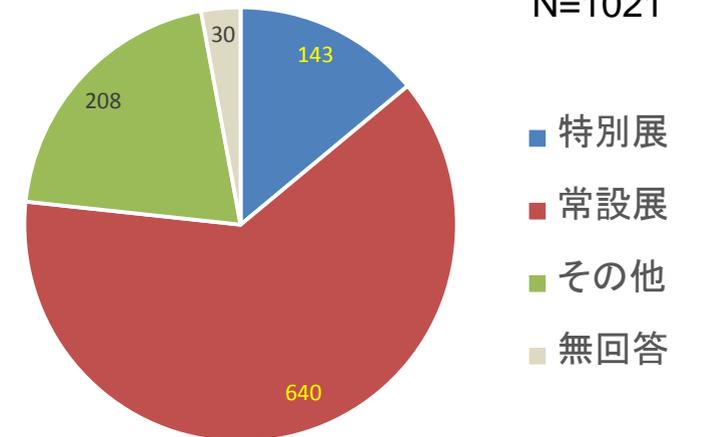
2015年度春展:伊豆大島

N=521



2015年度夏展:ジオパーク

N=1021

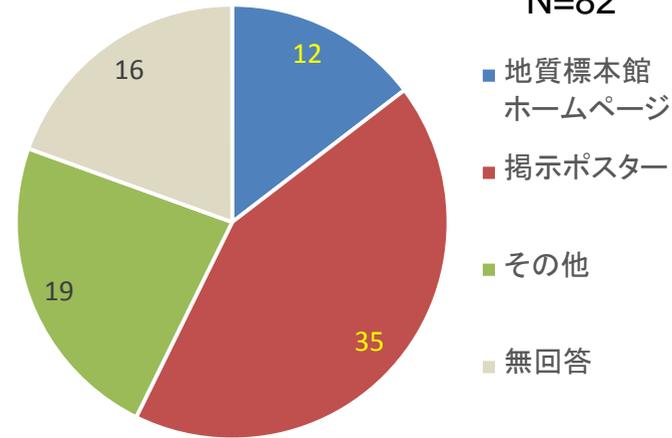


第5図 何を見て来たか(媒体)

アンケート数は重複回答を含む

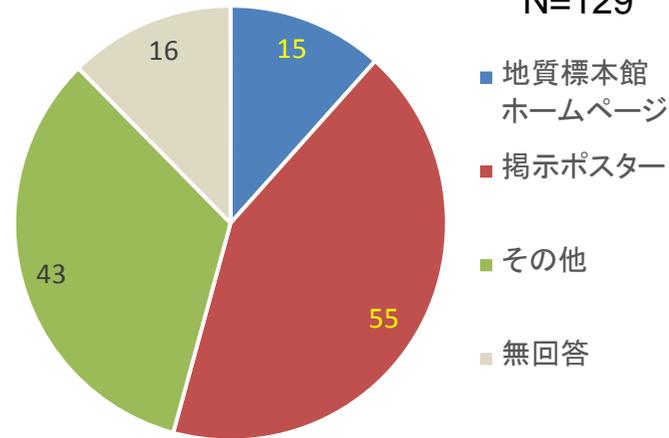
2007年度春展:つくばの自然発見

N=82



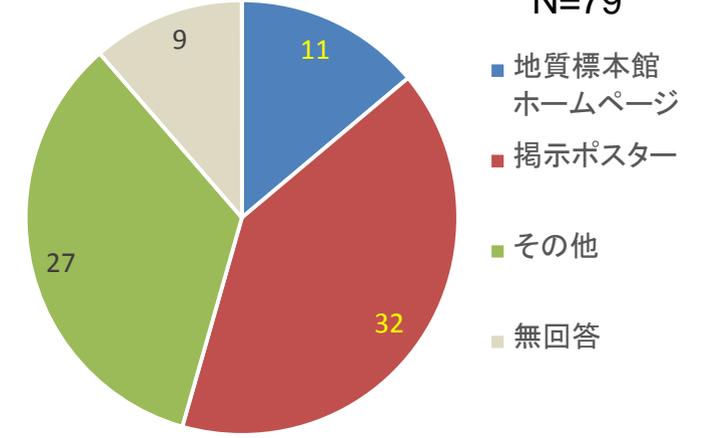
2007年度夏展:三宅島火山

N=129



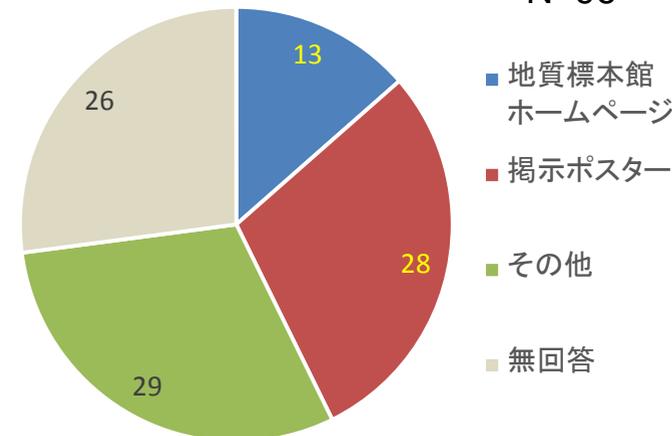
2007年度秋展:デスモスチルス

N=79



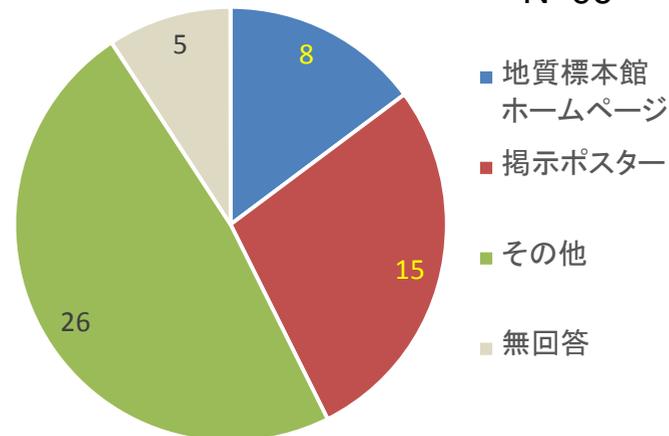
2007年度冬展:地質情報展北海道

N=96



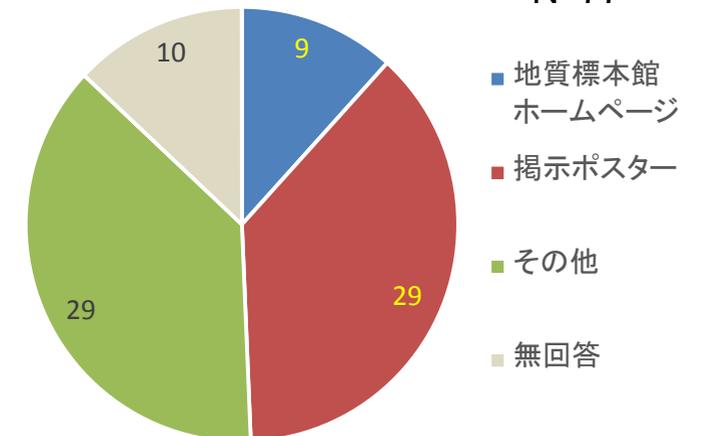
2008年度春展:青柳鉱物標本

N=96

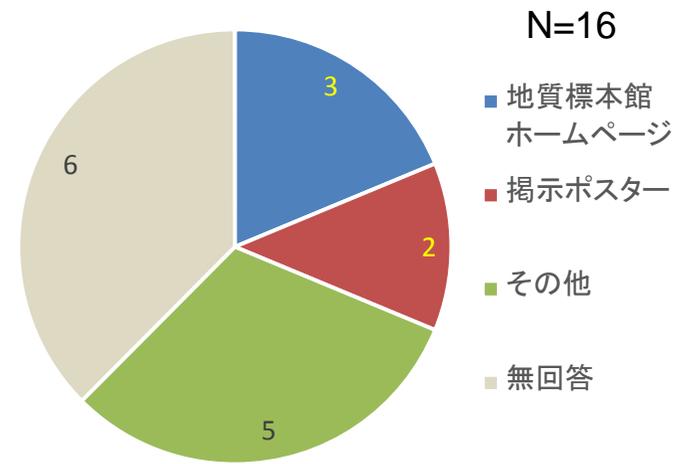


2008年度夏展:深海掘削

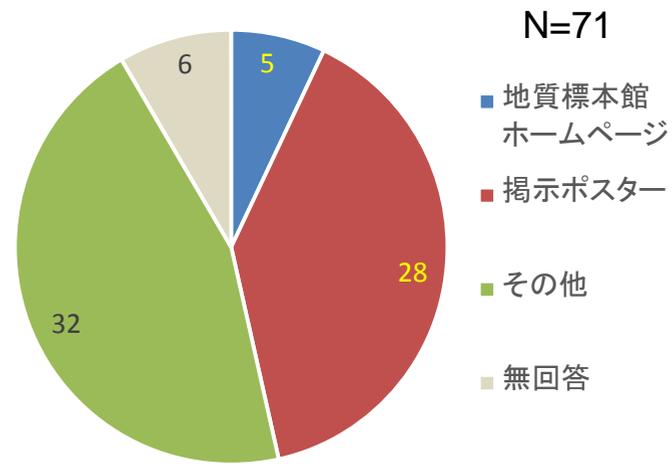
N=77



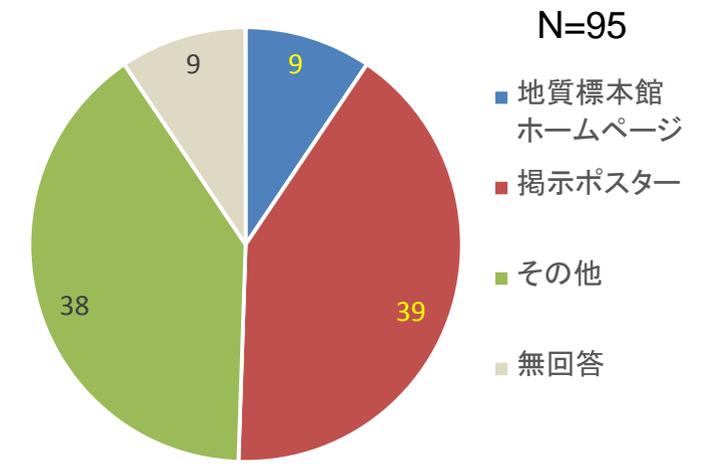
2008年度冬展:地質情報展秋田



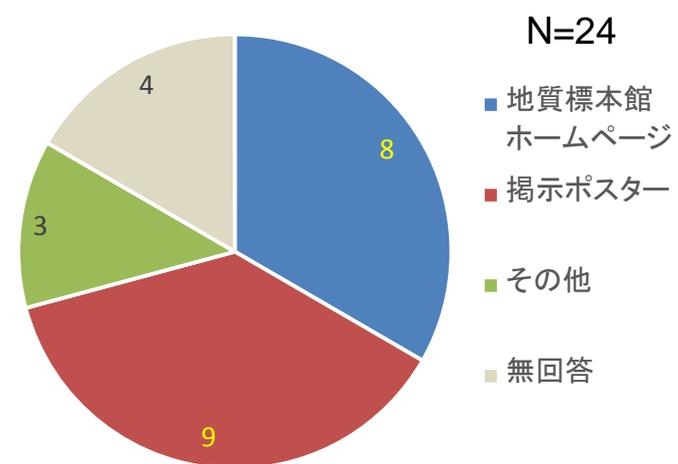
2009年度春展:五百澤智也



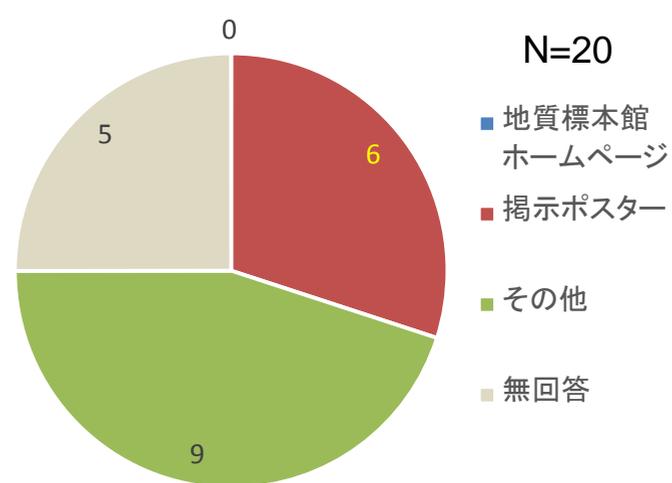
2009年度夏展:ジオパーク



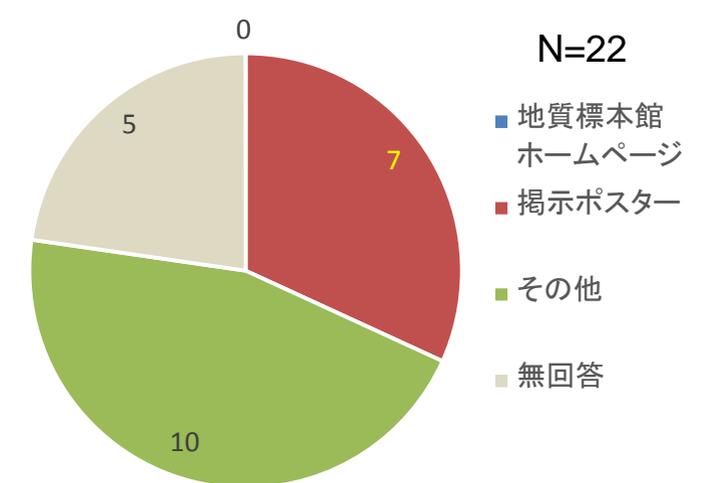
2009年度秋展:日本石紀行



2009年度冬展:地質情報展岡山

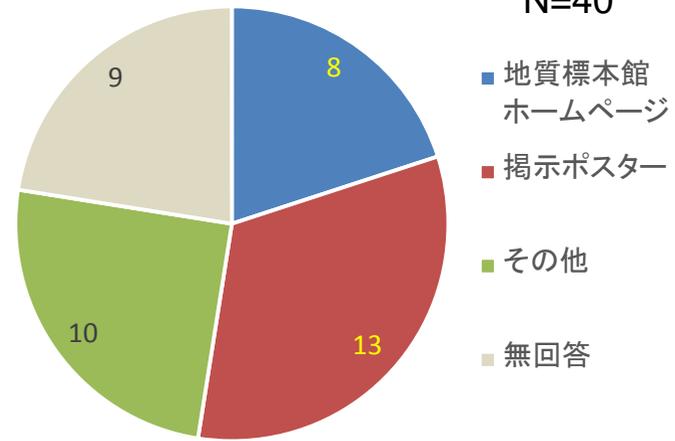


2010年春展度:揺れる日本列島



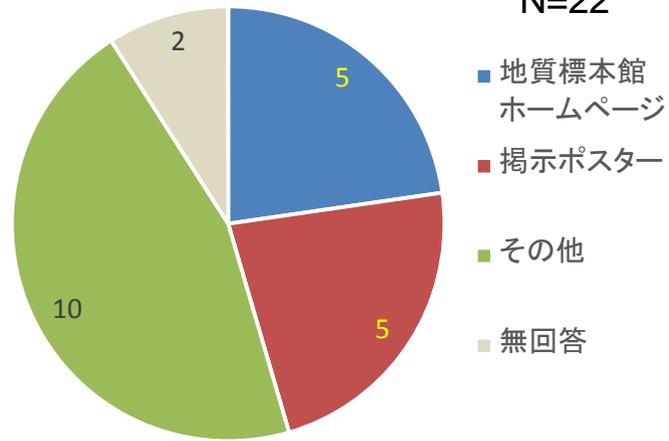
2010年度夏展:有珠火山

N=40



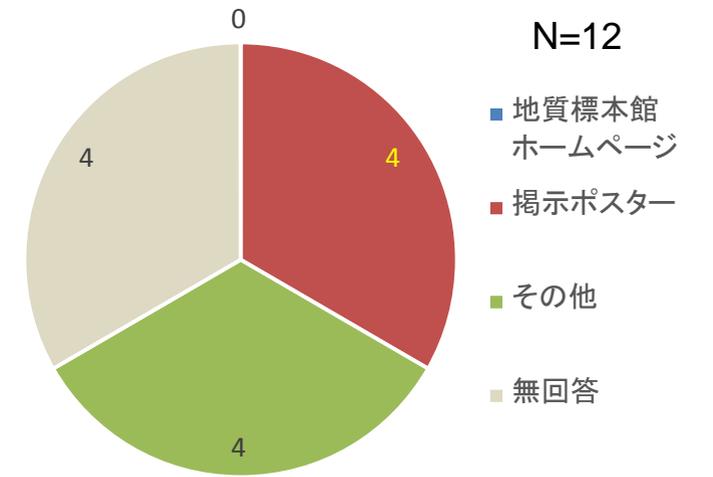
2010年度秋展:宮沢賢治

N=22



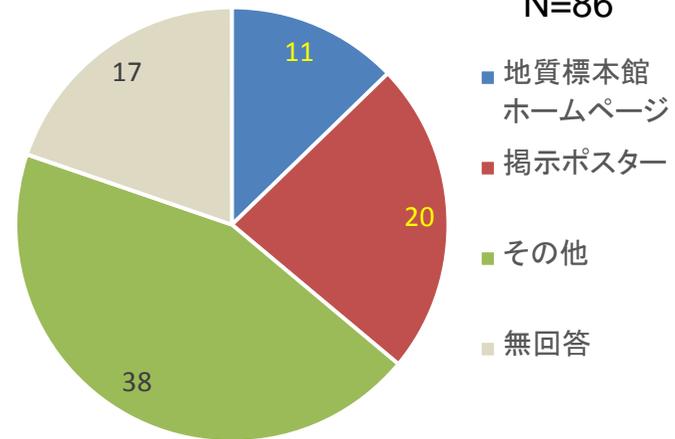
2010年度冬展:地質情報展富山

N=12



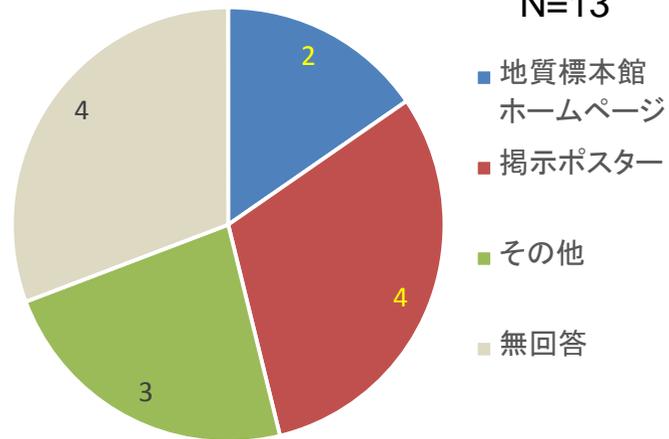
2011年度夏展:世界石紀行

N=86



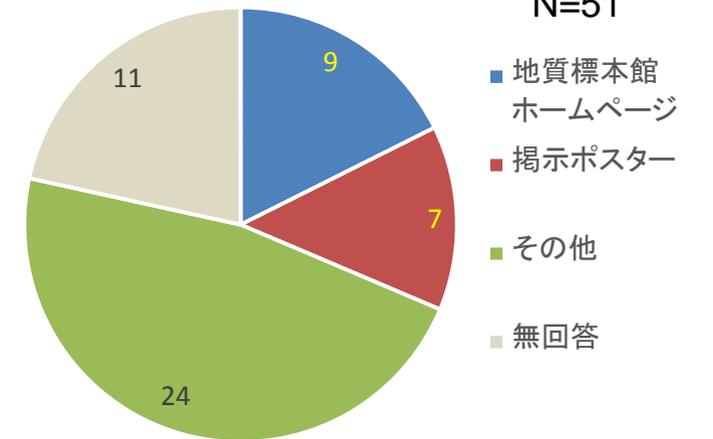
2011年度冬展:地質情報展みと

N=13

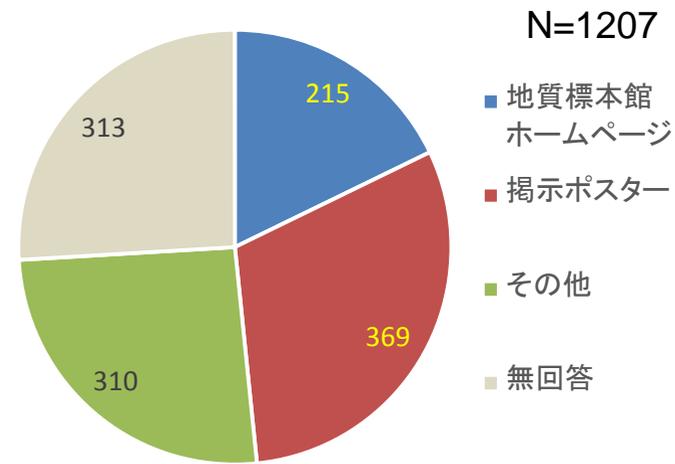


2012年度春度展:オマーン

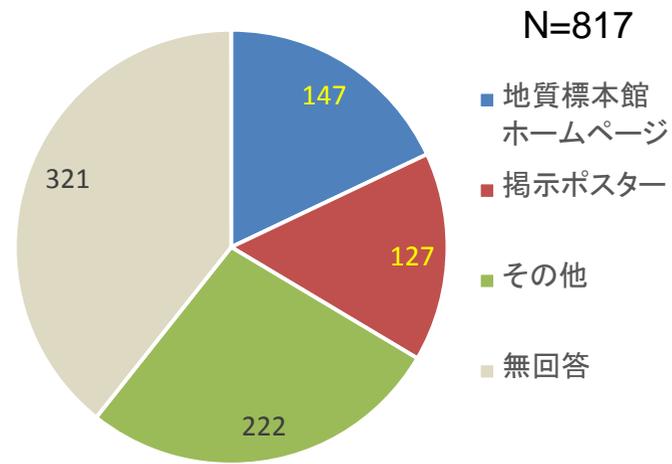
N=51



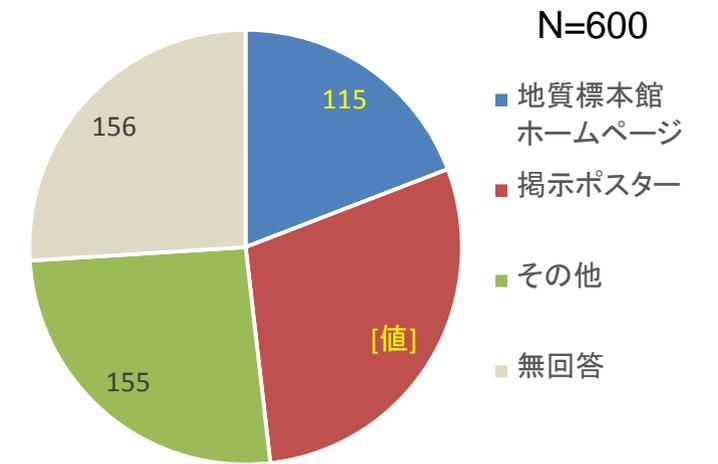
2012年度夏展:微化石



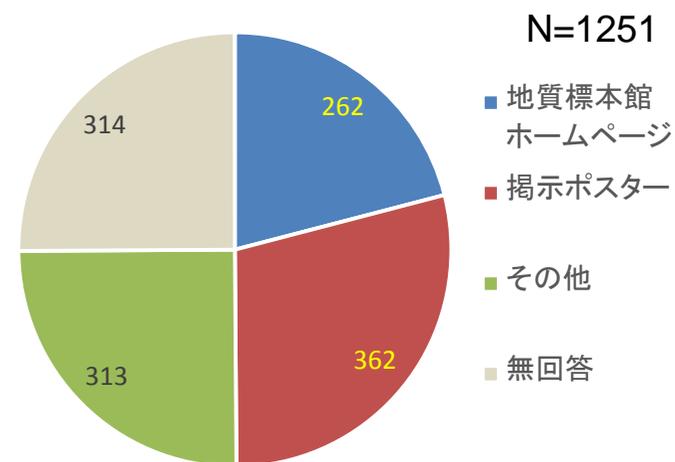
2012年度冬展:地質情報展大阪



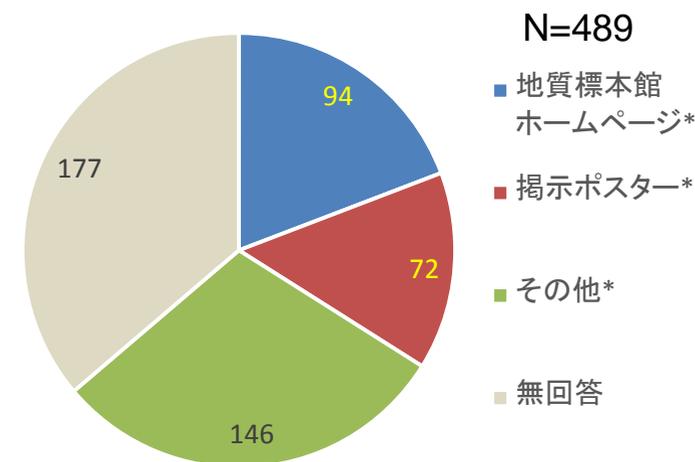
2013年度春展:霧島火山



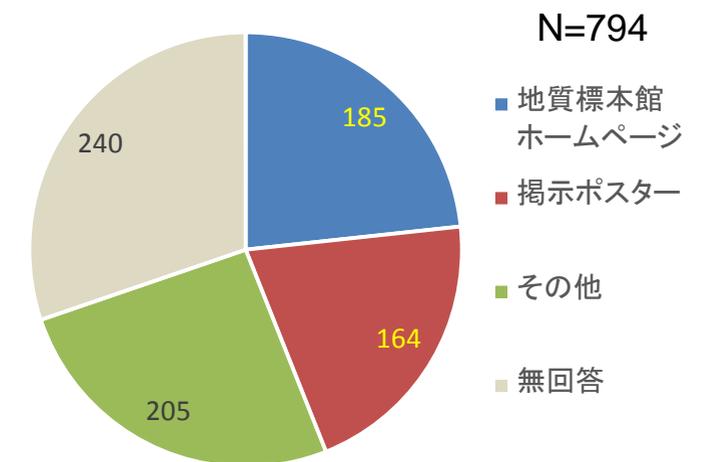
2013年度夏展:地熱・地中熱



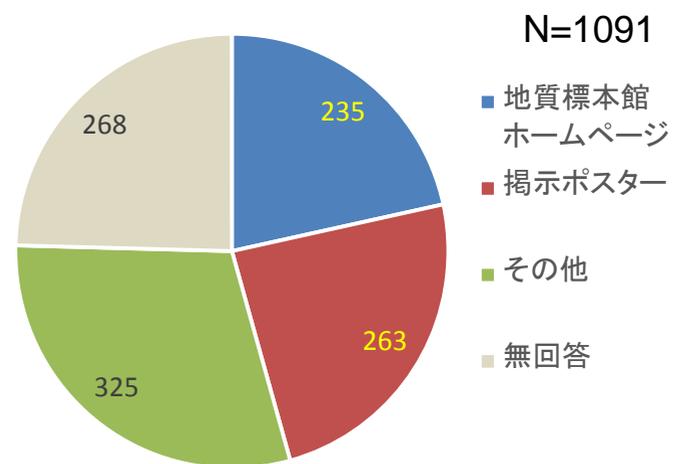
2013年度冬展:地質情報展宮城



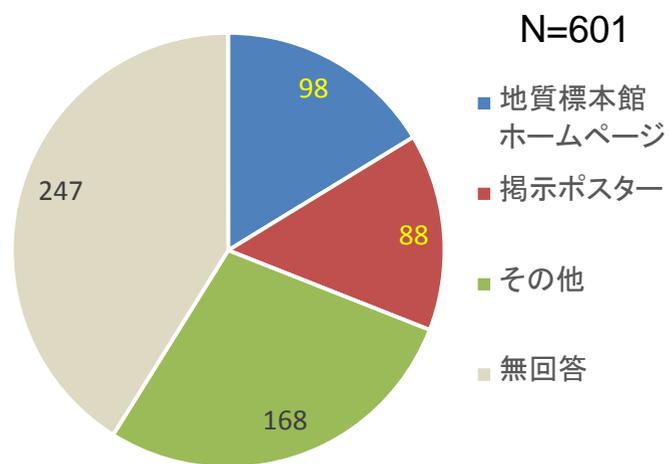
2014年度春展:複合地質リスク



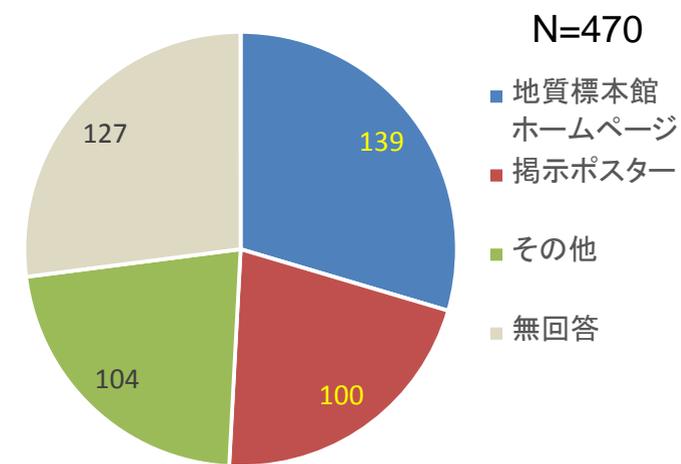
2014年度夏展:地質アナログ模型



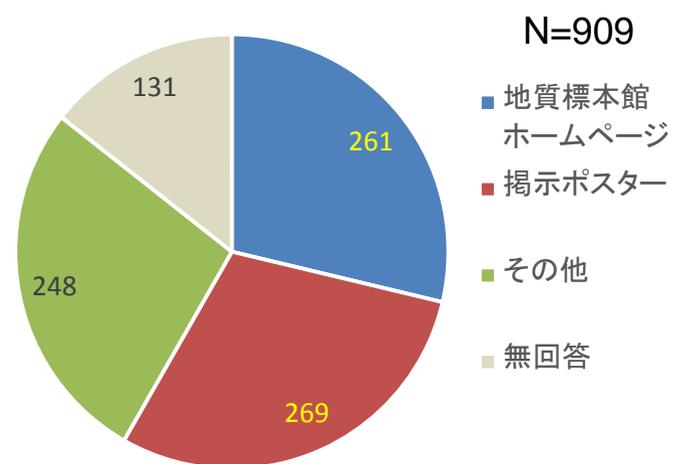
2014年度冬展:地質情報展鹿児島



2015年度春展:伊豆大島

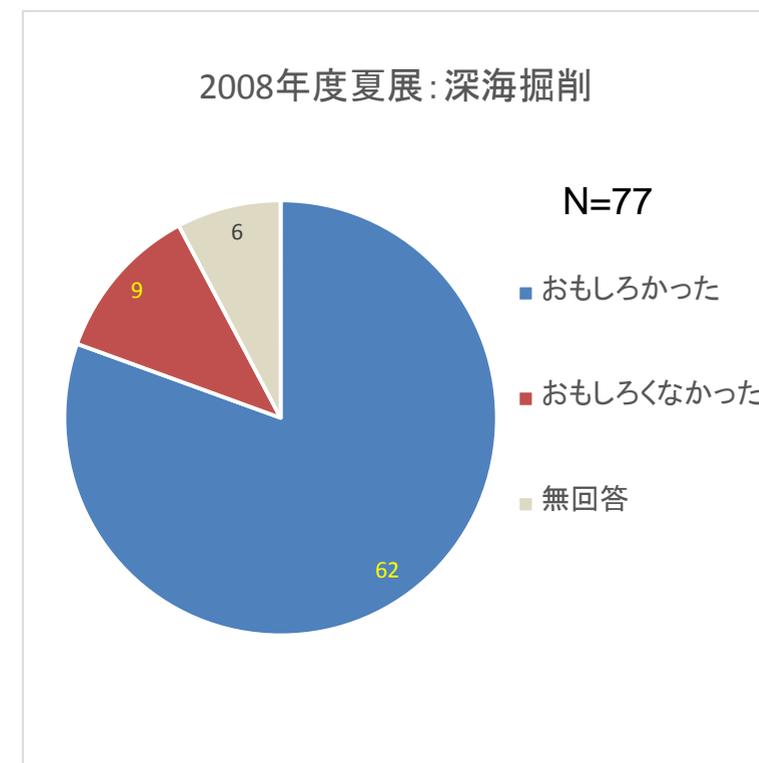
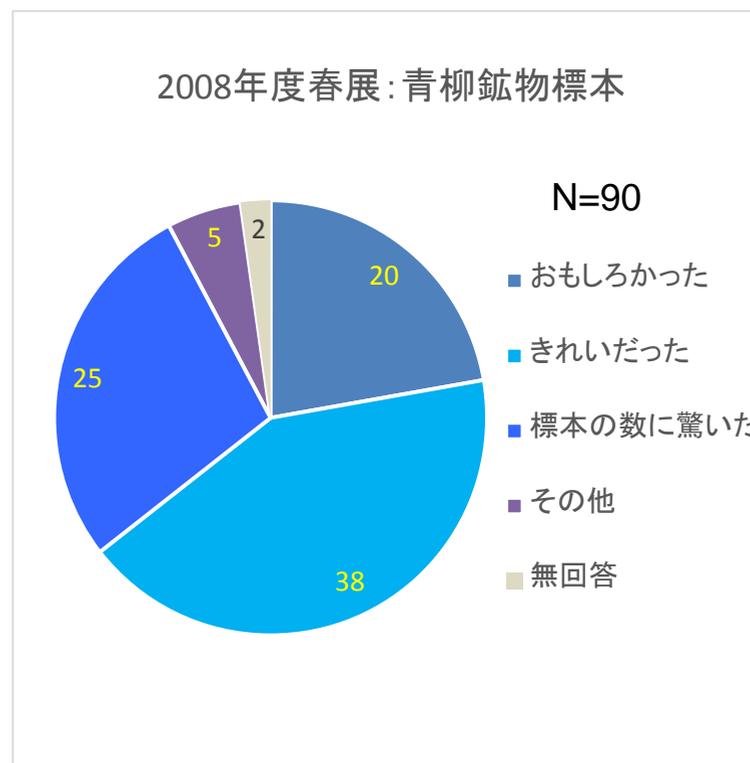
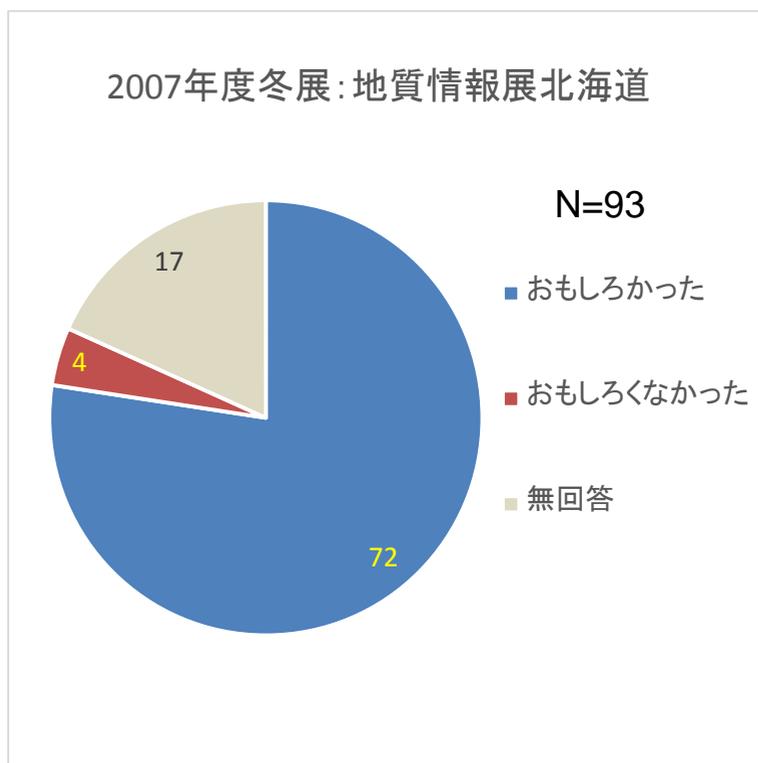
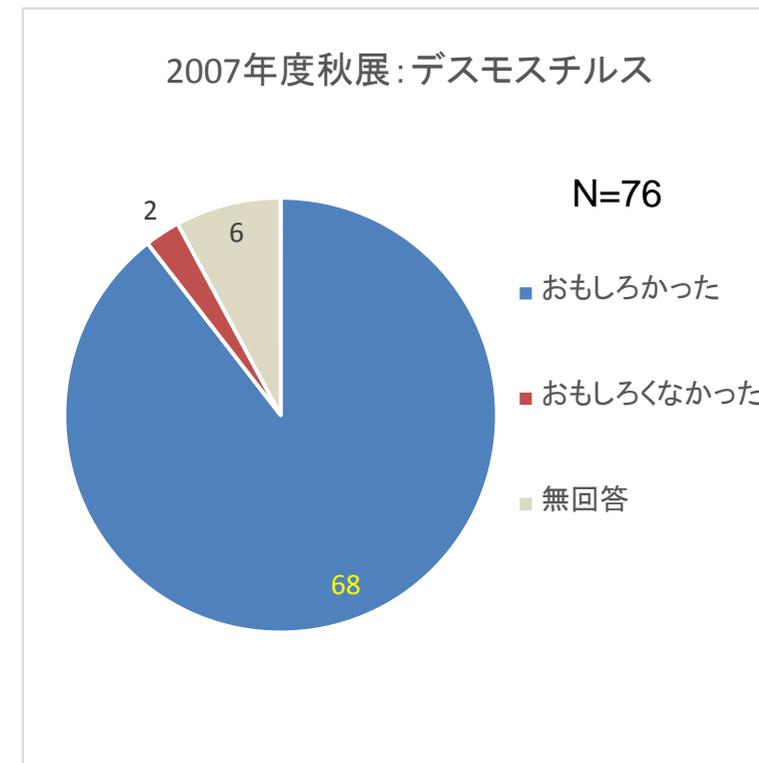
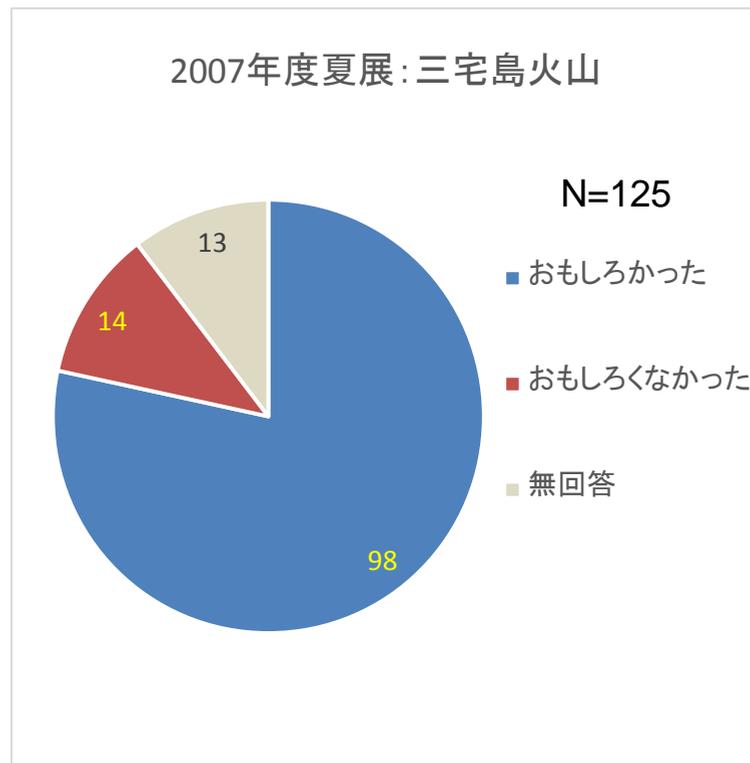
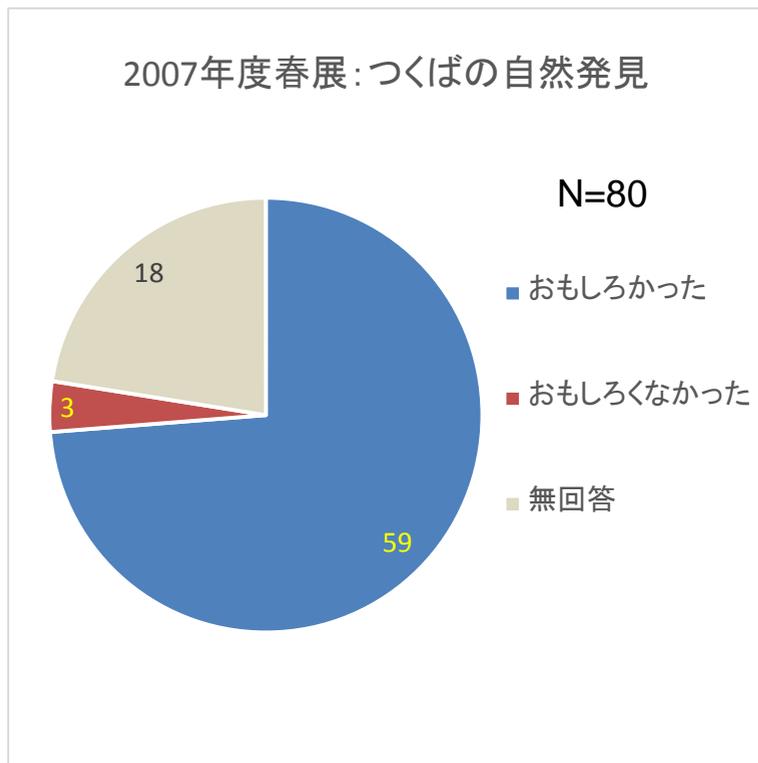


2015年度夏展:ジオパーク

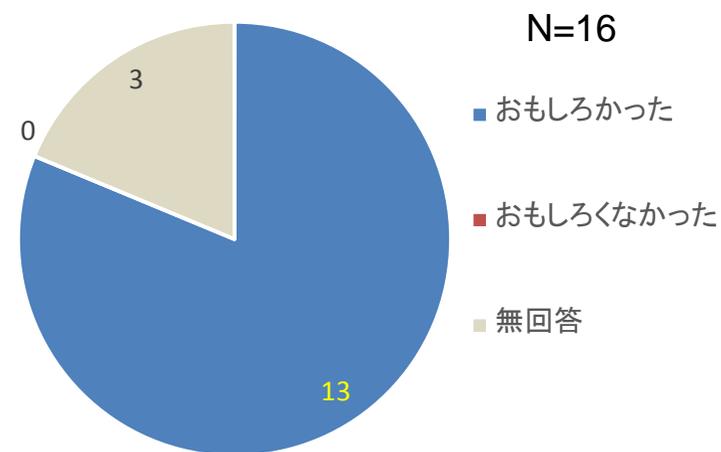


第6図 面白かったか(満足度)

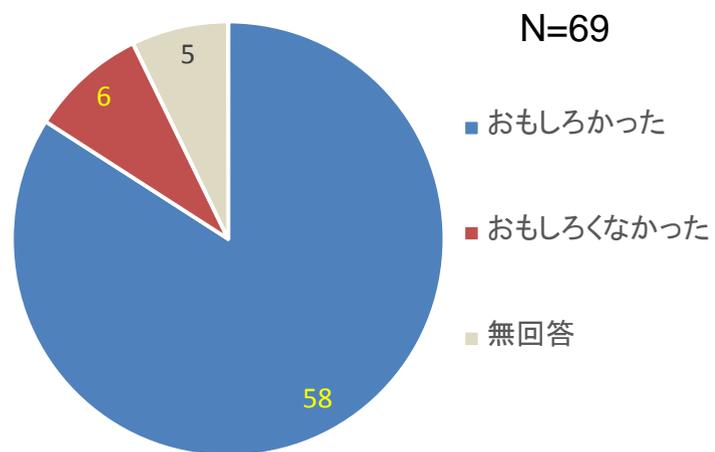
アンケート数は重複回答を含む。2008年度春展については、他のアンケートとは回答項目が異なっている。



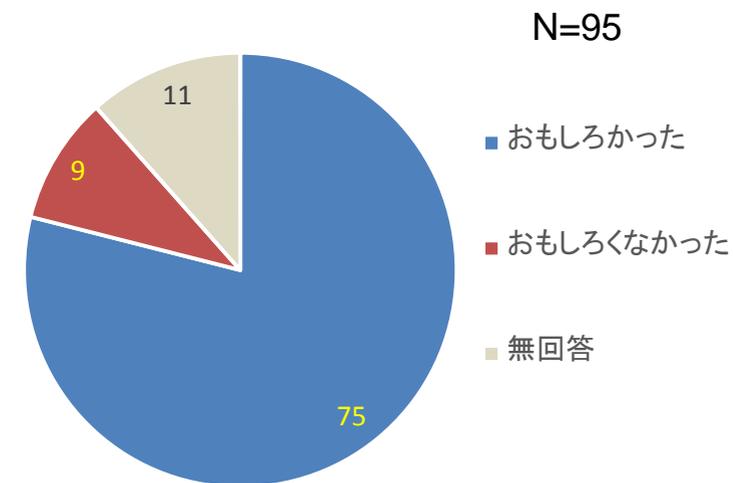
2008年度冬展:地質情報展秋田



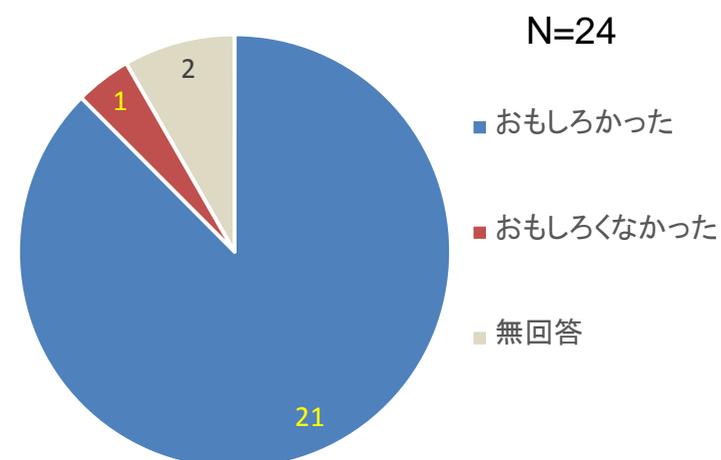
2009年度春展:五百澤智也



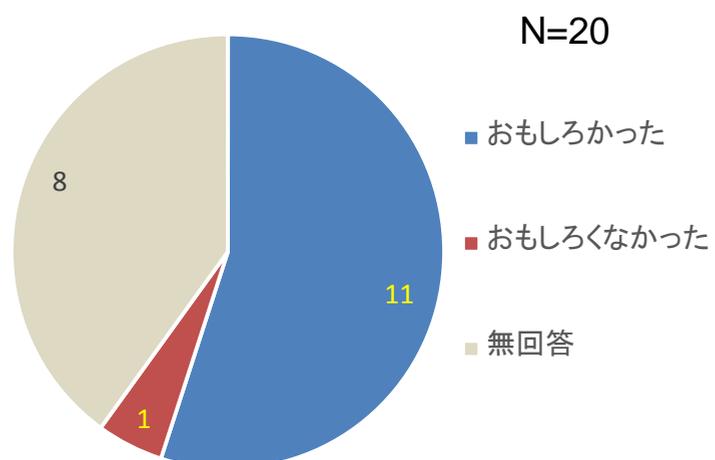
2009年度夏展:ジオパーク



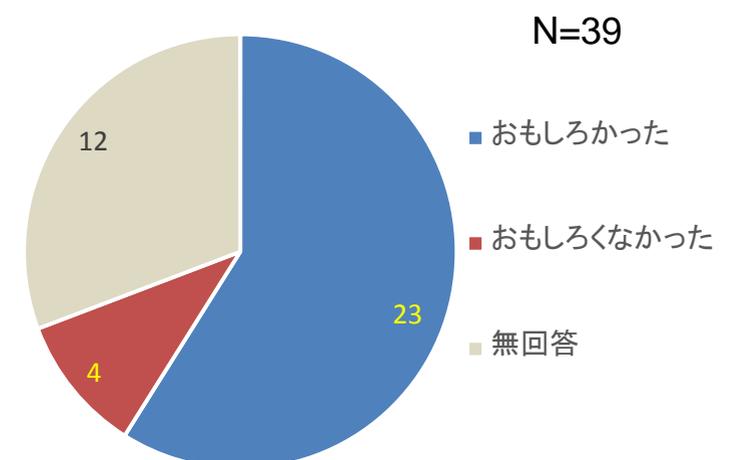
2009年度秋展:日本石紀行



2009年度冬展:地質情報展岡山

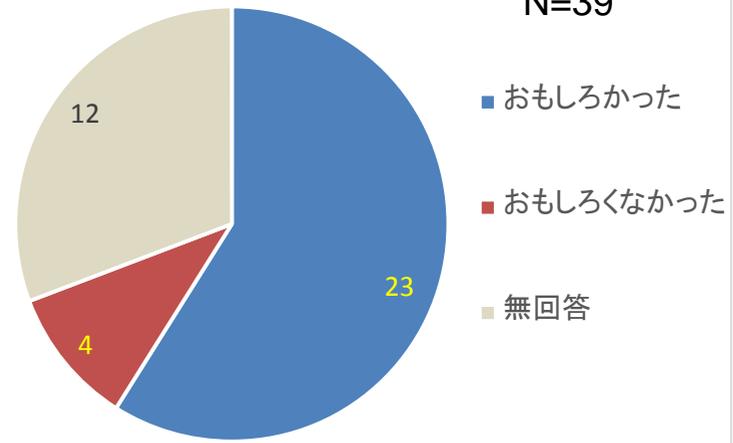


2010年春展度:揺れる日本列島



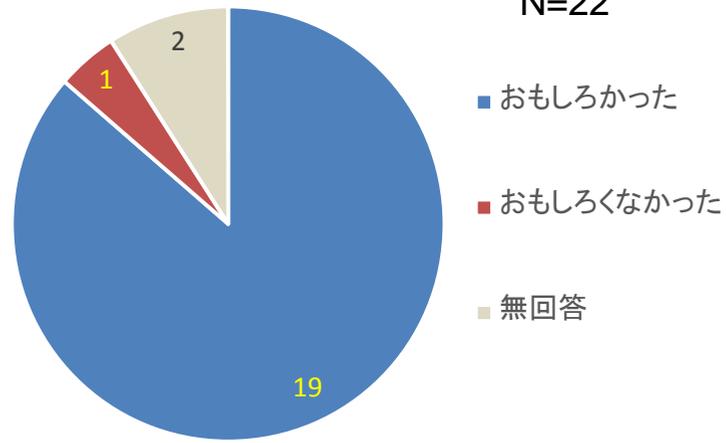
2010年度夏展:有珠火山

N=39



2010年度秋展:宮沢賢治

N=22



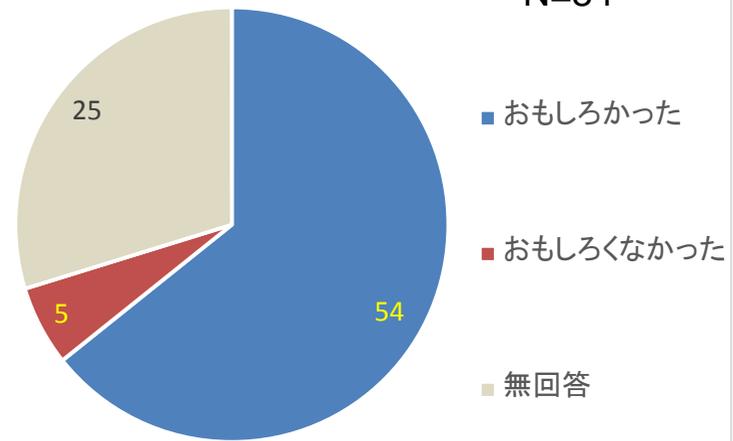
2010年度冬展:地質情報展富山

N=11



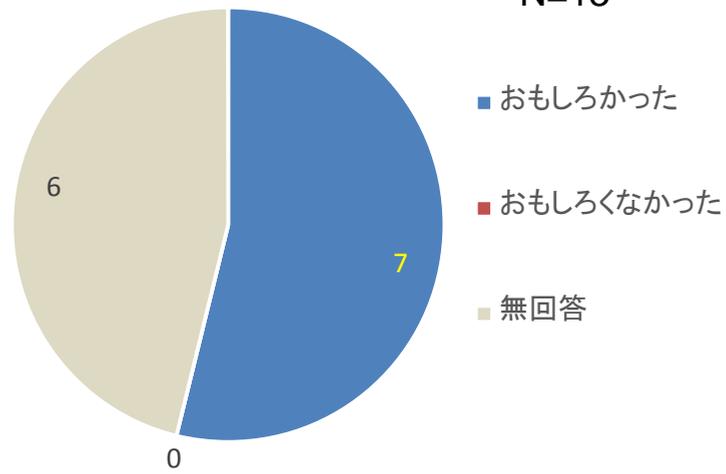
2011年度夏展:世界石紀行

N=84



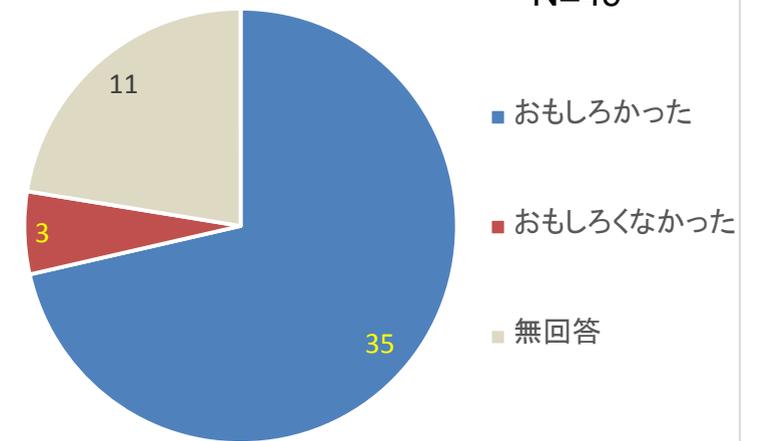
2011年度冬展:地質情報展みと

N=13

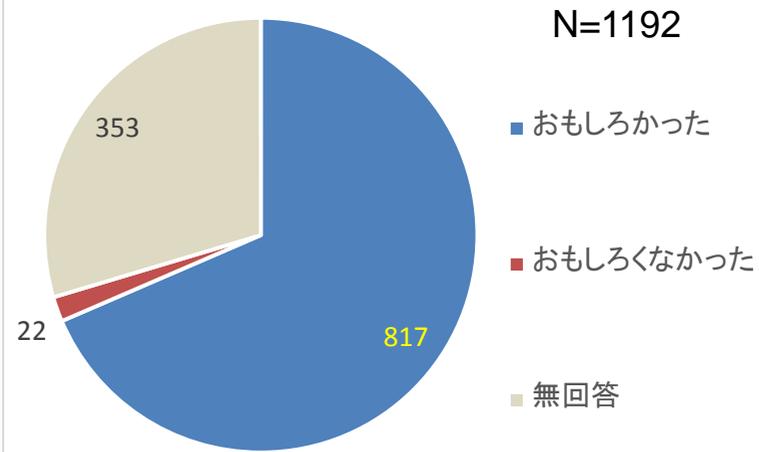


2012年度春度展:オマーン

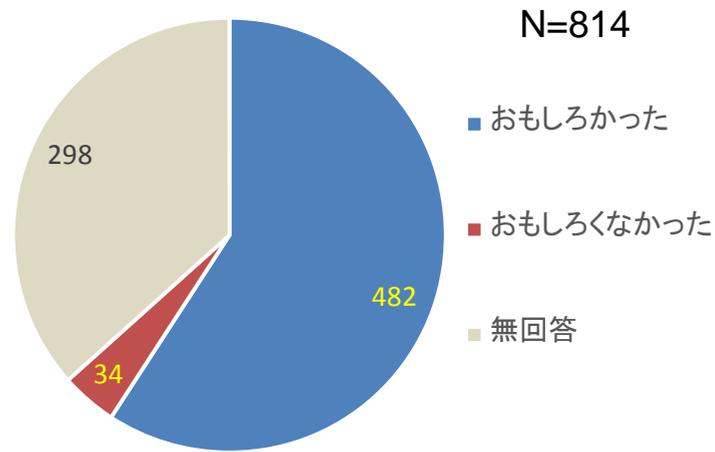
N=49



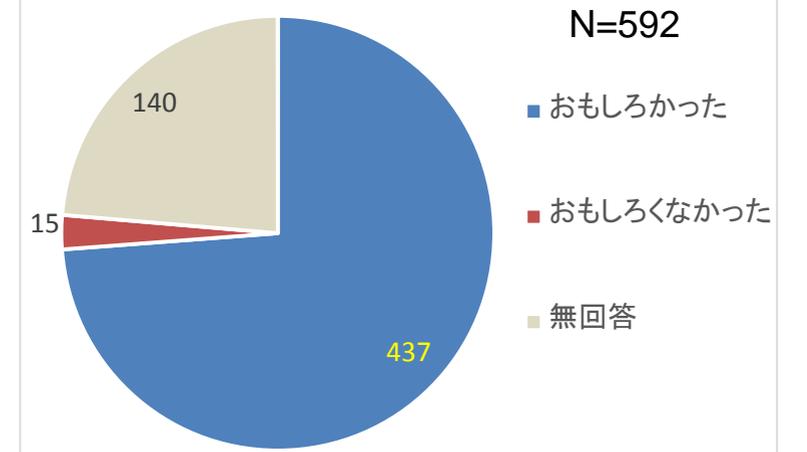
2012年度夏展：微化石



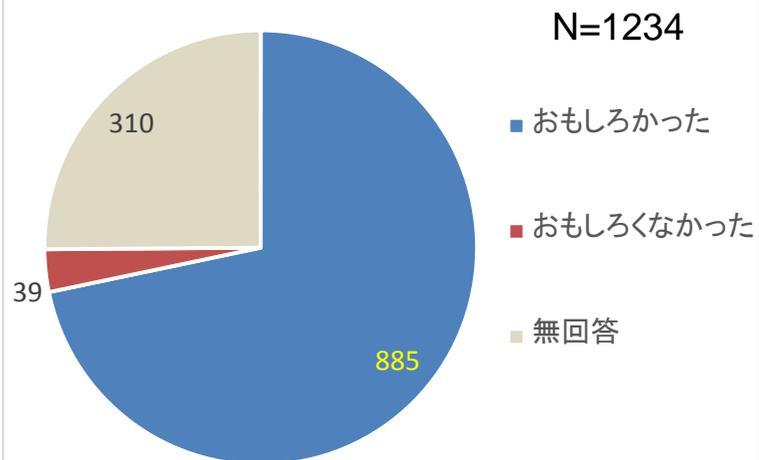
2012年度冬展：地質情報展大阪



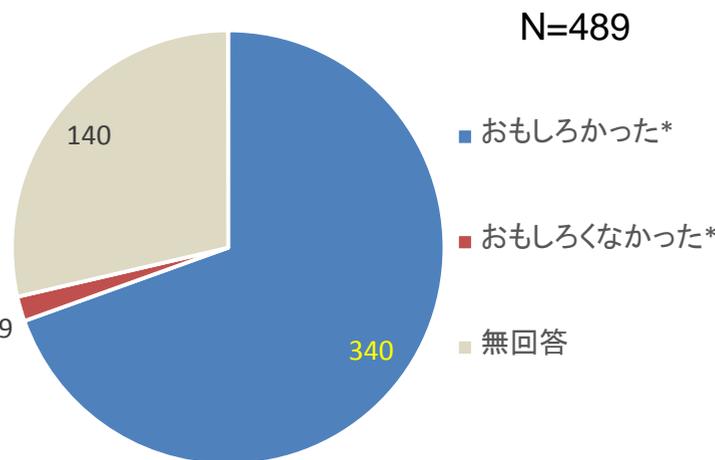
2013年度春展：霧島火山



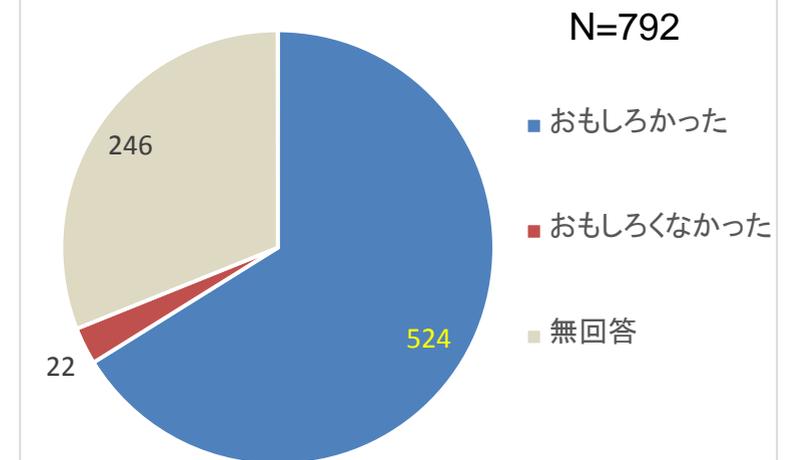
2013年度夏展：地熱・地中熱



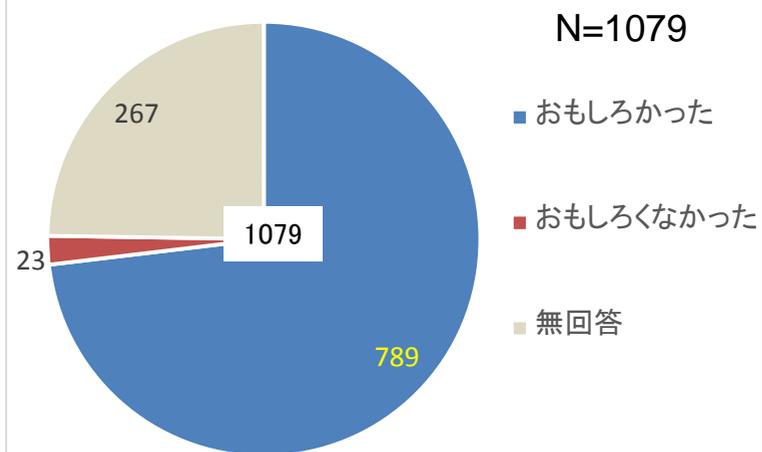
2013年度冬展：地質情報展宮城



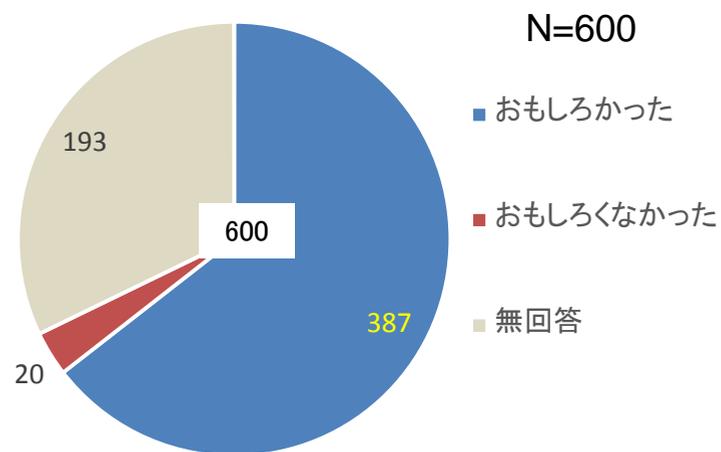
2014年度春展：複合地質リスク



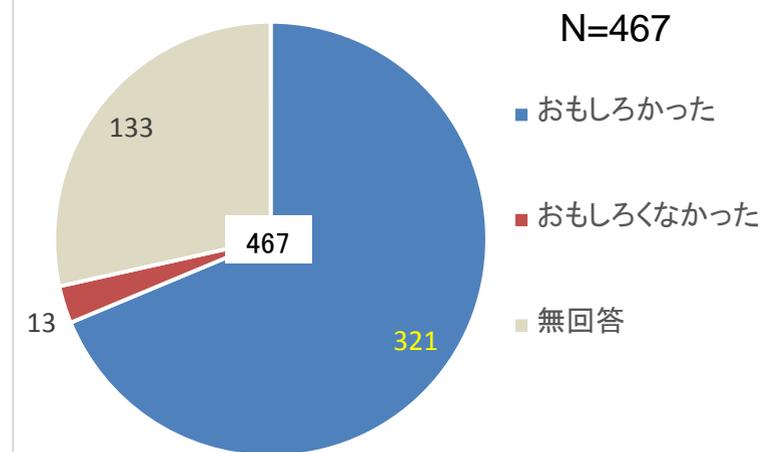
2014年度夏展:地質アナログ模型



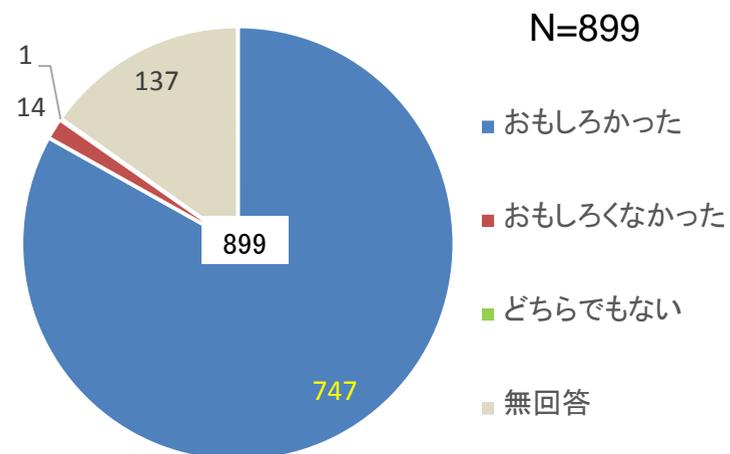
2014年度冬展:地質情報展鹿児島



2015年度春展:伊豆大島



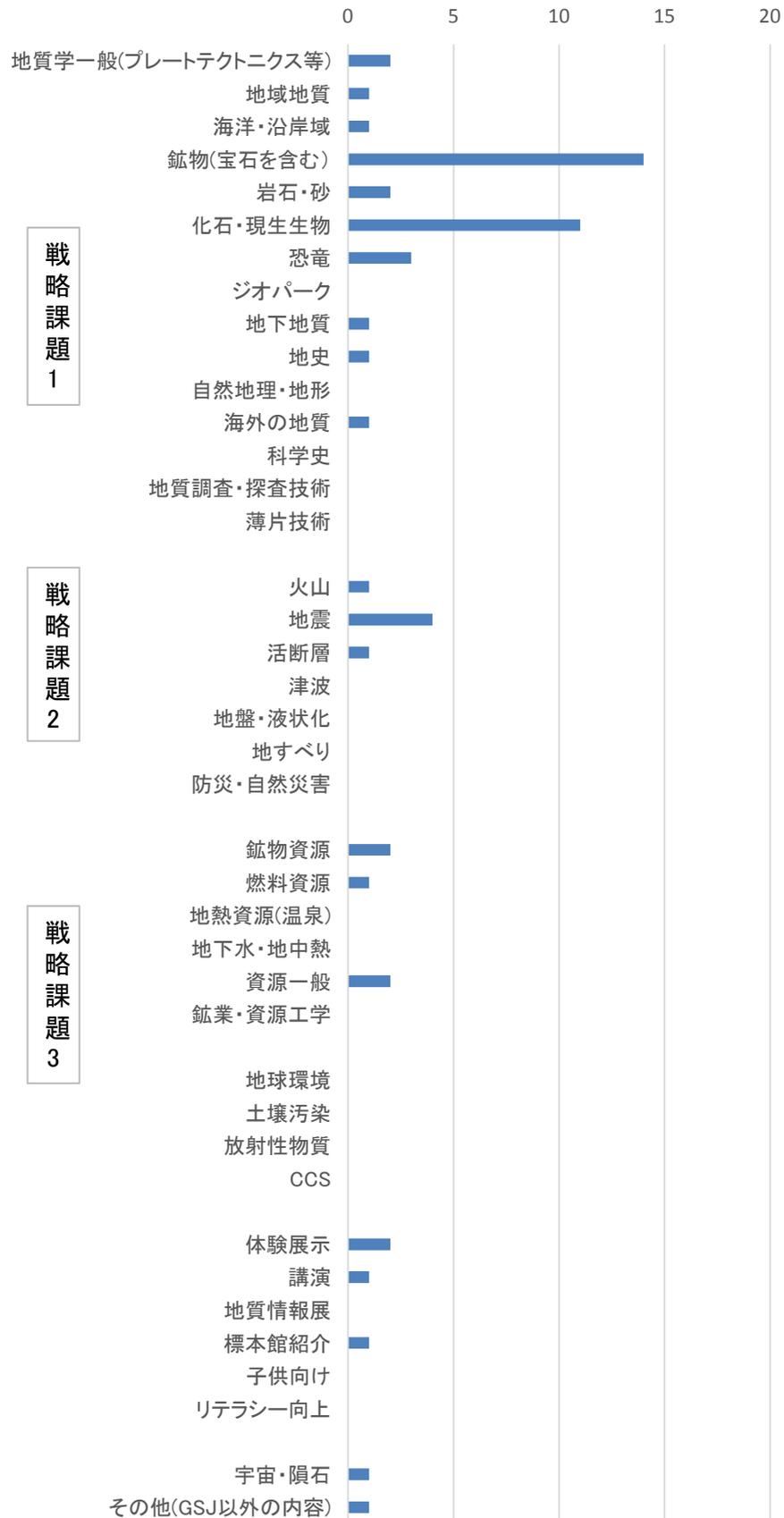
2015年度夏展:ジオパーク



第7図 今後の展示内容への要望

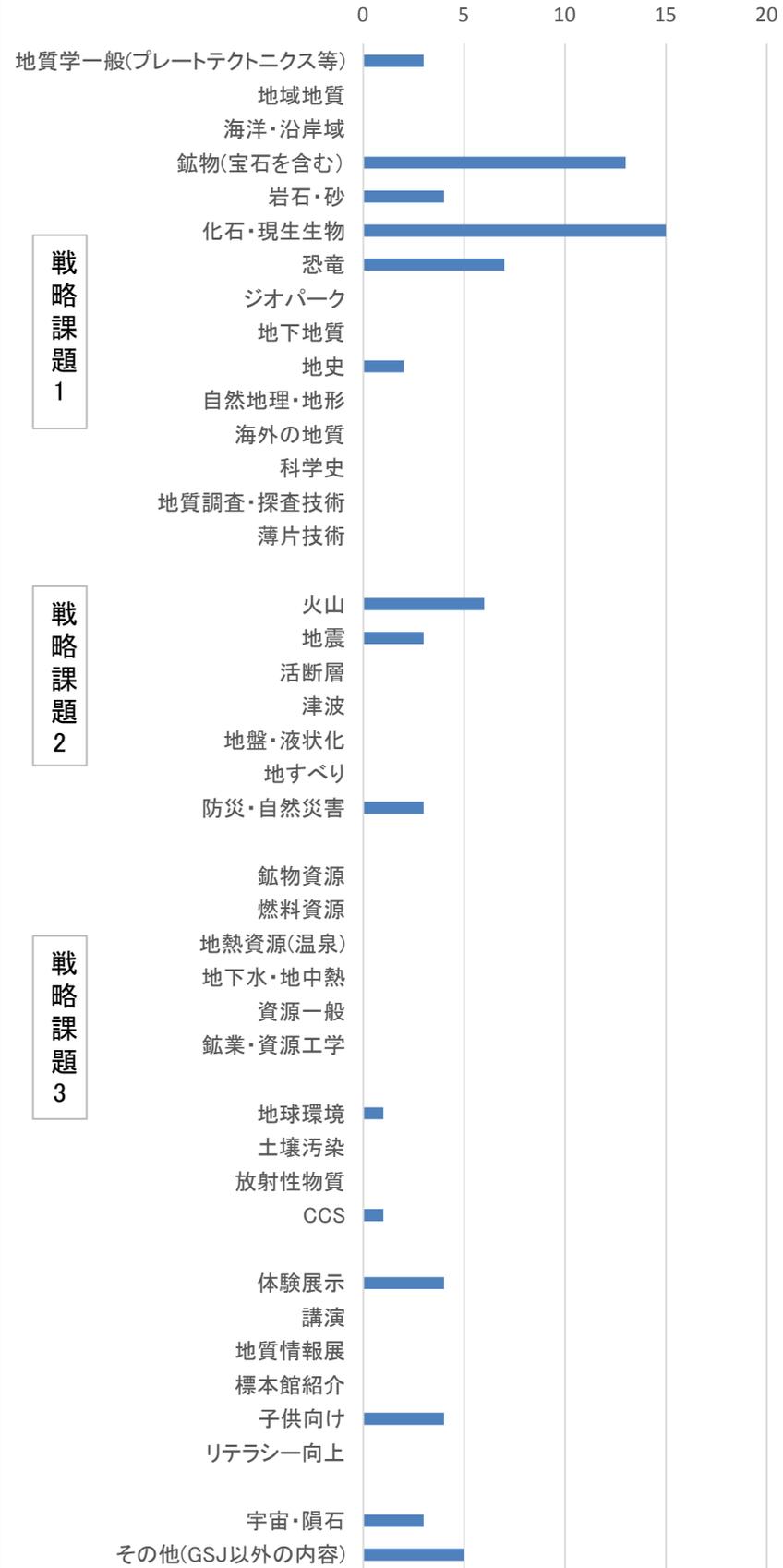
2007年度春展：つくばの自然発見

N=54



2007年度夏展：三宅島火山

N=74



2007年度秋展：デスモスチルス

N=38



2007年度冬展:地質情報展北海道

N=56

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題
1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題
2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題
3

地球環境
 土壤汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演

地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

2008年度春展:青柳鉱物標本

N=22

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題
1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題
2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題
3

地球環境
 土壤汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演

地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

常設展:2008/7/1~7/25

N=25

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題
1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題
2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題
3

地球環境
 土壤汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演

地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

2008年度夏展: 深海掘削

N=53

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題
1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題
2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題
3

地球環境
 土壤汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演

地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

常設展: 2008/9/30-12/14

N=65

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題
1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題
2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題
3

地球環境
 土壤汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演

地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

2008年度冬展: 地質情報展秋田

N=11

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題
1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題
2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題
3

地球環境
 土壤汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演

地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

2009年度春展:五百澤智也

N=33

0 5 10 15 20

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

常設展:2009/7/6-7/20

N=5

0 5 10 15 20

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

2009年度夏展:ジオパーク

N=43

0 5 10 15 20

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

常設展: 2009/9/28-11/16

N=24

0 5 10 15 20

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

2009年度秋展: 日本石紀行

N=6

0 5 10 15 20

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

2009年度冬展: 地質情報展岡山

N=7

0 5 10 15 20

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

2010年春展度:揺れる日本列島

N=4

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題 1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題 2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題 3

地球環境
 土壌汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演
 地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

2010年度夏展:有珠火山

N=16

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題 1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題 2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題 3

地球環境
 土壌汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演
 地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

常設展:2010/9/27-11/15

N=17

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題 1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題 2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題 3

地球環境
 土壌汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演
 地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

2010年度秋展:宮沢賢治

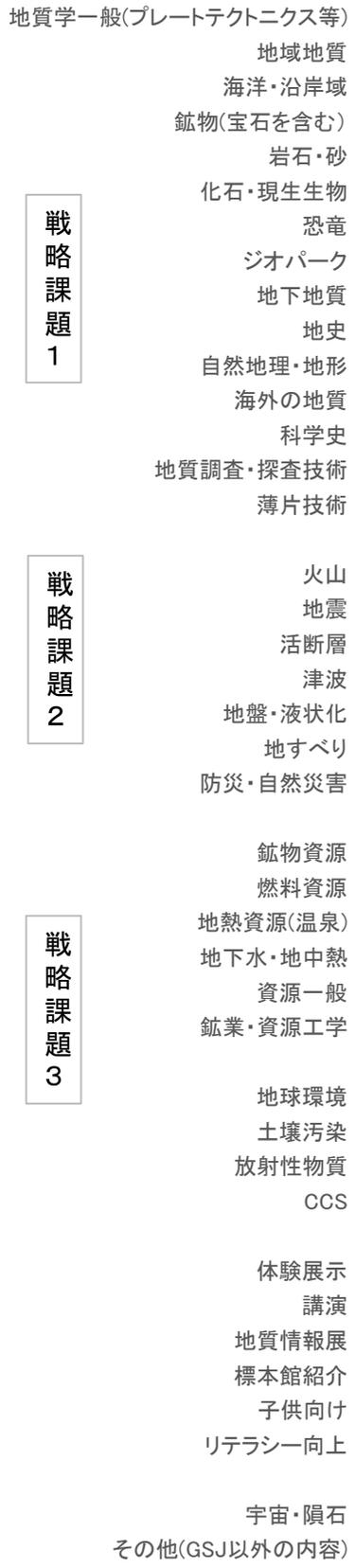
N=16

0 5 10 15 20

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3



常設展:2011/2/1-2/6

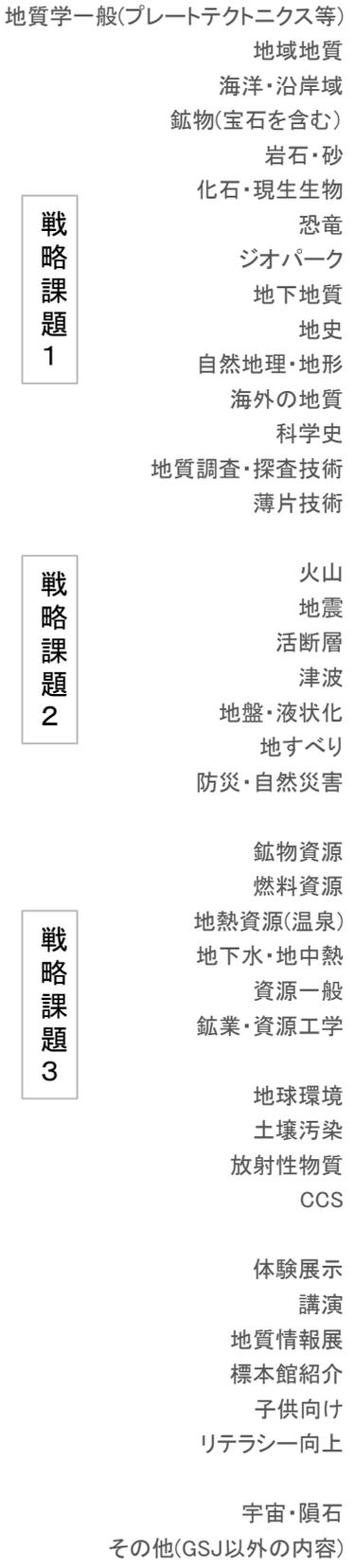
N=0

0 5 10 15 20

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3



2010年度冬展:地質情報展富山

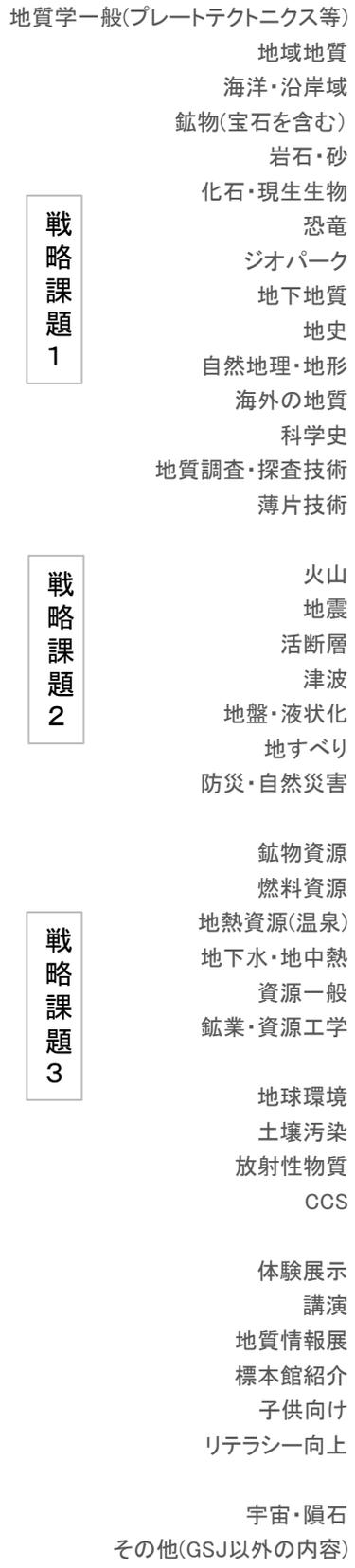
N=8

0 5 10 15 20

戦略課題 1

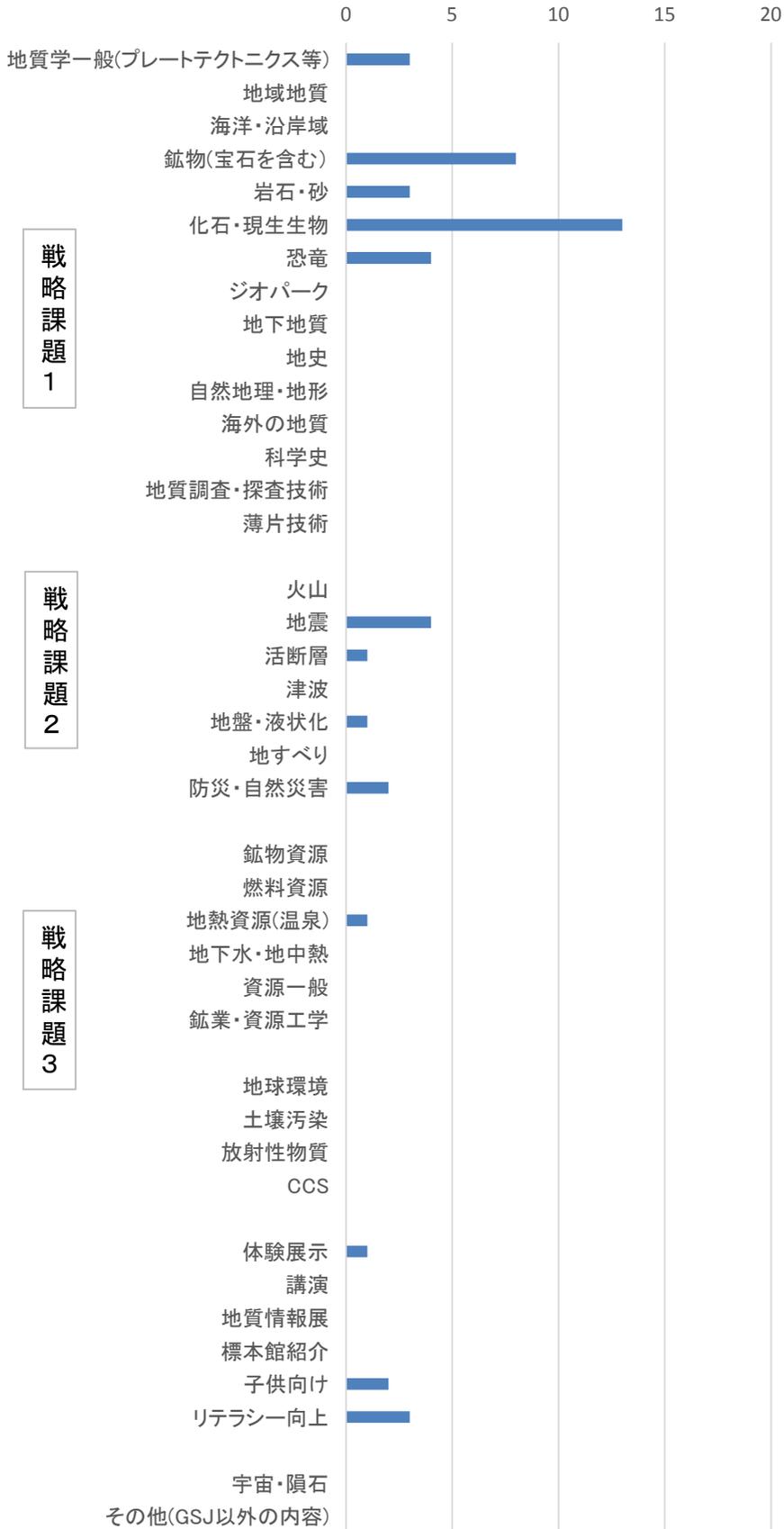
戦略課題 2

戦略課題 3



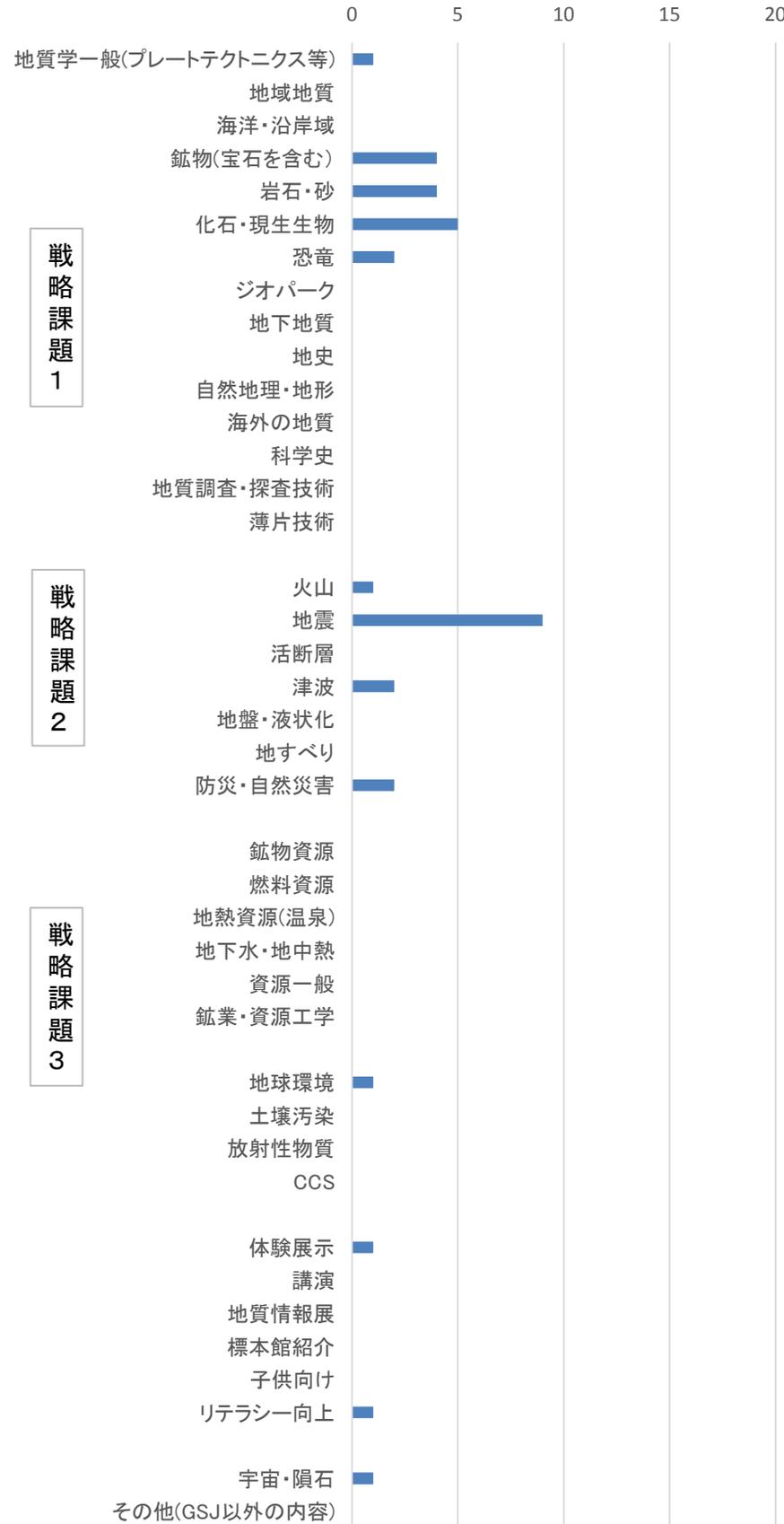
常設展: 2011/4/1-7/17

N=46



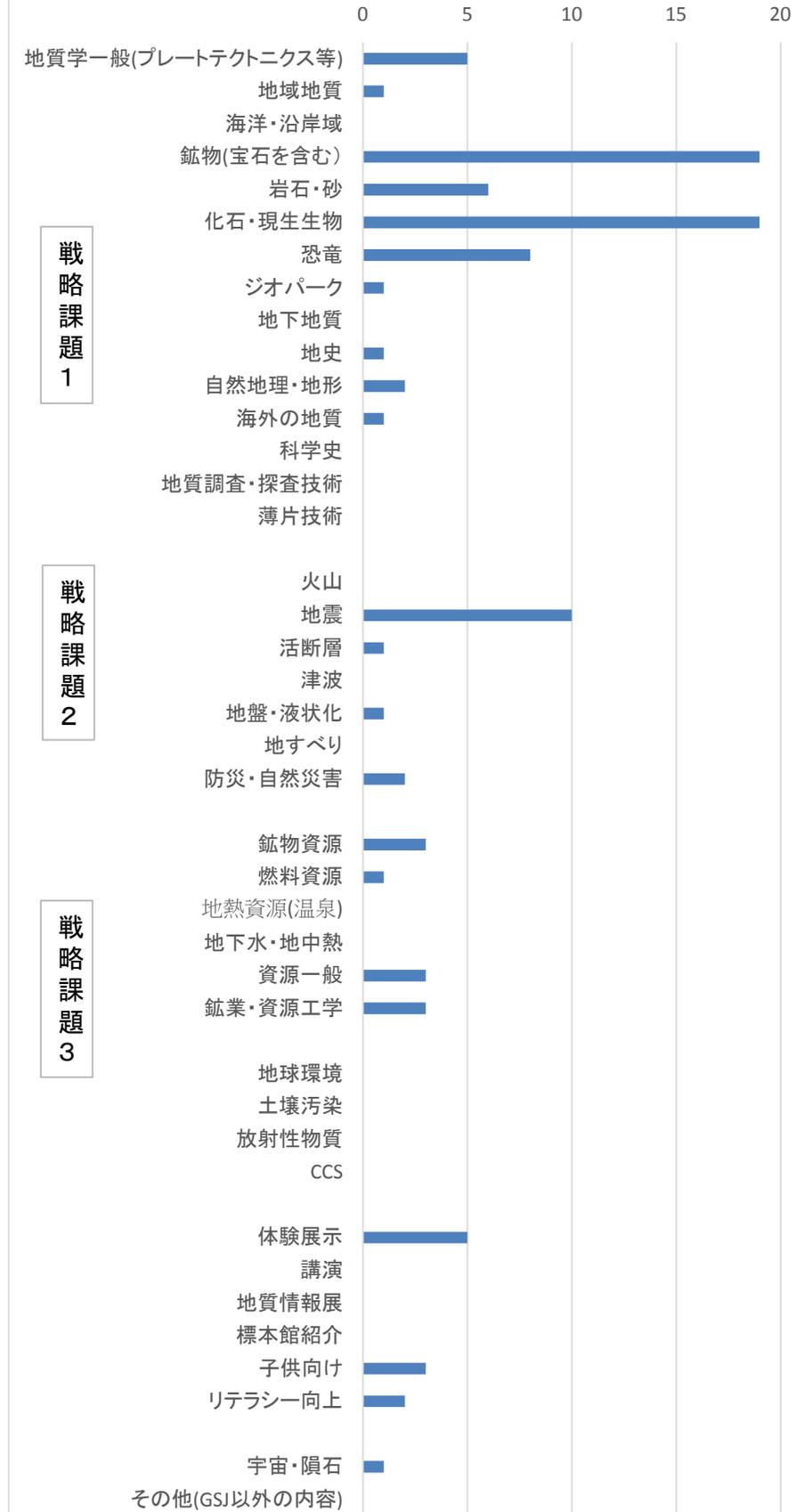
2011年度夏展: 世界石紀行

N=34



常設展: 2011/11/1-12/25

N=98



2011年度冬展:地質情報展みと

N=6

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等) 1
 地域地質 1
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む) 1
 岩石・砂
 化石・現生生物 1
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史 1
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題 1

火山
 地震
 活断層
 津波 1
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題 2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題 3

地球環境
 土壤汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演
 地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

常設展:2012/3/21-3/31

N=4

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む)
 岩石・砂 1
 化石・現生生物
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題 1

火山
 地震 1
 活断層
 津波 1
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題 2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題 3

地球環境
 土壤汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演
 地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

常設展:2012/4/1-4/16

N=3

0 5 10 15 20

地質学一般(プレートテクトニクス等)
 地域地質
 海洋・沿岸域
 鉱物(宝石を含む) 1
 岩石・砂
 化石・現生生物 1
 恐竜
 ジオパーク
 地下地質
 地史
 自然地理・地形
 海外の地質
 科学史
 地質調査・探査技術
 薄片技術

戦略課題 1

火山
 地震
 活断層
 津波
 地盤・液状化
 地すべり
 防災・自然災害

戦略課題 2

鉱物資源
 燃料資源
 地熱資源(温泉)
 地下水・地中熱
 資源一般
 鉱業・資源工学

戦略課題 3

地球環境
 土壤汚染
 放射性物質
 CCS

体験展示
 講演
 地質情報展
 標本館紹介
 子供向け
 リテラシー向上

宇宙・隕石
 その他(GSJ以外の内容)

2012年度春展:オマーン

N=23

0 5 10 15 20

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

2012年度夏展:微化石

N=203

0 10 20 30 40

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

常設展:2012/10/1-12/27

N=344

0 10 20 30 40 50 60

戦略課題 1

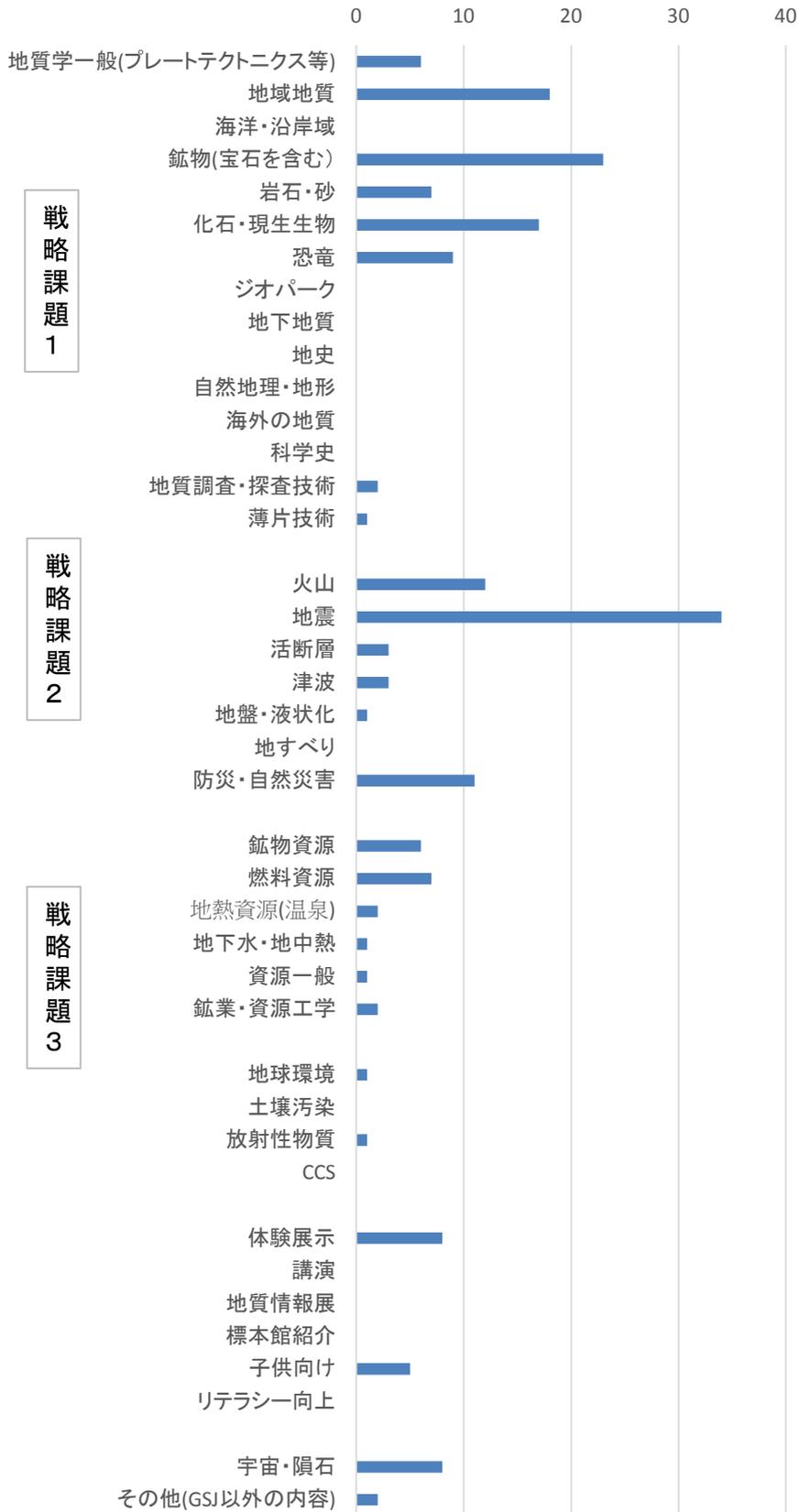
戦略課題 2

戦略課題 3

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

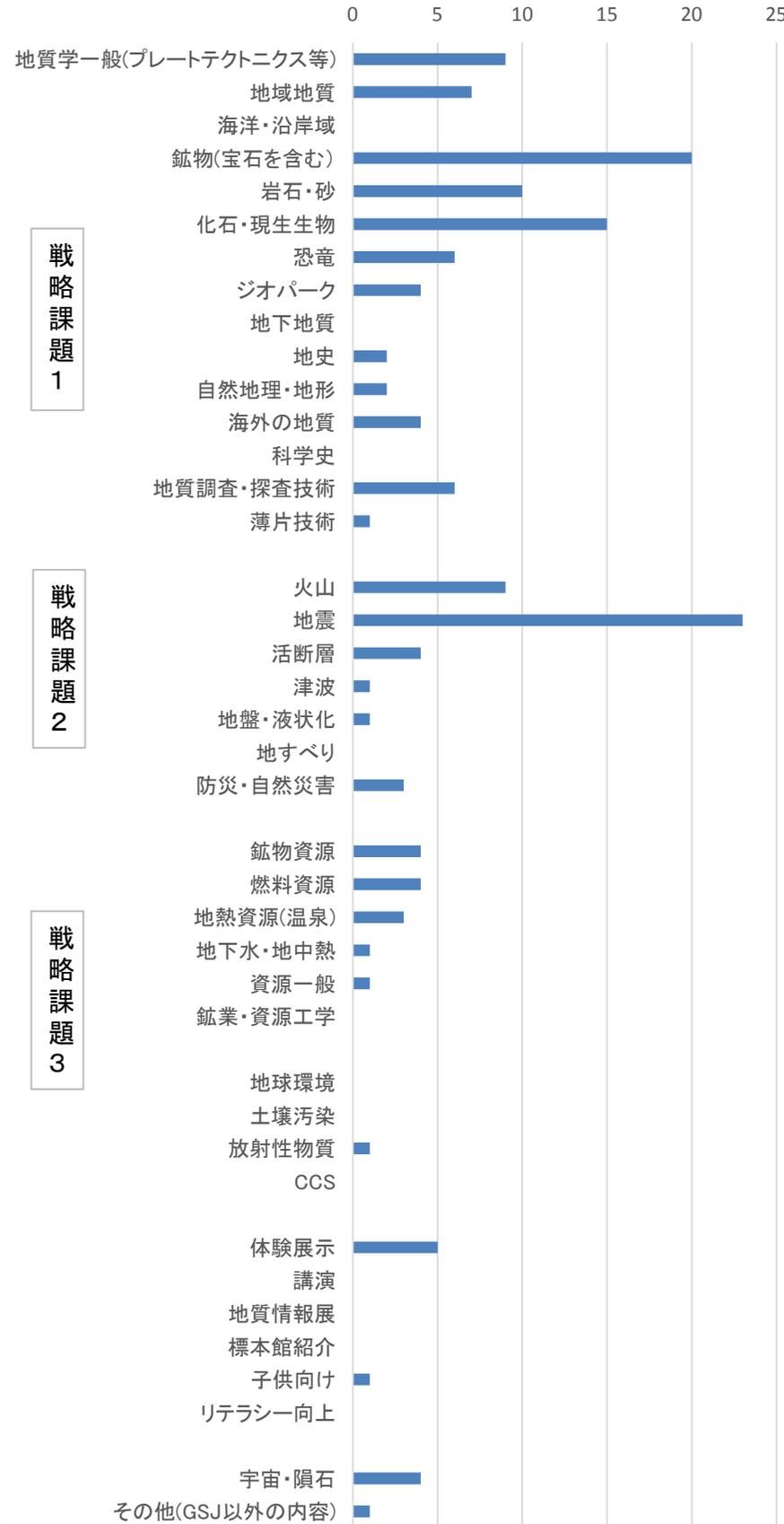
今後の展示内容への要望 (2012年度冬展:地質情報展大阪)

N=191



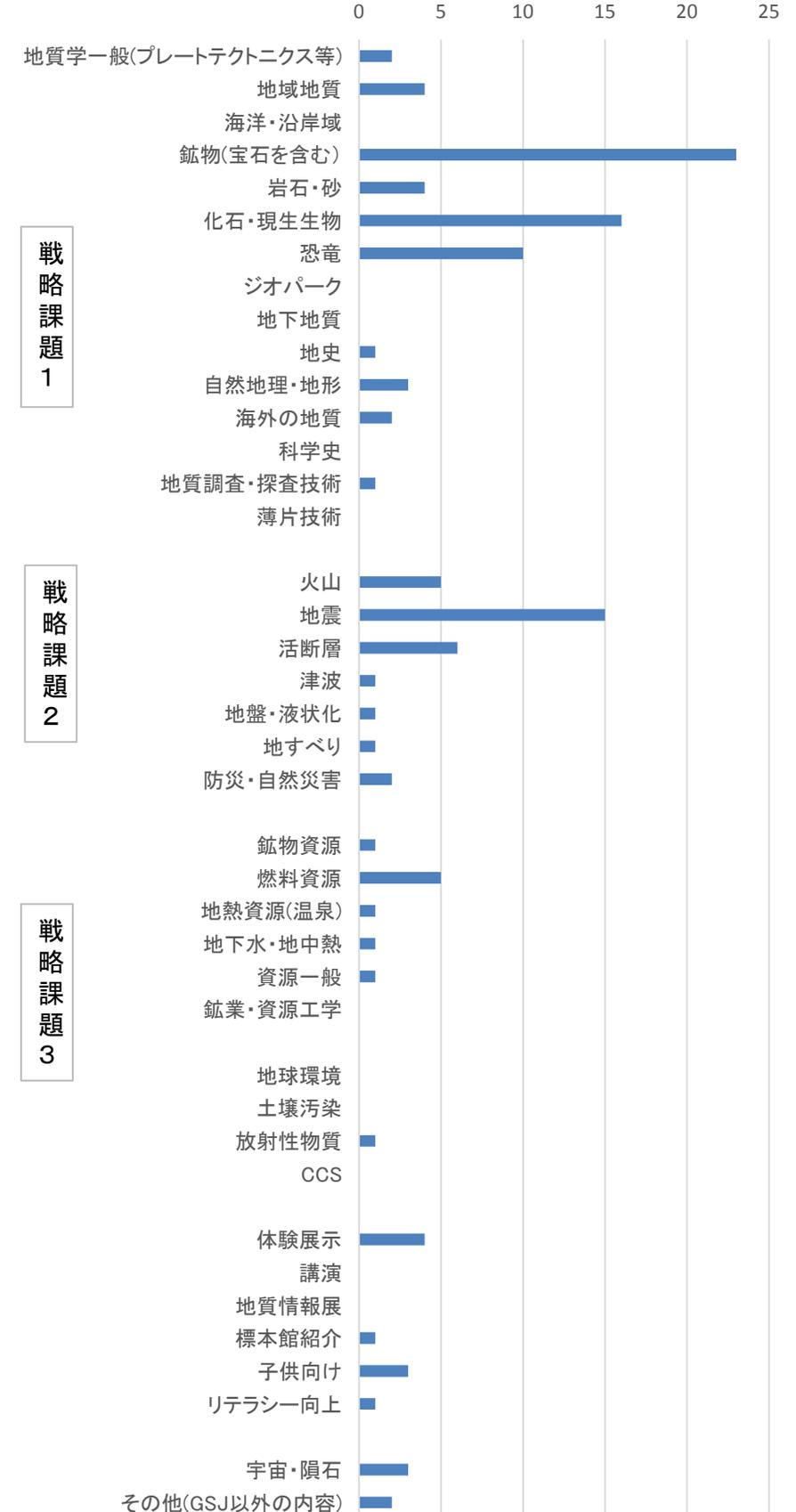
2013年度春展:霧島火山

N=152



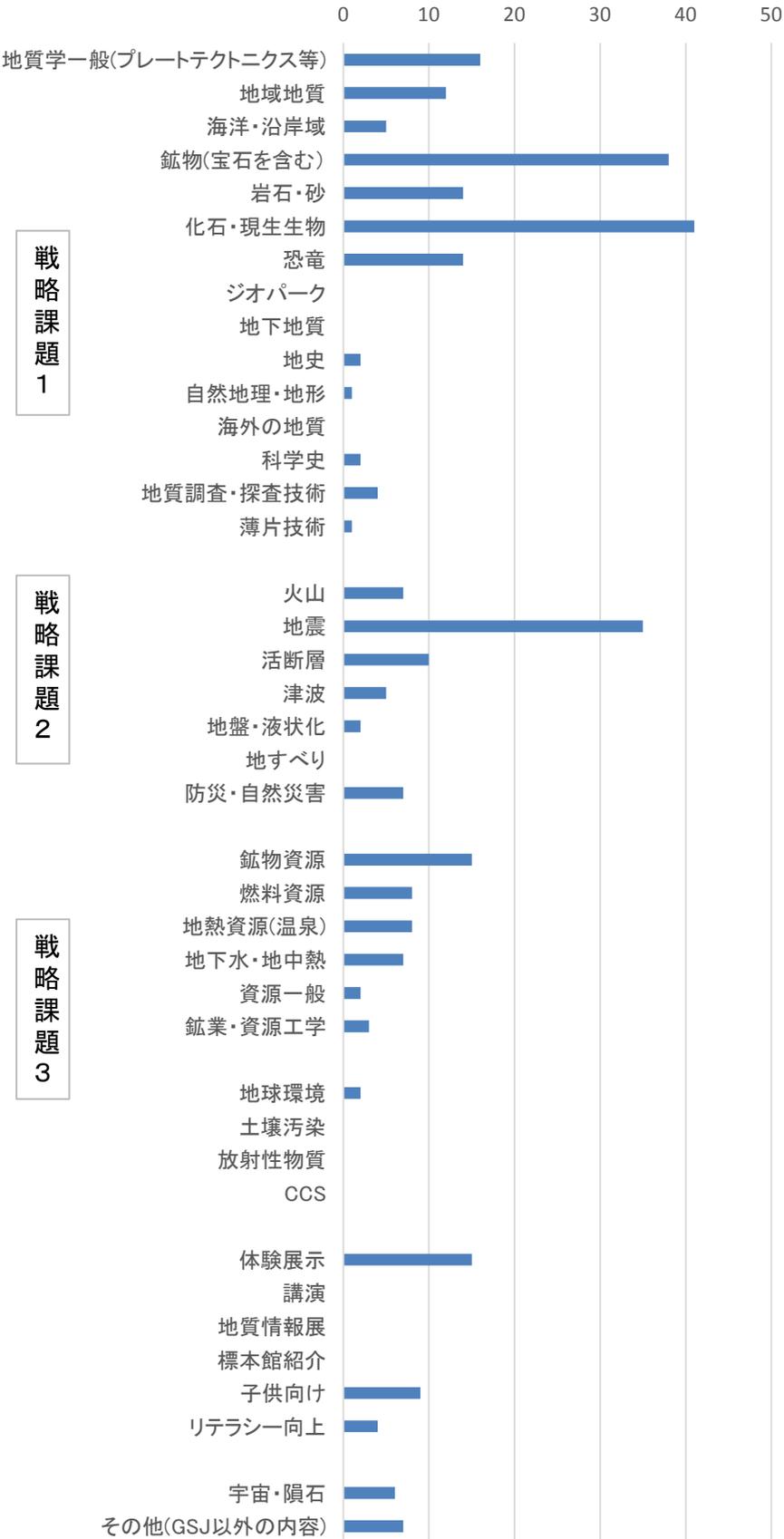
常設展:2013/6/4-7/15

N=121



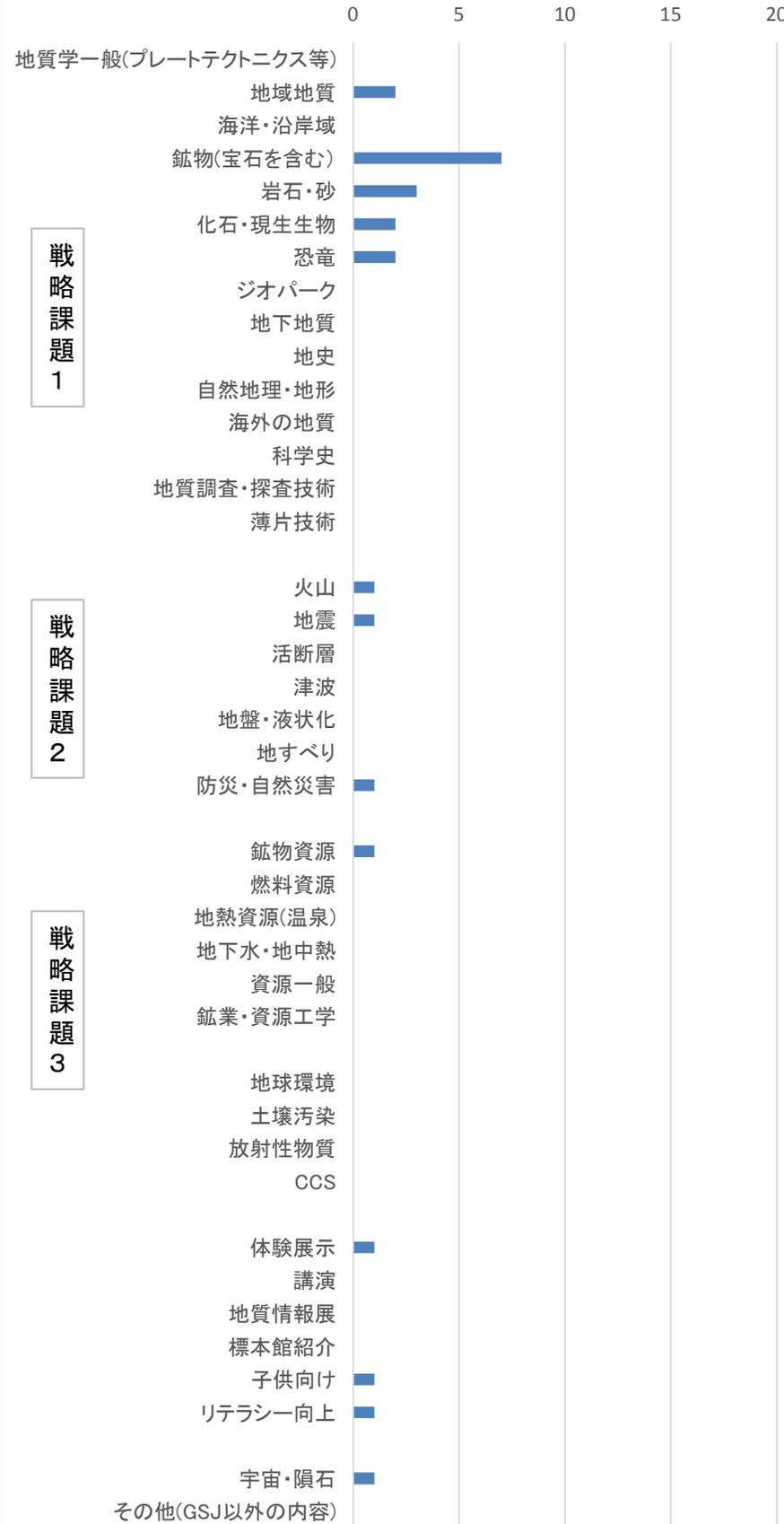
2013年度夏展:地熱・地中熱

N=302



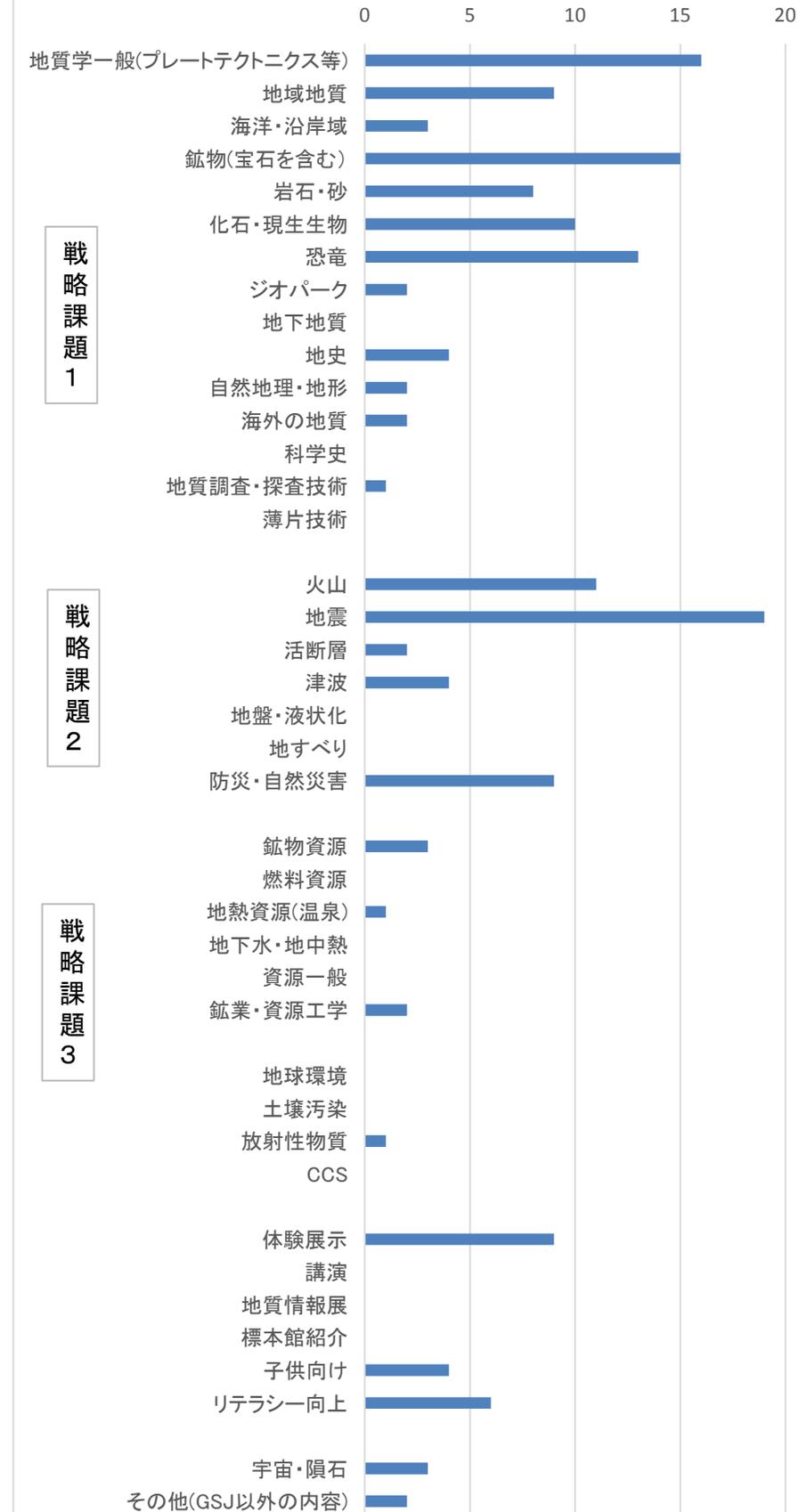
常設展:2013/10/29-11/10

N=24



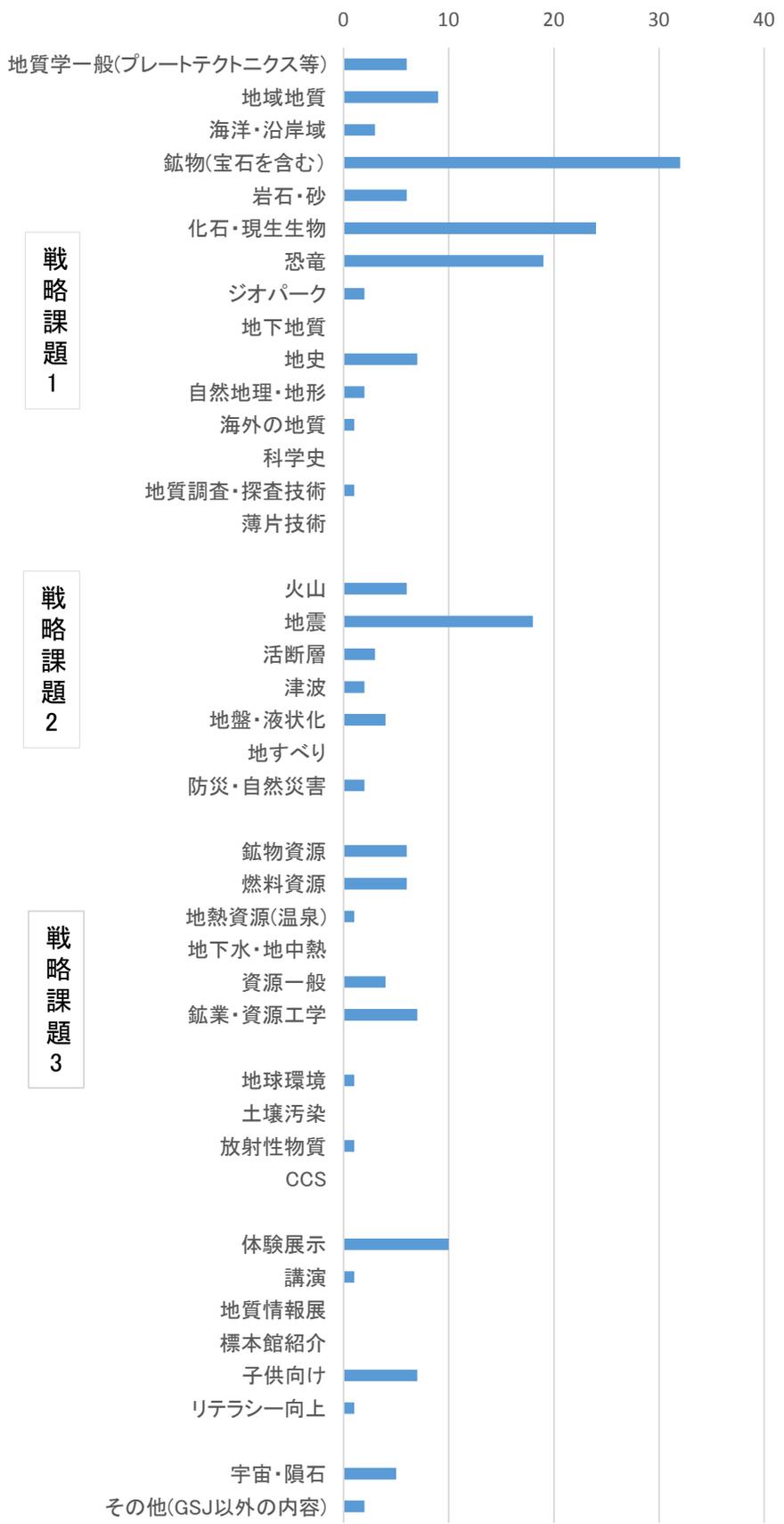
2013年度冬展:地質情報展宮城

N=161



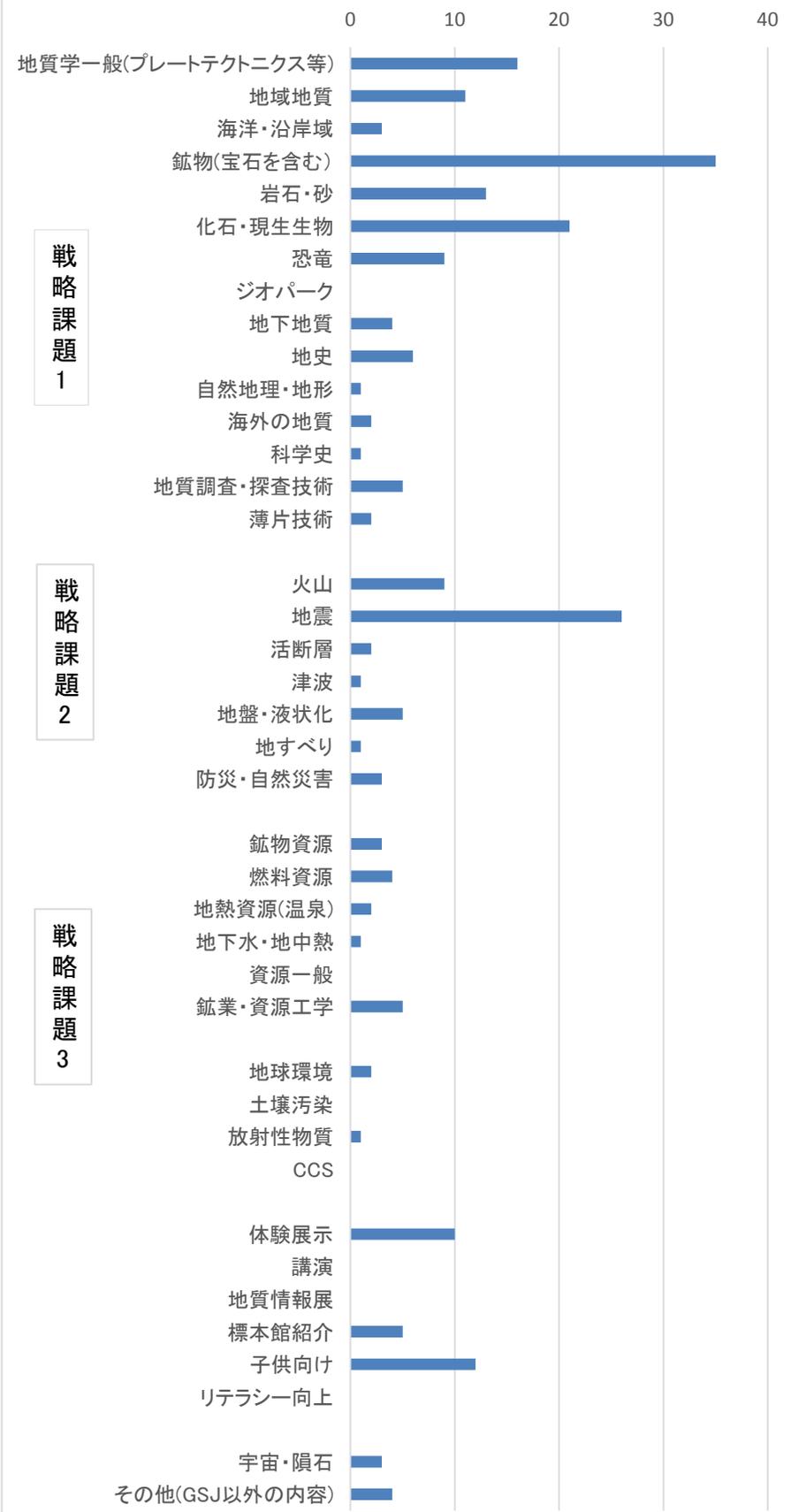
2014年度春展: 複合地質リスク

N=199



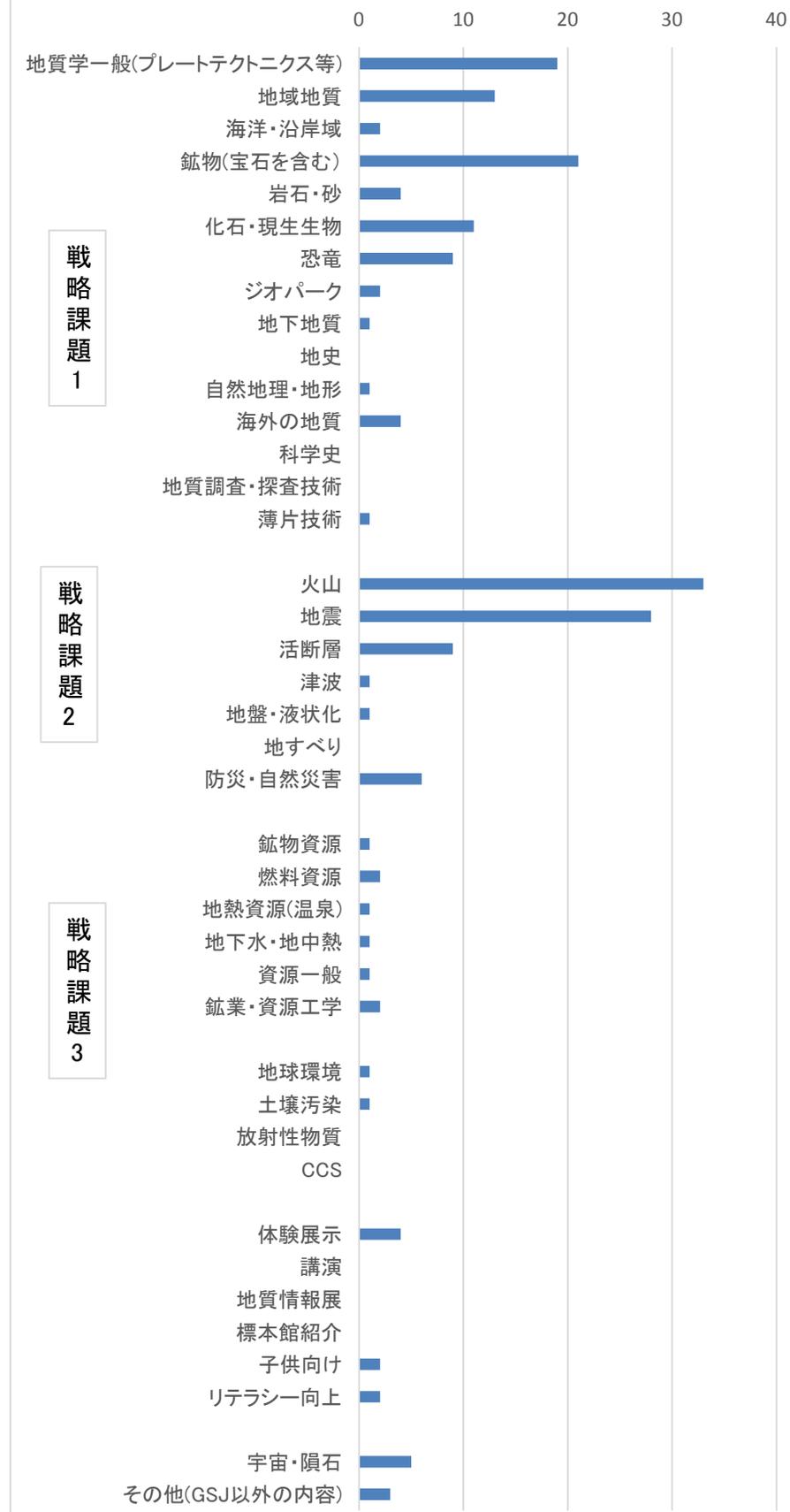
2014年度夏展: 地質アナログ模型

N=228



2014年度冬展: 地質情報展鹿児島

N=192



常設展: 2015/3/24-4/12

N=35

0 5 10 15 20

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

2015年度春展: 伊豆大島

N=133

0 5 10 15 20 25 30

戦略課題 1

戦略課題 2

戦略課題 3

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

2015年度夏展: ジオパーク

N=223

0 5 10 15 20 25 30

戦略課題 1

戦略課題 2

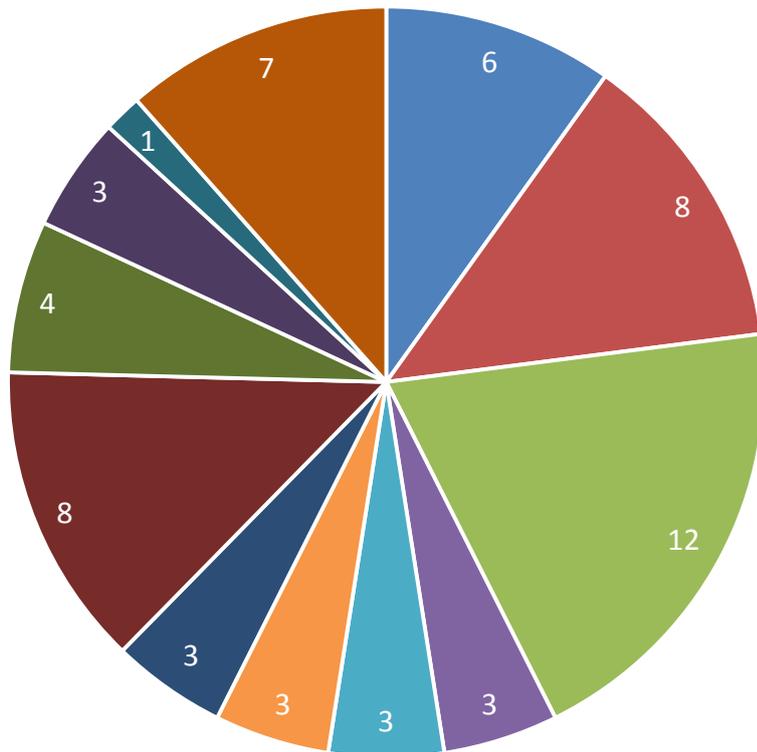
戦略課題 3

- 地質学一般(プレートテクトニクス等)
- 地域地質
- 海洋・沿岸域
- 鉱物(宝石を含む)
- 岩石・砂
- 化石・現生生物
- 恐竜
- ジオパーク
- 地下地質
- 地史
- 自然地理・地形
- 海外の地質
- 科学史
- 地質調査・探査技術
- 薄片技術
- 火山
- 地震
- 活断層
- 津波
- 地盤・液状化
- 地すべり
- 防災・自然災害
- 鉱物資源
- 燃料資源
- 地熱資源(温泉)
- 地下水・地中熱
- 資源一般
- 鉱業・資源工学
- 地球環境
- 土壤汚染
- 放射性物質
- CCS
- 体験展示
- 講演
- 地質情報展
- 標本館紹介
- 子供向け
- リテラシー向上
- 宇宙・隕石
- その他(GSJ以外の内容)

第8図 展示内容の改善要望

2007年度

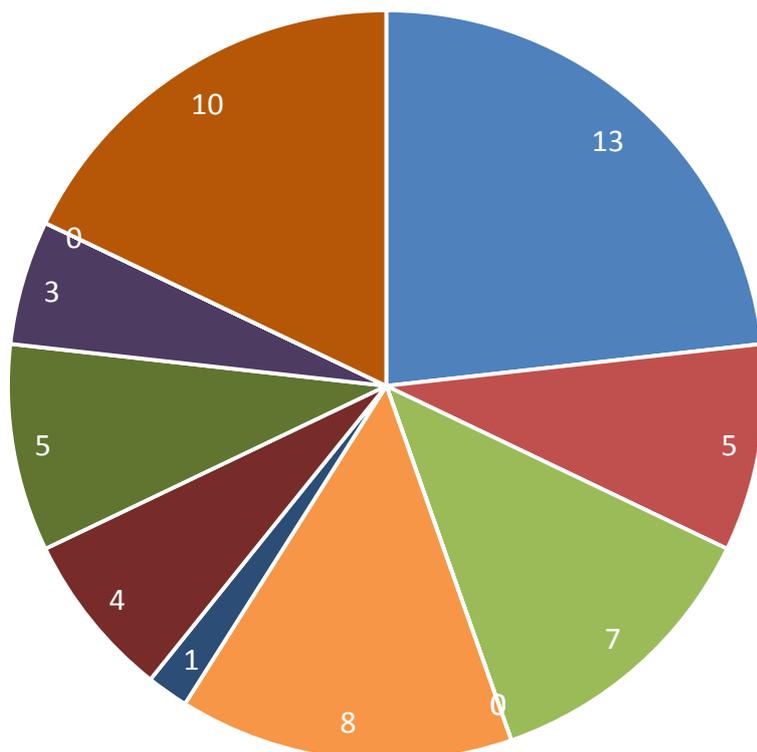
n=61



- 展示物の更新・入れ替え
- 解説内容の充実・修正
- わかりやすい解説・子供向け解説
- 質問対応・解説案内者の充実
- 展示設備修理・改善
- 体験型展示
- 動線の改善
- 館内の環境改善
- PR強化
- ミュージアムショップ
- 他機関との連携
- その他

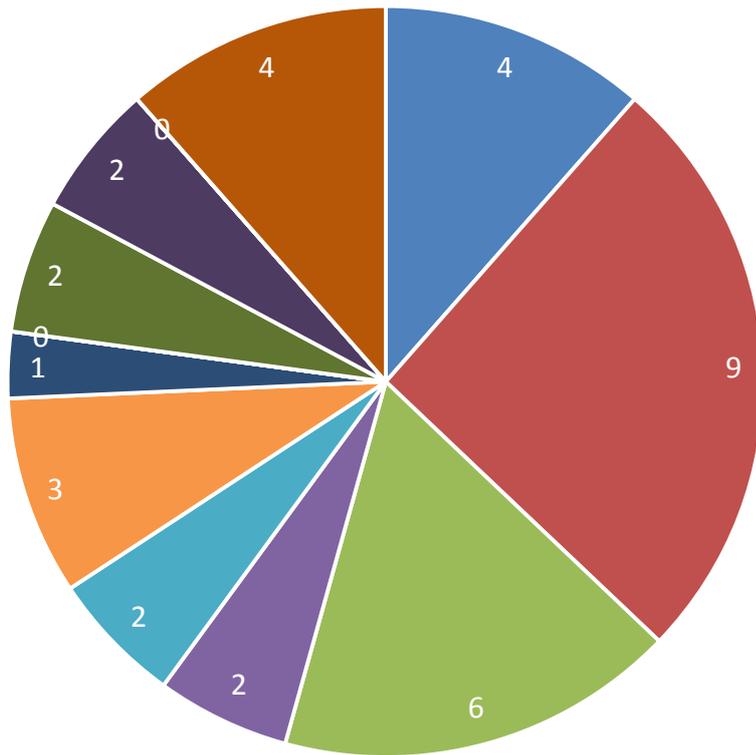
2008年度

n=56



- 展示物の更新・入れ替え
- 解説内容の充実・修正
- わかりやすい解説・子供向け解説
- 質問対応・解説案内者の充実
- 展示設備修理・改善
- 体験型展示
- 動線の改善
- 館内の環境改善
- PR強化
- ミュージアムショップ
- 他機関との連携
- その他

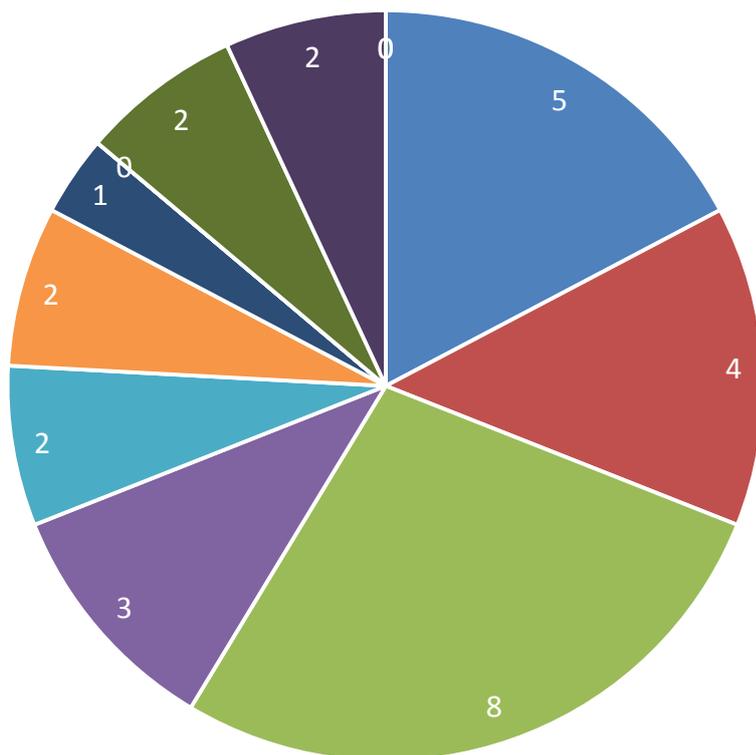
2009年度



n=35

- 展示物の更新・入れ替え
- 解説内容の充実・修正
- わかりやすい解説・子供向け解説
- 質問対応・解説案内者の充実
- 展示設備修理・改善
- 体験型展示
- 動線の改善
- 館内の環境改善
- PR強化
- ミュージアムショップ
- 他機関との連携
- その他

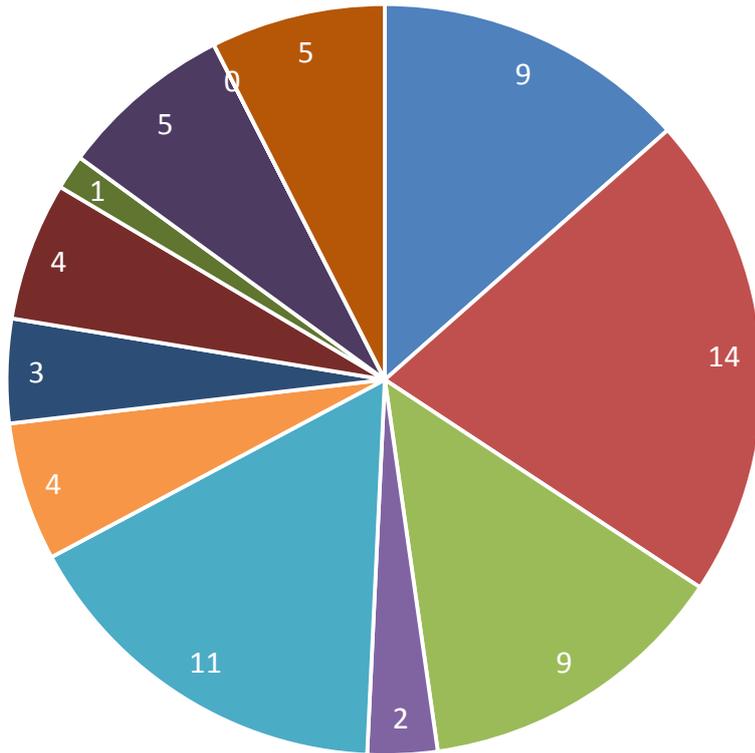
2010年度



n=29

- 展示物の更新・入れ替え
- 解説内容の充実・修正
- わかりやすい解説・子供向け解説
- 質問対応・解説案内者の充実
- 展示設備修理・改善
- 体験型展示
- 動線の改善
- 館内の環境改善
- PR強化
- ミュージアムショップ
- 他機関との連携
- その他

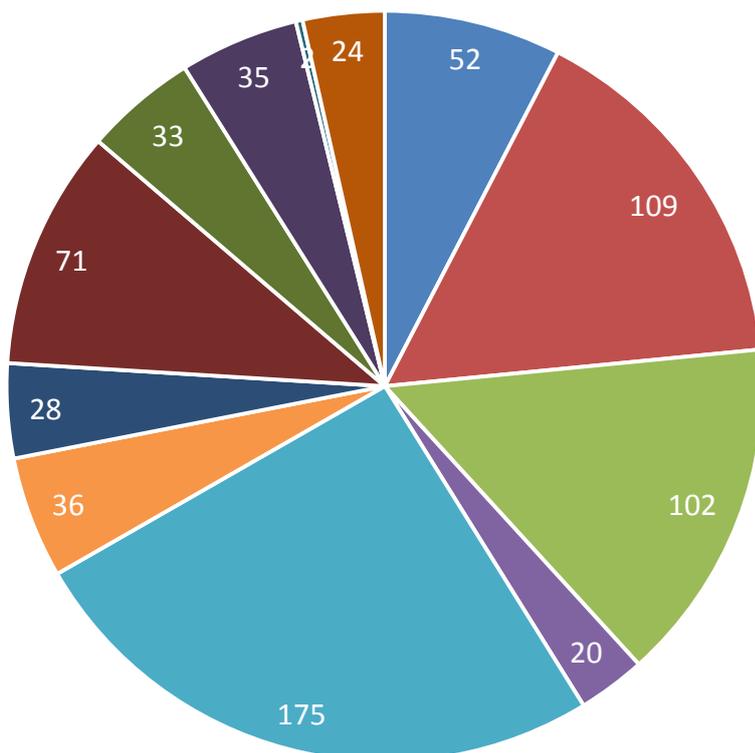
2011年度



n=67

- 展示物の更新・入れ替え
- 解説内容の充実・修正
- わかりやすい解説・子供向け解説
- 質問対応・解説案内者の充実
- 展示設備修理・改善
- 体験型展示
- 動線の改善
- 館内の環境改善
- PR強化
- ミュージアムショップ
- 他機関との連携
- その他

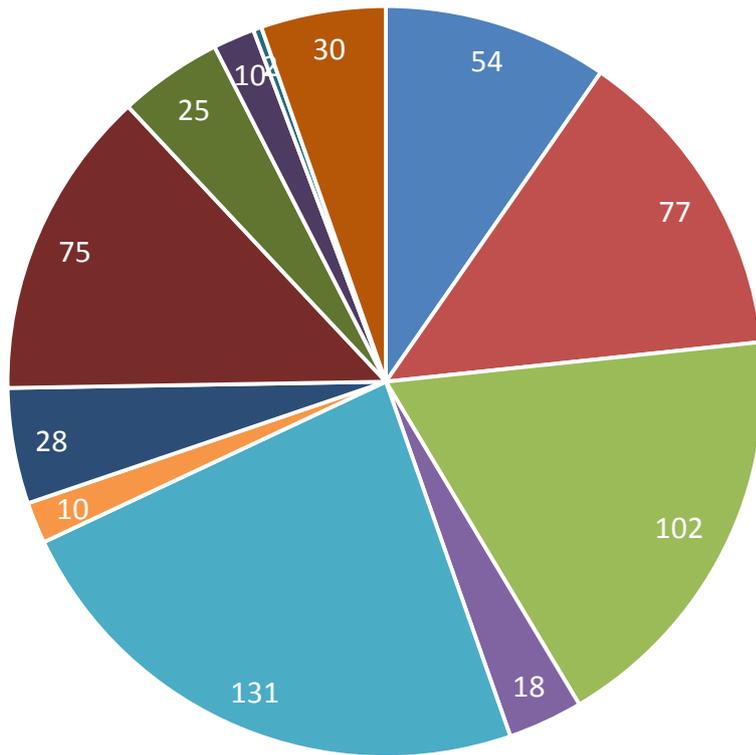
2012年度



n=687

- 展示物の更新・入れ替え
- 解説内容の充実・修正
- わかりやすい解説・子供向け解説
- 質問対応・解説案内者の充実
- 展示設備修理・改善
- 体験型展示
- 動線の改善
- 館内の環境改善
- PR強化
- ミュージアムショップ
- 他機関との連携
- その他

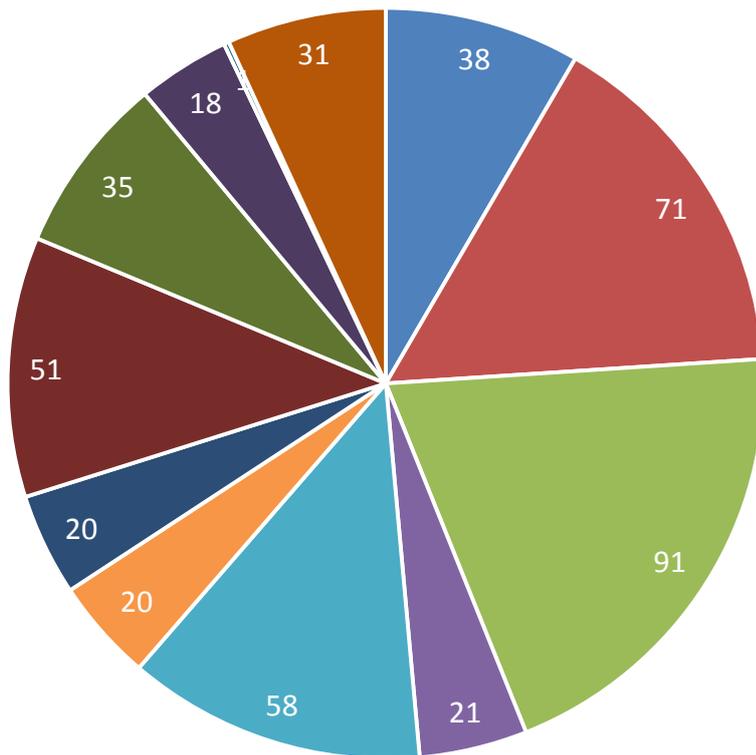
2013年度



n=562

- 展示物の更新・入れ替え
- 解説内容の充実・修正
- わかりやすい解説・子供向け解説
- 質問対応・解説案内者の充実
- 展示設備修理・改善
- 体験型展示
- 動線の改善
- 館内の環境改善
- PR強化
- ミュージアムショップ
- 他機関との連携
- その他

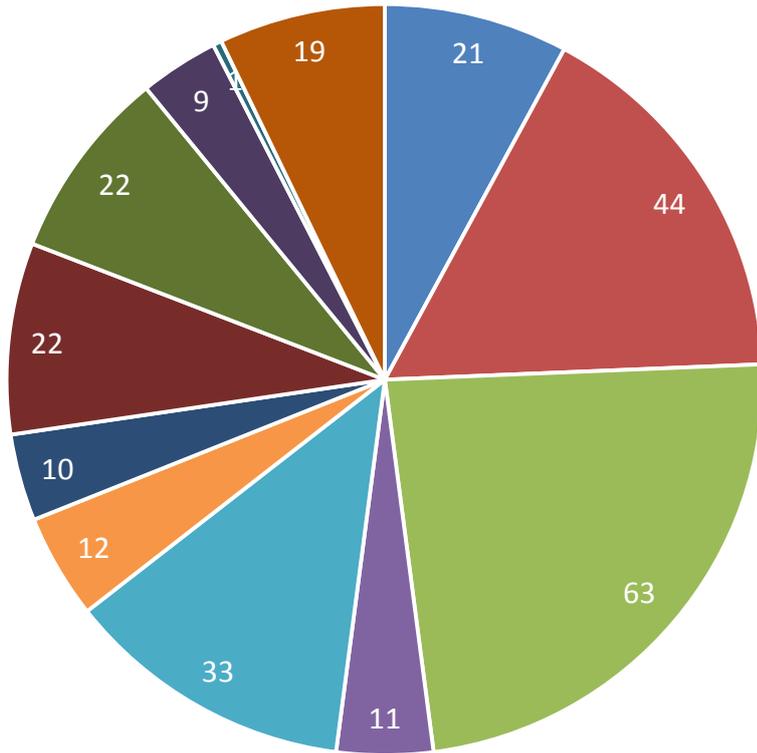
2014年度



n=455

- 展示物の更新・入れ替え
- 解説内容の充実・修正
- わかりやすい解説・子供向け解説
- 質問対応・解説案内者の充実
- 展示設備修理・改善
- 体験型展示
- 動線の改善
- 館内の環境改善
- PR強化
- ミュージアムショップ
- 他機関との連携
- その他

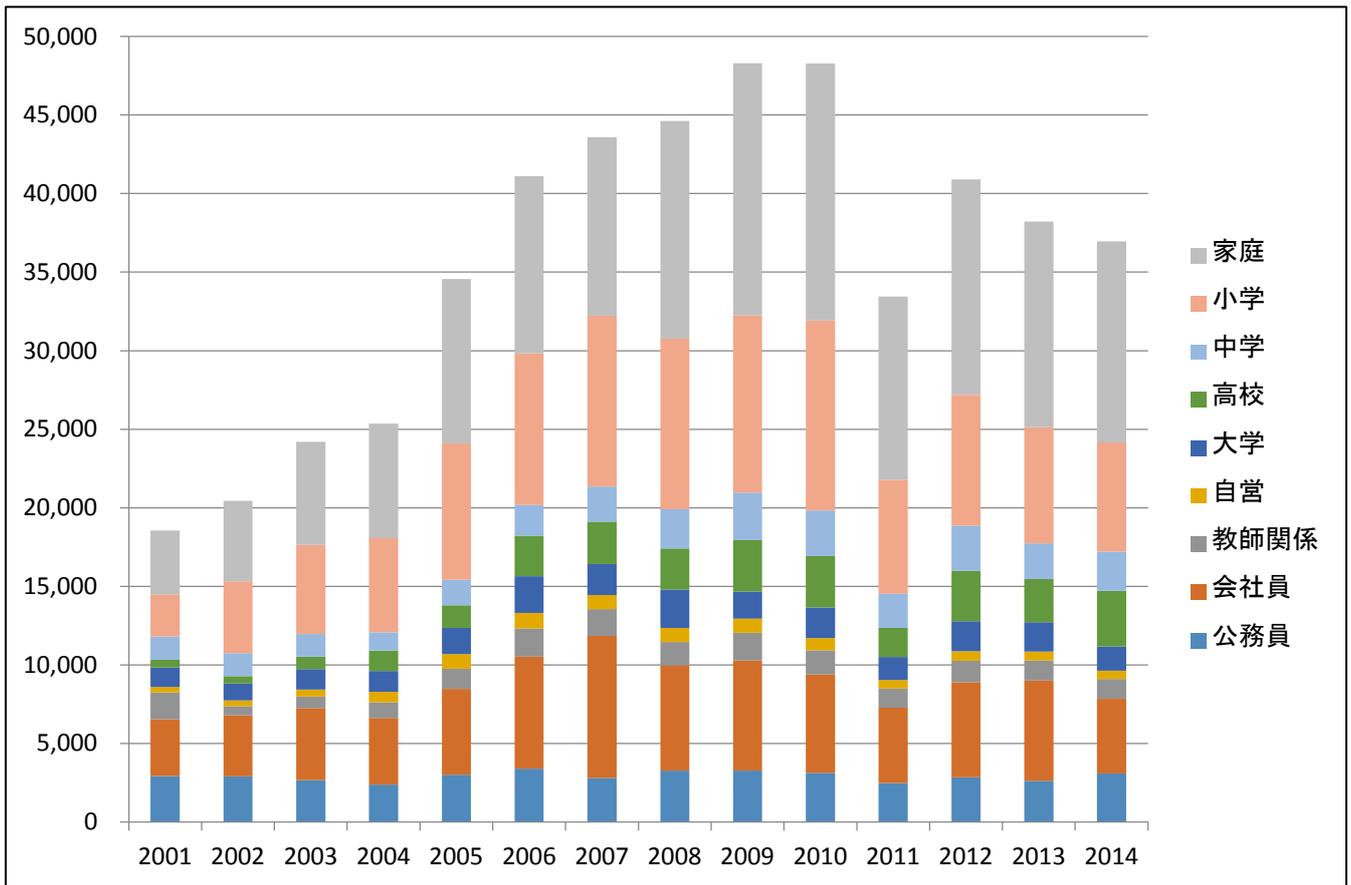
2015年度(夏展まで)



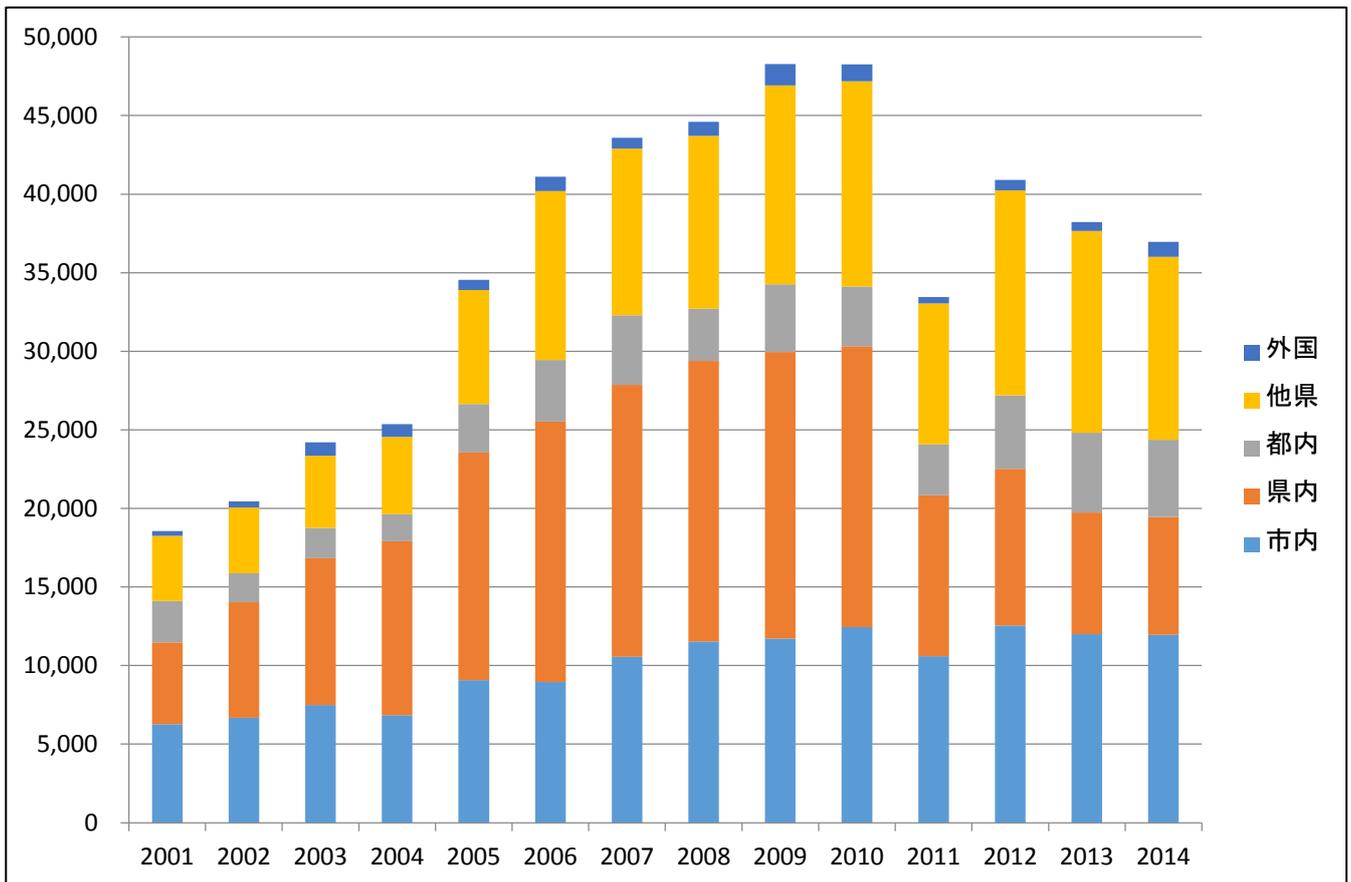
n=267

- 展示物の更新・入れ替え
- 解説内容の充実・修正
- わかりやすい解説・子供向け解説
- 質問対応・解説案内者の充実
- 展示設備修理・改善
- 体験型展示
- 動線の改善
- 館内の環境改善
- PR強化
- ミュージアムショップ
- 他機関との連携
- その他

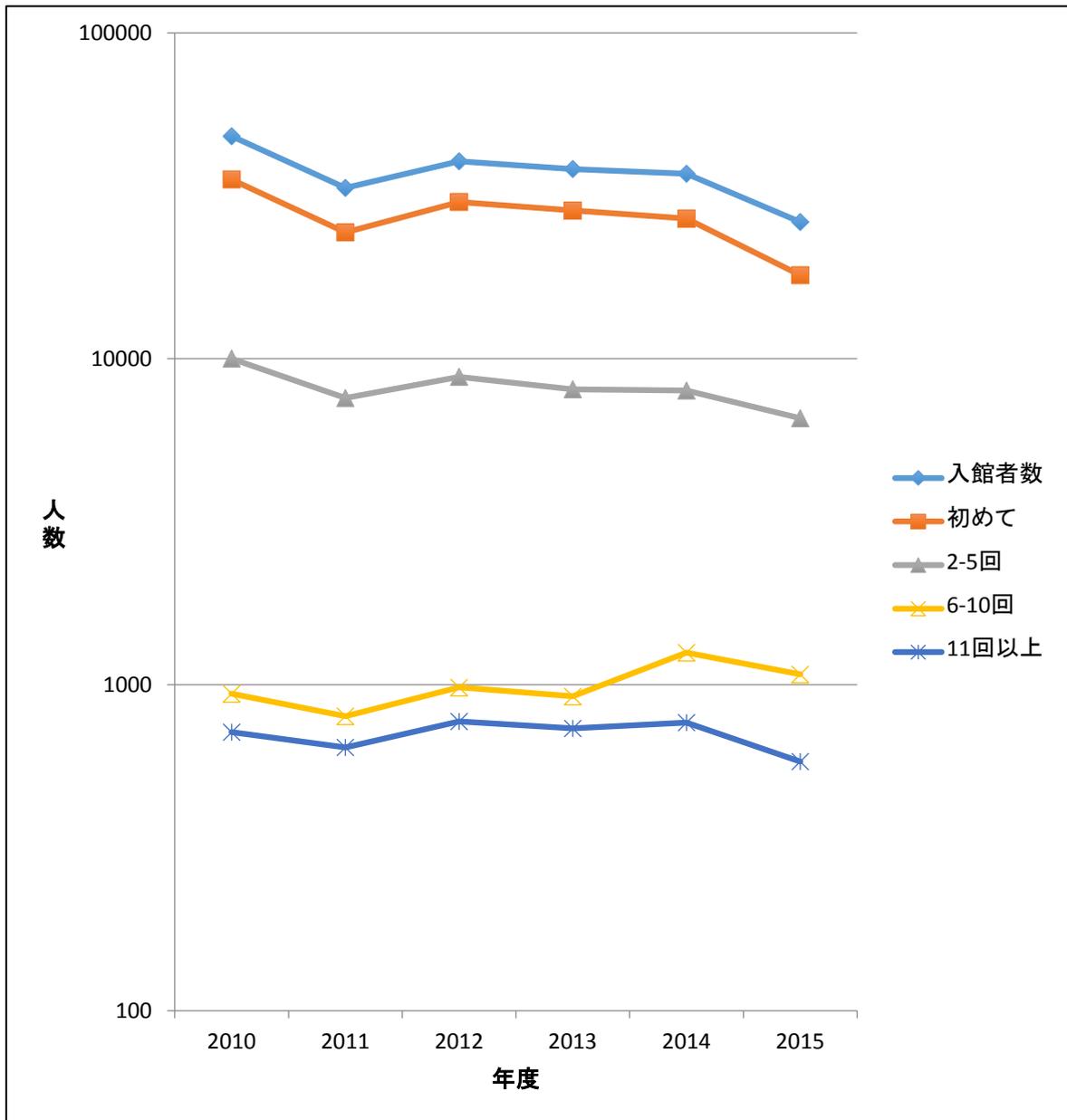
第9図 入館者数総計推移(職業別)



第10図 入館者数総計推移(地域別)



第11図 入館者数とリピーター状況
(註:2015年度は9月までの状況)



地質調査総合センター技術資料集 5

地質標本館の来場者 アンケート分析

(2007年度 - 2015年度夏展まで)

2016年2月29日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報基盤センター
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第7

【執筆・集計担当】 佐脇貴幸・利光誠一・下川浩一・森尻理恵・酒井 彰
須藤 茂・奥山康子・佐藤隆司・高橋 誠・朝川暢子

【レイアウト担当】 菅家亜希子

【問い合わせ】 <https://www.gsj.jp/inquiries.html>

本報告書は産業技術総合研究所地質調査総合センターの組織著作物です。



クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示 2.1



国立研究開発法人
産業技術総合研究所



産業技術総合研究所 地質調査総合センター
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7
<https://www.gsj.jp/>

AIST15-G00002-5